

令和 6 年度
加賀市 橋梁長寿命化修繕計画策定業務

加賀市内 一円

報 告 書

令和 7 年 3 月

加賀市 建設部 土木課



目 次

	ページ
第1章 業務概要	1-1
1.1 業務の目的	1-2
1.2 業務内容	1-7
1.3 業務実施方針	1-12
1.4 使用したプログラム	1-15
1.5 業務工程	1-16
1.6 業務組織	1-17
1.7 打合せ内容	1-18
1.8 成果品の品質を確保するための内容	1-19
1.9 成果品の内容・部数	1-22
1.10 使用する主な図書及び基準	1-22
1.11 テクリス	1-23
第2章 橋梁長寿命化修繕計画	2-1
2.1 令和元年度 橋梁長寿命化修繕計画策定結果	2-2
2.2 橋梁概要	2-9
2.3 橋梁点検結果	2-22
2.4 補修基本方針	2-110
2.5 施設のグルーピング	2-113
2.6 優先順位の検討	2-121
2.7 劣化予測	2-128
2.8 LCC 解析	2-134
2.9 予算の平準化	2-141
2.10 補修橋梁一覧	2-148
2.11 新技術活用及び集約撤去に伴う検討	2-172
2.12 ホームページ掲載資料	2-179
2.13 加賀市橋梁長寿命化修繕計画【様式1-1, 1-2】	2-183
第3章 打合せ協議簿	3-1

巻末資料

1. 照査報告書
2. 業務計画書
3. 国土地理院地図・空中写真による架橋年度確認資料
4. 令和元年度 加賀市 橋梁長寿命化 修繕計画策定業務 概要版
5. 加賀市都市計画マスターplan (2023.4)
6. I-BIMS 操作マニュアル

第1章 業務概要

1.1 業務の目的

本業務は、加賀市が管理する道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的として、従来の事後保全型の管理から予防保全型の管理へと移行するとともに、橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を考慮した橋梁長寿命化修繕計画を策定するものである。また、維持管理コスト縮減の検討も併せて実施する。道路橋長寿命化修繕計画更新の対象橋梁位置図を図 1.1.1 に、対象橋梁一覧を表 1.1.1～表 1.1.4 に示す。

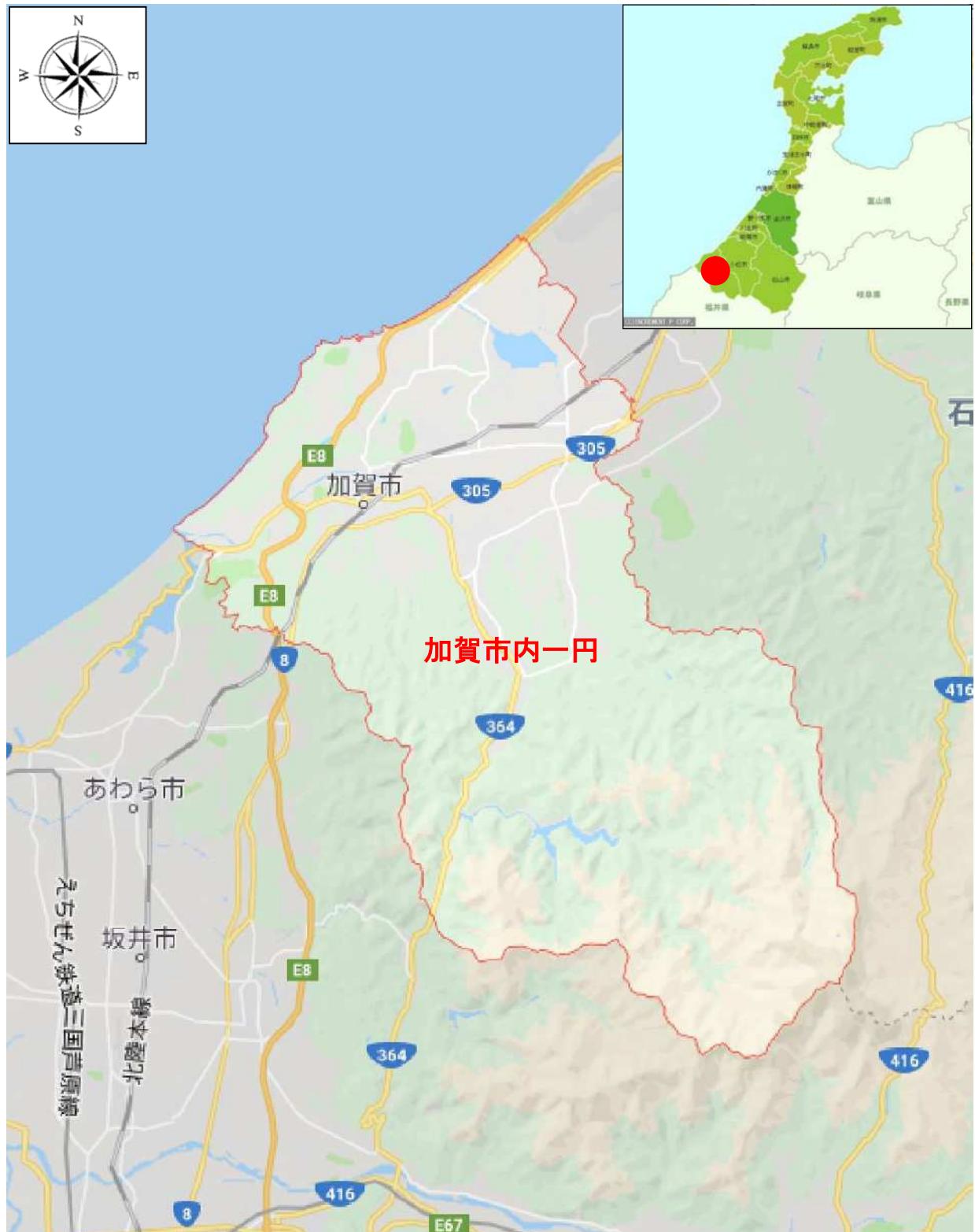


図 1.1.1 位置図

表 1.1.1 道路橋一覧表 (1/4)

道路橋一覧表

施設名	路線	架設年次	橋長(m)	備考
一本橋	A第8号線	1983	5.0	
中橋	A第8号線	不明	2.1	
弁天橋	A第11号線	1988	41.5	
錦城橋	A第12号線	1992	9.2	
木呂場橋	A第18号線	1981	35.2	
永町1号橋	A第22号線	1987	3.9	
永代橋	A第23号線	1984	34.3	
一文橋	A第24号線	1934	29.1	
記念橋	A第26号線	1959	24.0	
愛宕橋	A第33号線	1984	71.3	
畠橋	A第42号線	1979	68.4	
宮前橋	A第46号線	1975	68.1	
旗陽橋	A第51号線	1983	68.2	
福田橋	A第51号線	1936	28.0	
福田歩道橋	A第51号線	1974	28.0	
大手橋	A第54号線	1968	9.1	
松島橋	A第60号線	2021	42.0	
荻生橋	A第60号線	1954	9.1	
太鼓橋	A第61号線	1963	9.1	
大正橋	A第62号線	不明	7.8	
馬場先橋	A第66号線	1936	10.2	
中和橋	A第66号線	1954	4.0	
錦橋	A第69号線	不明	2.3	
神明橋	A第73号線	1936	10.3	
大手小橋	A第74号線	1966	5.4	
曙橋	A第78号線	1964	9.7	
城南橋	A第80号線	1962	10.1	
熊坂橋	A第84号線	1956	14.5	
熊坂新橋	A第86号線	1975	12.4	
十一橋	A第87号線	不明	3.9	
奉町2号橋	A第90号線	1986	3.0	
幸橋	A第91号線	不明	2.7	
古川橋	A第106号線	不明	3.5	
敷地1号橋	A第107号線	不明	4.3	
敷地2号橋	A第108号線	不明	3.0	
敷地3号橋	A第109号線	不明	2.5	
高尾橋	A第124号線	1973	42.0	
深田橋	A第159号線	不明	5.9	
神様2号橋	A第164号線	不明	2.8	
上木平成大橋	A第172号線	2015	75.0	
瀬越橋	A第215号線	1995	90.0	
瀬越小橋	A第215号線	不明	4.8	
橋橋	A第218号線	2000	15.0	
藏谷橋	A第219号線	不明	6.3	
辺尻橋	A第220号線	不明	6.3	
一本橋	A第221号線	不明	6.3	
宮北橋	A第222号線	不明	6.3	
前田橋	A第225号線	不明	4.6	
三木橋	A第225号線	不明	2.2	
コイト橋	A第225号線	1971	6.0	
ドンタニ橋	A第225号線	不明	4.1	
チサ橋	A第225号線	不明	5.9	
雁田橋	A第226号線	1988	13.6	
水越橋	A第230号線	1981	74.8	
三木橋	A第231号線	1973	51.0	
花房橋	A第232号線	1971	5.8	
第一花房橋	A第233号線	不明	2.0	
第二花房橋	A第234号線	不明	2.4	
第三花房橋	A第234号線	不明	2.6	
庄司谷橋	A第237号線	2000	11.9	
畠岡橋	A第238号線	1966	7.9	
北原橋	A第238号線	1972	11.4	
細坪橋	A第240号線	不明	3.2	
中巒橋	A第240号線	1963	2.2	
深谷橋	A第244号線	不明	2.5	
箕ノ輪橋	A第244号線	1974	8.4	
前田橋	A第245号線	1980	10.2	
直下橋	A第246号線	1983	11.1	
馬太郎橋	A第246号線	1968	9.4	
湯出橋	A第247号線	2005	7.6	
上宮橋	A第247号線	1970	10.5	
善助橋	A第248号線	1966	7.4	
日谷2号橋	A第248号線	1973	6.1	
日谷1号橋	A第248号線	不明	2.0	
日の谷橋	A第249号線	1956	10.2	
八幡橋	A第249号線	1965	8.2	
三谷新橋	A第254号線	1985	32.6	
合序橋	A第254号線	不明	3.1	
高野橋	A第288号線	1987	9.4	
賣谷橋	A第289号線	1994	13.4	
庄司谷2号橋	A第290号線	2001	12.1	

表 1.1.2 道路橋一覧表 (2/4)

施設名	路線	架設年次	橋長(m)	備考
永井大橋	A第303号線	1993	78.9	
古呂場橋	A第305号線	不明	8.5	
上河崎5号橋	A第306号線	不明	3.3	
東永橋	A第337号線	1984	77.0	
細坪1号橋	A第347号線	不明	2.4	
農道橋	A第354号線	1966	17.6	
曾宇川橋	A第354号線	1967	14.5	
幸町1号橋	A第356号線	1984	3.6	
三木1号橋	A第357号線	1984	2.1	
橋立橋	A第368号線	1973	42.0	
小塙辻水門橋	A第368号線	1978	10.4	
田尻橋	A第368号線	1978	7.3	
敷地跨線橋	A第375号線	1982	300.0	
牛追橋	A第381号線	1969	18.5	
片野1号橋	A第383号線	不明	2.9	
北山田橋	A第401号線	不明	2.8	
下福田橋	A第409号線	1973	74.1	
新橋	A第409号線	1986	33.8	
鰐橋	A第409号線	1966	5.5	
高尾跨道橋	A第419号線	2000	111.0	
熊坂中の橋	A第435号線	2004	13.0	
三ツ橋	A第446号線	1958	72.0	
薬師橋	A第449号線	2018	23.1	
別所橋	B第1号線	1971	8.8	
別所2号橋	B第8号線	1971	8.6	
市之瀬2号橋	B第10号線	1980	6.6	
河南新大橋	B第14号線	2014	49.4	
山代跨道橋	B第14号線	2014	18.0	
1号函渠	B第14号線	2014	16.3	
どんど橋	B第31号線	不明	5.5	
大堰宮橋	B第33号線	不明	3.8	
大聖寺川橋	B第33号線	1978	60.9	
山背橋	B第62号線	不明	2.9	
市之瀬5号橋	B第72号線	不明	4.5	
メガネ橋	B第77号線	1971	10.2	
開陽橋	B第89号線	1978	3.9	
市之瀬1号橋	B第105号線	不明	2.8	
桂谷橋	B第109号線	不明	4.7	
嶺の橋	B第116号線	不明	4.9	
向出橋	B第117号線	不明	3.7	
中橋	B第119号線	1967	2.5	
東橋	B第121号線	不明	2.2	
二ッ屋4号橋	B第122号線	不明	2.8	
二ッ屋3号橋	B第123号線	不明	2.6	
森橋	B第124号線	不明	5.5	
桑原1号橋	B第130号線	不明	14.7	
桑原2号橋	B第131号線	不明	2.2	
平松小橋	B第135号線	不明	3.3	
土合橋	B第135号線	1972	25.7	
河原2号橋	B第142号線	1980	2.3	
桑原大橋	B第144号線	1989	57.0	
河中橋	B第150号線	1981	2.6	
井詰橋	B第152号線	1975	6.0	
矢田野用水橋	B第152号線	1981	4.0	
大谷橋	B第153号線	不明	3.0	
伝平橋	B第157号線	1984	14.5	
宇谷橋	B第159号線	1971	25.0	
前中橋	B第160号線	不明	7.0	
獅子岩大橋	B第165号線	2000	40.0	
小宮橋	B第165号線	1969	4.4	
水田丸大橋	B第170号線	1977	17.6	
太鼓山橋	B第170号線	1980	4.7	
鯉の橋	B第173号線	不明	3.5	
中新橋	B第173号線	1971	6.1	
須谷大橋	B第173号線	1963	17.2	
須谷中橋	B第175号線	不明	3.5	
中谷橋	B第175号線	不明	2.0	
尾俣1号橋	B第180号線	不明	2.2	
尾俣2号橋	B第180号線	不明	4.0	
尾俣3号橋	B第180号線	不明	3.5	
尾俣橋	B第181号線	不明	5.5	
保賀1号橋	B第190号線	不明	3.6	
黒瀬橋	B第197号線	不明	3.4	
市之瀬3号橋	B第218号線	不明	3.8	
黒瀬1号橋	B第240号線	不明	4.0	
黒瀬2号橋	B第240号線	不明	2.5	
黒瀬3号橋	B第252号線	不明	2.6	
須谷1号橋	B第252号線	不明	4.0	
大和町7号橋	B第286号線	1975	5.8	
大和町8号橋	B第287号線	1975	6.0	
大和町6号橋	B第288号線	1975	5.7	

表 1.1.3 道路橋一覧表 (3/4)

施設名	路線	架設年次	橋長(m)	備考
大和町4号橋	B第289号線	1975	5.5	
大和町3号橋	B第290号線	1975	5.5	
大和町1号橋	B第293号線	1975	5.0	
大和町2号橋	B第294号線	1975	5.7	
御水道1号橋	B第305号線	不明	2.5	
御水道2号橋	B第305号線	不明	2.3	
大和町5号橋	B第343号線	1975	5.5	
河南大橋	B第351号線	1959	45.0	
河南小橋	B第351号線	1950	4.8	
二ツ屋1号橋	B第355号線	不明	4.4	
横北1号橋	B第355号線	不明	3.9	
勅使1号橋	B第356号線	不明	3.3	
黒瀬4号橋	B第363号線	不明	1.3	
黒瀬5号橋	B第372号線	不明	2.8	
鹿ヶ鼻橋	B第380号線	1988	5.7	
さくら橋	B第403号線	1997	9.3	
尾俣小橋	B第410号線	1975	7.4	
松山橋	B第415号線	1952	4.6	
新橋	B第415号線	1972	46.0	
皿屋橋	B第428号線	1978	9.7	
番提橋	B第428号線	1989	11.1	
柳橋	B第429号線	2002	43.7	
中島橋	C第4号線	不明	2.5	
湖南橋	C第4号線	1987	33.0	
糸切橋	C第4号線	2007	75.0	
湖月橋	C第4号線	1964	6.8	
梯谷橋	C第33号線	不明	3.4	
新保橋	C第54号線	1973	43.0	
西出橋	C第73号線	1975	7.3	
下河崎橋	C第80号線	2003	51.0	
敷地第2跨線橋	C第80号線	1991	246.0	
大賓波2号橋	C第81号線	不明	2.3	
上河崎1号橋	C第81号線	不明	2.5	
上河崎3号橋	C第81号線	不明	1.7	
富塚橋	C第88号線	不明	2.0	
毛合橋	C第92号線	2019	61.0	
中島大橋	C第103号線	2011	73.6	
樋ノ橋	C第103号線	2016	75.0	
那谷道橋	C第123号線	不明	3.2	
泉橋	C第133号線	1974	18.0	
学校橋	C第142号線	不明	2.9	
すじかい橋	C第142号線	不明	4.9	
黒崎橋	C第143号線	不明	2.6	
今川橋	C第143号線	1993	23.3	
神社橋	C第153号線	不明	3.8	
昭北1号橋	C第153号線	不明	4.6	
三面谷橋	C第158号線	不明	3.8	
八日市橋	C第168号線	1980	31.1	
吉角橋	C第172号線	2021	27.0	
穂ノ宮橋	C第173号線	2022	27.0	
南橋	C第173号線	不明	13.0	
西島1号橋	C第174号線	不明	2.7	
西島2号橋	C第174号線	不明	3.6	
西島3号橋	C第174号線	不明	3.5	
市之瀬4号橋	C第176号線	1982	6.2	
福倉橋	C第176号線	1986	11.4	
中川橋	C第187号線	不明	2.7	
參宮橋	C第187号線	不明	3.5	
鰐橋	C第194号線	1992	26.0	
上河崎4号橋	C第195号線	不明	4.0	
伊切橋	C第211号線	1973	43.0	
合河橋	C第241号線	不明	2.4	
中の島橋	C第248号線	1978	6.0	
伊切農道BOX	C第257号線	2008	6.9	
野田1号橋	C第390号線	不明	3.4	
塩浜1号橋	C第399号線	不明	4.7	
天神橋	C第414号線	1926	6.4	
新橋	C第421号線	1974	12.7	
西島4号橋	C第429号線	不明	4.0	
上河崎橋	C第434号線	1990	60.5	
獅子ヶ鼻橋	C第434号線	不明	2.9	
上河崎6号橋	C第435号線	不明	3.9	
加茂7号橋	C第460号線	不明	2.6	
中の島大橋	C第461号線	1981	118.0	
柴山橋	C第461号線	1981	18.0	
動橋1号橋	C第462号線	不明	4.2	
消防橋	C第463号線	不明	2.3	
梶井1号橋	C第463号線	1976	13.5	
梶井2号橋	C第463号線	1976	15.7	
梶井1号橋(歩道)	C第463号線	1976	4.6	
梶井2号橋(歩道)	C第463号線	1976	11.8	

表 1.1.4 道路橋一覧表 (4/4)

施設名	路線	架設年次	橋長(m)	備考
動橋 2号橋	C第463号線	不明	2.1	
新梶井橋	C第463号線	1976	91.0	
新梶井橋歩道橋	C第463号線	1997	91.0	
尾俣川橋	C第463号線	1981	15.7	
尾俣川橋歩道橋	C第463号線	1992	16.2	
千原橋	C第467号線	不明	5.2	
湖津西橋	C第479号線	不明	2.8	
猫橋	C第480号線	1955	38.6	
第二猫橋	C第480号線	不明	3.2	
木戸浦橋	C第487号線	1998	12.9	
瑞穂橋	C第491号線	不明	2.8	
加茂 1号橋	C第505号線	1975	12.1	
西島 5号橋	C第505号線	不明	4.0	
庄橋	C第505号線	不明	2.6	
小塩辻 1号跨道橋	C第528号線	不明	6.2	
西島 6号橋	C第537号線	不明	4.0	
加茂 8号橋	C第537号線	1975	12.1	
鴻之森橋	C第551号線	2021	39.0	
新橋	C第560号線	不明	3.3	
吉江橋	C第560号線	不明	3.3	
富塚1号橋	C第560号線	不明	2.0	
白水橋	C第577号線	2004	35.9	
八日市跨線橋	C第577号線	2003	167.0	
黒谷橋	D第9号線	1935	35.0	
丸木橋	D第58号線	不明	3.8	
太刀橋	D第79号線	1960	18.3	
くず谷橋	D第134号線	1969	17.6	
二天橋	D第177号線	1931	28.0	
二天小橋	D第177号線	不明	3.9	
下口下橋	D第179号線	不明	3.8	
こおろぎ橋	D第190号線	1990	21.0	
高瀬大橋	D第191号線	1967	98.0	
平岩橋	D第214号線	1975	75.9	
もみじ谷橋	D第216号線	2000	45.0	
前川橋	D第238号線	不明	4.0	
宮前橋	D第238号線	1980	6.8	
高橋	D第238号線	1968	10.4	
飛越橋	D第239号線	1961	14.0	
岩吹橋	D第245号線	1959	5.0	
連岳橋	D第245号線	1997	5.2	
真中橋	D第245号線	1964	12.2	
落合橋	D第245号線	1977	27.0	
風吹橋	D第245号線	1970	25.0	
鳥越橋	D第245号線	2003	16.6	
中津原橋	D第246号線	1953	19.0	
兵太郎橋	D第246号線	1983	10.6	
新橋	D第247号線	1958	9.0	
茗荷谷口橋	D第258号線	不明	4.0	
二又橋	D第258号線	不明	4.0	
あげみ橋	D第258号線	不明	4.0	
こがけ橋	D第258号線	不明	4.0	
ぜんまい橋	D第258号線	不明	4.0	
おちゃぶち橋	D第258号線	1981	6.3	
ひくぼ橋	D第258号線	不明	4.0	
三郎落橋	D第258号線	不明	5.0	
鶴ヶ滝橋	D第259号線	2002	25.0	
風吹渡橋	D第260号線	1962	7.3	
鶴見橋	D第260号線	1958	10.2	
滝の上橋	D第260号線	1966	7.3	
白馬谷	D第260号線	1969	6.0	
なめとこ橋	D第260号線	不明	4.0	
おささ橋	D第260号線	不明	4.0	
焼溝橋	D第260号線	1971	4.8	
坪谷橋	D第266号線	不明	4.4	
一の瀬	D第268号線	1959	18.6	
上谷橋	D第269号線	1972	13.0	
市ノ谷橋	D第272号線	1968	17.2	
加美谷橋	D第277号線	1983	25.0	
宮の杜大橋	D第277号線	2002	209.0	
南谷橋	D第336号線	1996	12.0	
おそげ橋	D第336号線	1988	17.0	
阿曾ノ谷橋	D第336号線	不明	5.6	
阿蘇橋	D第337号線	1963	60.0	
枯瀬橋	D第337号線	1994	5.0	
阿蘇橋 (歩)	D第337号線	1963	60.0	
一瀬橋	D第337号線	1993	5.3	
日置大橋	D第338号線	1992	253.0	
大内橋	D第340号線	不明	8.0	
尻高橋	D第340号線	1999	22.0	
覗橋	D第340号線	不明	12.3	
大平橋	D第340号線	1999	11.5	

1.2 業務内容

- 業務名：令和6年度 加賀市橋梁長寿命化修繕計画策定業務
- 業務箇所：加賀市内 一円
- 受注金額：¥15,114,000-（うち取引に係る消費税額 ¥1,374,000-）
- 業務期間：令和6年6月20日～令和6年11月29日（当初）
令和6年6月20日～令和7年3月14日（変更）
- 業務項目：設計書に記されている業務項目は表1.2.1参照
特記仕様書は次頁以降に示すとおりである。
- 発注者：加賀市 建設部 土木課
- 受注者：アルスコンサルタンツ株式会社

表 1.2.1 業務項目

項目・工種・種別・細目	単位	設計			適用
		当初	実施	増減	
橋梁長寿命化修繕計画策定業務 【計画策定対象：324 橋】	式	1	1	0	
管理橋梁の資料収集・整理	橋	324	324	0	
健全度評価の判定	橋	324	324	0	
対象橋梁のグルーピング検討	橋	324	324	0	
劣化曲線の推定	橋	324	324	0	
橋梁毎のライフサイクルコスト解析	橋	324	324	0	
予算平準化の検討	橋	324	324	0	
長寿命化修繕計画の策定及び評価	式	1	1	0	
ホームページ掲載用資料作成	式	1	1	0	
道路橋梁等再生計画検討委員会及び関係機関協議（2回）	式	1	1	0	既存資料の整理、現地近接目視点検・損傷状況評価
新技術活用及び集約撤去に伴う検討	式	1	1	0	点検調書作成 集約撤去に係る検討
業務報告書の作成	式	1	1	0	
打合せ協議（4回）	業務	1	1	0	業務着手時、中間時2回、成果品納入時
その他					
電子成果品作成費	式	1	1	0	
システム使用料	橋	324	324	0	
学識経験者謝礼金	式	1	1	0	

特記仕様書

第1条 適用範囲

本仕様書は、加賀市（以下「甲」とする。）が発注する『令和6年度 加賀市橋梁長寿命化修繕計画策定業務』に適用する。

第2条 履行期間

本業務の履行期間は、契約締結の日から令和6年11月29日までとする。

第3条 業務の目的

本業務は、加賀市が管理する道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的として、従来の事後保全型の管理から予防保全型の管理へと移行するとともに、橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を考慮した橋梁長寿命化修繕計画を策定するものである。また、維持管理コスト縮減の検討も併せて実施する。

第4条 対象範囲

本業務は、加賀市が管理する橋梁 N=324橋 を対象とする。

第5条 業務計画書

本業務を実施するにあたっては、委託契約締結後、速やかに設計書及び本仕様書に基づいた業務計画書を作成・提出し、調査職員の承認を受けるものとする。なお、業務計画書は、下記の各号に掲げる事項を明記したものとする。

- ・業務工程計画
- ・業務組織計画
- ・その他必要と認められる事項

第6条 中立性の保持

受託者（以下「乙」とする。）は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

第7条 業務内容

1. 資料収集・整理

計画策定にあたり、加賀市が保有する関連資料の収集について各種情報収集を行い、後段作業の基礎資料として整理、とりまとめる。

(1) 管理橋梁の資料収集・整理

本業務に関連する各種資料（橋梁点検結果・橋梁台帳等）の収集・整理、及び前回策定し『橋梁長寿命化修繕計画』の内容について確認を行う。

橋梁点検結果については、「道路橋定期点検要領」、「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)」に基づき作成され「いしかわ橋梁データベースシステム（以下、点検システムと

称す)」に入力されたデータを貸与するものとする。なお、橋梁長寿命化修繕計画の策定にあたり、橋梁点検データに不足する項目がある場合は、データを収集・補完し、点検システムのデータを更新するものとする。

2. 橋梁長寿命化修繕計画の策定

前述の検討事項を踏まえ、橋梁マネジメントシステムを利用して、以下に規定する事項に関して策定する。

(1) 健全度評価の判定

点検結果に基づき、主要部材(主桁・床版・下部工)の損傷を対象に健全度の評価(5段階)を行う。なお、必要に応じて点検結果を修正するものとする。

(2) 対象橋梁のグルーピング検討

管理路線の重要度、橋梁の架橋状況、アルカリ骨材反応といった特殊要因による劣化の有無等、着目すべき項目を抽出し、各橋梁のグルーピングを実施し、管理水準を決定する。

(3) 劣化曲線の推定

橋梁のライフサイクルコスト(以下、LCCと称す)を算出することを目的として、主要部材の劣化曲線を作成し、劣化予測を行う。なお、各橋梁に対して妥当な劣化曲線を作成することを目的として、一般的な劣化に関しては地域特性等に十分に配慮した統計的な劣化曲線とし、特殊要因による劣化に関しては適切に別途作成・評価するものとする。

(4) 橋梁毎のライフサイクルコスト解析

予防保全型の維持管理計画の策定を目的に、橋梁単位でLCCが最小となる対策工法及び時期を算定する。なお、主要部材以外(支承・伸縮装置等)の修繕費や点検費等の費用も修繕計画に計上するものとする。

また、早期に対策が必要な部材に関しては、具体的な補修・補強工法及び概算工事費等を算出して直近10年内の短期修繕計画を策定する。なお、本事項は、直近10年以降の中長期修繕計画にも反映させるものとする。

(5) 予算平準化の検討

LCC算定結果及び発注者が定める予算額をもとに、各橋梁部材の修繕費を平準化し、最適な予算・修繕シナリオを選定する。なお、平準化は橋梁ごとに算定した優先順位をもとに前倒し及び先送りを行うものとする。

(6) 長寿命化計画の策定及び評価

解析結果をもとに長寿命化修繕計画書【様式I-1】、【様式I-2】を作成する。また、作成した計画書を基に、ホームページ公開用資料の作成を行う。

なお、計画書では、設定する予算と将来の健全度との関係を評価し、最適な予算を検討する。また、予防保全型による修繕計画とは別に、事後保全型管理による修繕費を算出・比較することで、長寿命化修繕計画の策定効果を評価する。

3. 道路橋梁等再生計画検討委員会及び関係機関協議

長寿命化修繕計画の策定に関して、有識者意見聴取を行うための資料を作成する。有識者意

見聽取は、計画方針の立案時及び計画書策定時の2回を開催する方針とする。

4. 新技術活用及び集約撤去に伴う検討

維持管理コストの縮減に向けた取り組みとして、以下を検討する。

(1) 新技術の活用の検討

「新技術情報提供システムNETIS」（国土交通省）、「点検支援技術性能カタログ（案）」（国土交通省）に掲載されている技術のうち、主要な3技術程度を選定し、それぞれについて適用可能な橋梁、メリット、デメリット等を検討する。

(2) 道路橋の集約・撤去

健全性Ⅲ等、近い将来に補修が必要となる橋を対象に利用状況、迂回距離（隣接橋梁との距離等）等から、集約・撤去対象橋梁を抽出する。対象橋梁について、概算費用及びコスト縮減効果を算出し、集約・撤去の可否について検討する。なお、検討では、「道路橋の集約・撤去事例集」（令和4年3月、国土交通省道路局）を参考とする。

5. 業務報告書の作成

長寿命化修繕計画及び各種資料を報告書としてとりまとめる。

第8条 打合せ等

打合せ協議は、業務の着手前、中間時、成果物納入時の4回以上行い、円滑な業務の実施を図るものとする。また、乙は打合せ協議終了後、速やかにその結果を整理し、打合せ記録簿を提出するものとする。

第9条 機密の保持

乙は業務の遂行上知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。

第10条 成果品

本業務により提出する成果品は、次のとおりとする。

報告書 N=2部

電子データ N=1式

第11条 成果品の帰属

成果品は全て甲の所有とする。また、乙が資料を公表、借用及び使用する場合は、その都度甲の承認を受けるものとする。

12条 業務の瑕疵

乙は、委託業務が完了し成果品引渡し後といえども、成果品に瑕疵等が認められた場合には、速やかに乙の責任において修正提出しなければならない。

1.3 業務実施方針

1.3.1 実施フロー

本業務の実施フローを図 1.3.1 に示す。

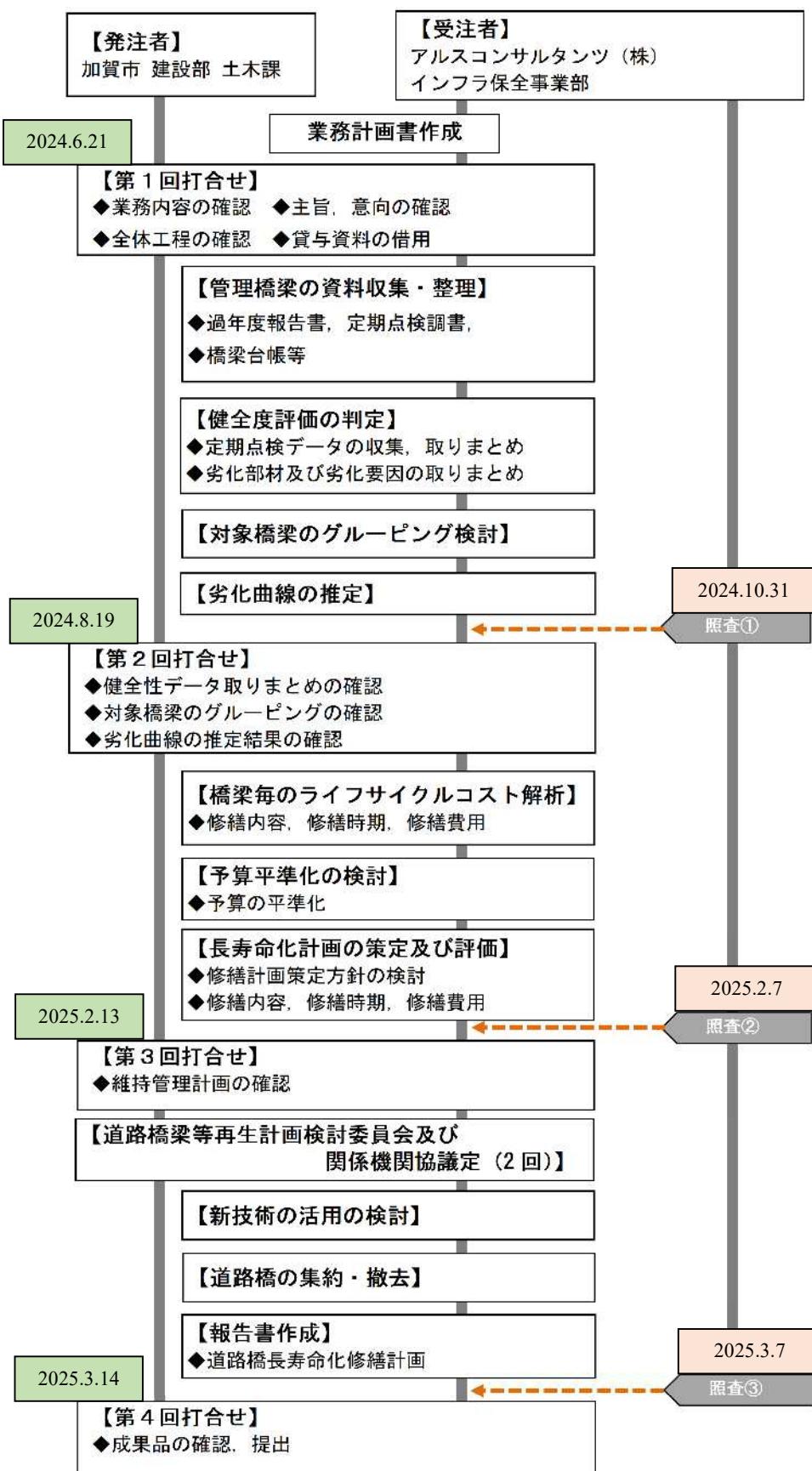


図 1.3.1 フローチャート

1.3.2 実施方法

業務実施フローの各項目に対する実施方法を取りまとめ以下に示す。

(1) 資料収集・整理

計画策定にあたり、加賀市が保有する関連資料の収集について各種情報収集を行い、後段作業の基礎資料として整理、とりまとめた。

① 管理橋梁の資料収集・整理

本業務に関連する各種資料（橋梁点検結果・橋梁台帳等）の収集・整理及び前回策定した「橋梁長寿命化修繕計画」の内容について確認を行った。

橋梁点検結果については、「道路橋定期点検要領」、「道路橋に関する基礎データ収集要領（案）」に基づき作成された、いしかわ橋梁データベースシステム（以下、点検システムと称す）に入力されたデータを貸与するものとした。なお、橋梁長寿命化修繕計画の策定にあたり、橋梁点検データに不足する項目がある場合は、データを収集・補完し、点検システムのデータを更新するものとした。

(2) 橋梁長寿命化修繕計画の策定

前述の検討事項を踏まえ、橋梁マネジメントシステムを利用して、以下に規定する事項に関して策定した。

① 健全度評価の判定

点検結果に基づき、主要部材（主桁・床版・下部工）の損傷を対象に健全度の評価（5段階）を行った。なお、必要に応じて点検結果を修正するものとした。

② 対象橋梁のグルーピング検討

管理路線の重要度、橋梁の架橋状況、アルカリ骨材反応といった特殊要因による劣化の有無等、着目すべき項目を抽出し、各橋梁のグルーピングを実施し、管理水準を決定した。

③ 劣化曲線の推定

橋梁のライフサイクルコスト（以下、LCCと称す）を算出することを目的として、主要部材の劣化曲線を作成し劣化予測を行った。なお、各橋梁に対して妥当な劣化曲線を作成することを目的として、一般的な劣化に関しては地域特性等に十分に配慮した統計的な劣化曲線とし、特殊要因による劣化に関しては適切に別途作成・評価するものとした。

④ 橋梁毎のライフサイクルコスト解析

予防保全型の維持管理計画の策定を目的に、橋梁単位でLCCが最小となる対策工法及び時期を算定した。なお、主要部材以外（支承・伸縮装置等）の修繕費や点検費等の費用も修繕計画に計上するものとした。また、早期に対策が必要な部材に関しては、具体的な補修・補強工法及び概算工事費等を算出して、直近10年内の短期修繕計画を策定した。なお、本事項は、直近10年以降の中長期修繕計画にも反映させるものとした。

⑤ 予算平準化の検討

LCC算定結果及び発注者が定める予算額をもとに、各橋梁部材の修繕費を平準化し、最適な予算・修繕シナリオを選定した。なお、平準化は橋梁ごとに算定した優先順位をもとに前倒し及び先送りを行うものとした。

⑥ 長寿命化計画の策定及び評価

解析結果をもとに長寿命化修繕計画書【様式1-1】、【様式1-2】を作成した。また、作成した計画書を基に、ホームページ公開用資料の作成を行った。なお、計画書では、設定する予算と将来の健全度との関係を評価し、最適な予算を検討した。また、予防保全型による修繕計画

とは別に、事後保全型管理による修繕費を算出・比較することで、長寿命化修繕計画の策定効果を評価した。

(3) 道路橋梁等再生計画検討委員会及び関係機関協議

長寿命化修繕計画の策定に関して、有識者意見聴取を行うための資料を作成した。有識者意見聴取は、計画方針の立案時及び計画書策定時の2回を開催した。

(4) 新技術活用及び集約撤去に伴う検討

維持管理コストの縮減に向けた取り組みとして、以下を検討した。

① 新技術の活用の検討

「新技術情報提供システム NETIS」(国土交通省)、「点検支援技術性能カタログ(案)」(国土交通省)に掲載されている技術のうち、主要な3技術程度を選定し、それぞれについて適用可能な橋梁、メリット、デメリット等を検討した。

② 道路橋の集約・撤去

健全性Ⅲ等、近い将来に補修が必要となる橋を対象に利用状況、迂回距離(隣接橋梁との距離)等から、集約・撤去対象橋梁を抽出した。対象橋梁について、概算費用及びコスト縮減効果を算出し、集約・撤去の可否について検討した。なお、検討では、「道路橋の集約・撤去事例集」(令和4年3月 国土交通省道路局)を参考とした。

(5) 打合せ等

打合せ協議は、業務の着手前、中間時、成果物納入時の4回以上行い、円滑な業務の実施を図るものとした。また、打合せ終了後、速やかにその結果を整理し、打合せ記録簿を提出するものとした。

(6) 報告書作成

長寿命化修繕計画及び各種資料を報告書としてとりまとめた。

(7) 照査

本業務では、適正な品質確保するために照査技術者を定め、照査を実施し、照査の経緯、内容等を記録した結果を管理技術者を通じて調査職員に提出した。

1.4 使用したプログラム

本業務で使用したプログラムを表 1.4.1 に示す。

表 1.4.1 使用するプログラム

項目	プログラム名（「 」は会社名等）
成 果	電子納品支援ツール Ver.18 「FORUM8」
	電子納品チェックシステム Ver18.1 「国土交通省」
長寿命化策定支援システム	石川県橋梁データベースシステム ((公財) いしかわまちづくり技術センター)
報告書	Microsoft Word 2016 「Microsoft」
	Microsoft Excel 2016 「Microsoft」
	Adobe Acrobat Standard DC 「Adobe」
	DocuWorks 8 「Fuji Xerox」
図 面	AutoCAD LT 2016 「autodesk」
	V-nasClair 2018 「KTS」

1.5 業務工程

本業務は、表 1.5.1 に示す工程により実施した。

工期（自）令和6年6月20日

（至）令和6年11月29日（当初）

令和7年3月14日（変更）

表 1.5.1 業務工程表

業務項目	令和6年							令和7年		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)計画・準備		■								
(2)管理橋梁の資料収集・整理		■								
(3)健全度評価の整理			■							
(4)対象橋梁のグルーピング検討			■							
(5)劣化曲線の推定			■							
(6)橋梁毎の ライフサイクルコスト解析			■							
(7)予算平準化の検討				■	■			■	■	
(8)長寿命化修繕方針の検討					■	■				■
(9)新技術の活用の検討						■				■
(10)道路橋の集約・撤去						■				■
(11)道路橋梁等再生計画 検討委員会及び関係機関協議					●	●				
(12)報告書作成			■		■	■				■
(13)打合せ		●	●	●	●	●			●	●
(14)照査				①			② ①	③		② ③

■ : 当初, ■ : 実施

1.6 業務組織

1.6.1 業務組織

本業務は図 1.6.1 に示す組織で実施した。

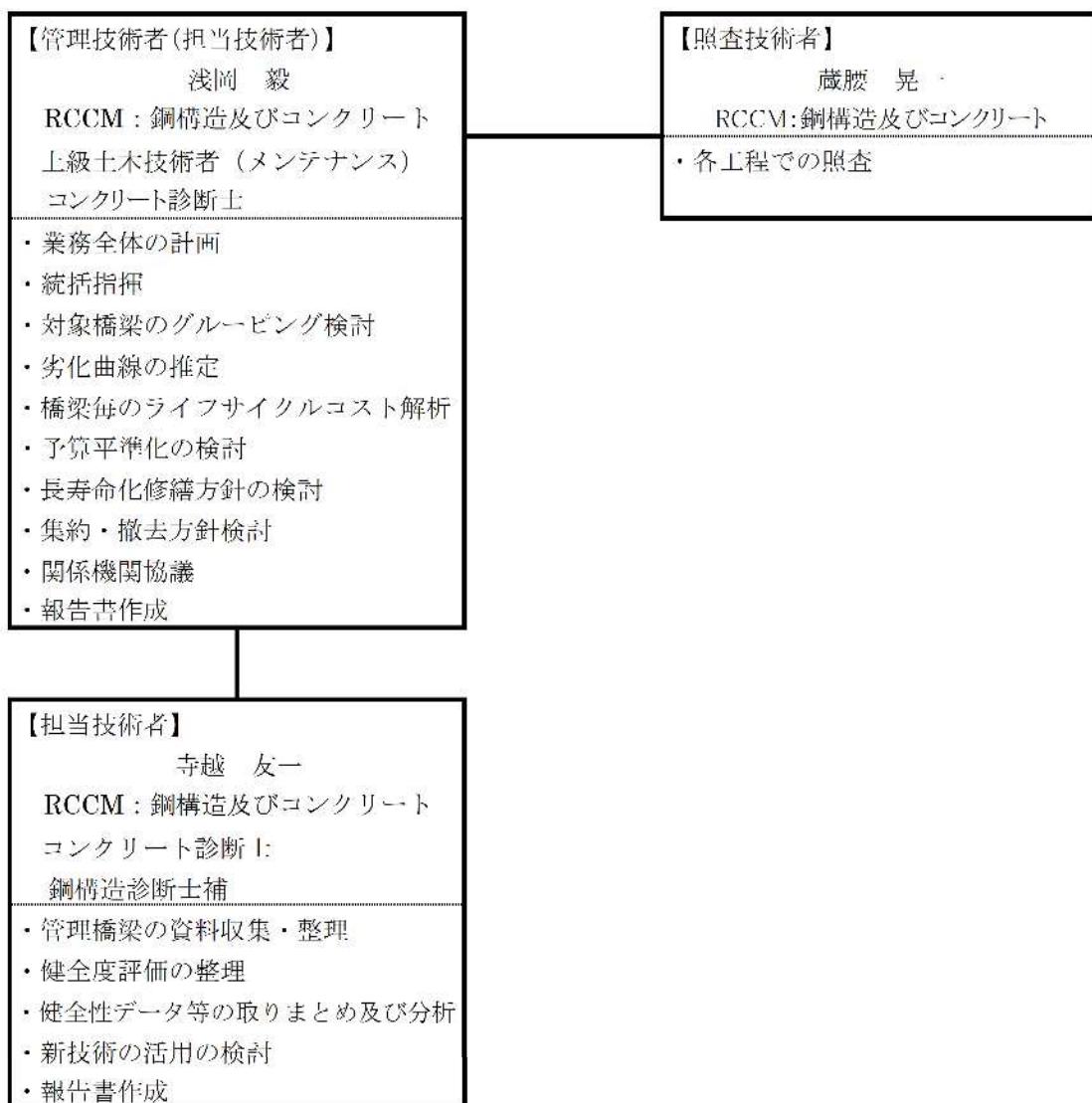


図 1.6.1 業務組織計画

1.6.2 業務場所

〒921-8805 石川県野々市市稻荷 2 丁目 277 番地

アルスコンサルタンツ株式会社 技術センター

TEL : 076-248-4004 FAX : 076-248-4174

1.7 打合せ内容

本業務の打合せ協議は、初回打合せ時、作業中間時 2 回および成果品納入時の計 4 回行った。なお、管理技術者はすべての打合せに立ち会った。表 1.7.1 に打合せ内容を示す。

表 1.7.1 打合せ内容

回数	時期	打合せ内容	提示資料	適用
1	令和 6 年 6 月 21 日	・業務内容の確認 ・設計主旨、意向確認 ・全体工程の確認	・業務計画書	
2	8 月 19 日	・健全性データの取りまとめ ・橋梁のグルーピングの確認 ・劣化曲線の確認	・健全性データ取りまとめ ・橋梁のグルーピング ・劣化曲線	
3	令和 7 年 2 月 13 日	・維持管理計画の確認	・維持管理計画書	
4	3 月 14 日	・成果品の説明 ・成果品内容確認 ・借用物の返却	・成果品納入	

1.8 成果品の品質を確保するための内容

成果品の品質を確保する方策として、図 1.8.1 に示す当社「品質マネジメントシステム(ISO9001)」(以降、QMS と記す)に規定される「照査規定」に基づき成果品の照査を実施した。主な実施項目を以下に示す。

- (1) 照査技術者による段階的照査の実施
 - (2) 赤黄チェックの実施
 - (3) 誤字脱字チェックの実施
 - (4) 成果概要書（ダイジェスト版）の作成

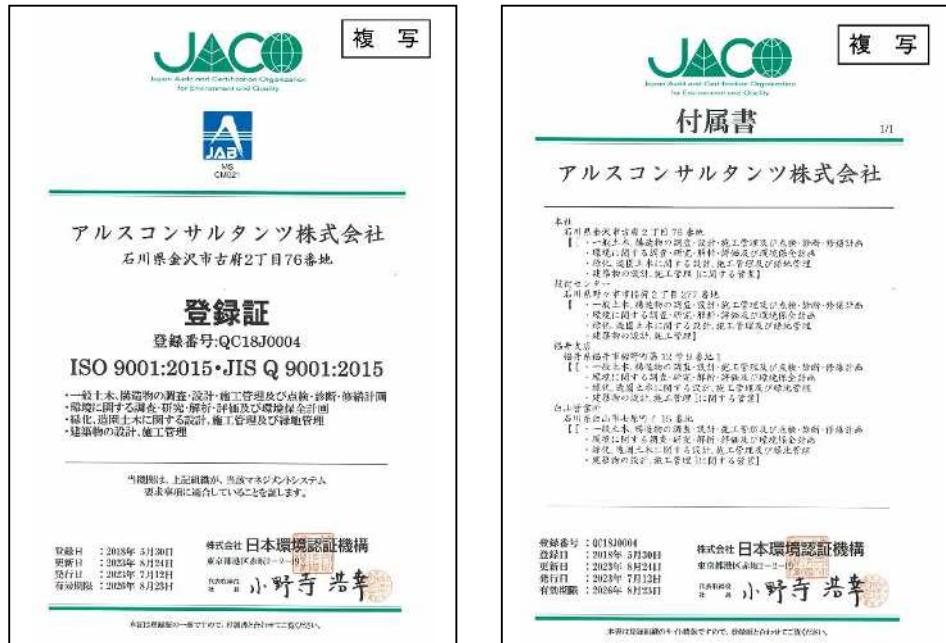


図 1.8.1 ISO9001 登録証

また、橋梁のアセットマネジメントについては、図1.8.2に示す当社「アセットマネジメントシステム(ISO55001)」により実施した。



図 1.8.2 ISO55001 登録証

(1) 照査技術者による段階的照査

照査技術者は表 1.8.1 による照査を実施し、照査結果については図 1.8.3 および表 1.8.2 を巻末資料にとりまとめ提出した。

表 1.8.1 照査内容

照査時期		照査事項	照査内容
①	劣化曲線の検討時	・各項目の妥当性	・橋梁のグルーピングと管理目標 ・主要部材の劣化予測 ・劣化曲線
②	維持管理計画の策定時	・維持管理計画	・修繕優先順位の評価 ・修繕工法及び概算工事費算出 ・各種予算シナリオ ・修繕内容、修繕時期、修繕費用
③	報告書 完了時 (成果納入前)	1) 閲覧システム 2) 報告書	・成果品の検討結果、打合せ協議結果との整合 ・特記および設計書との整合

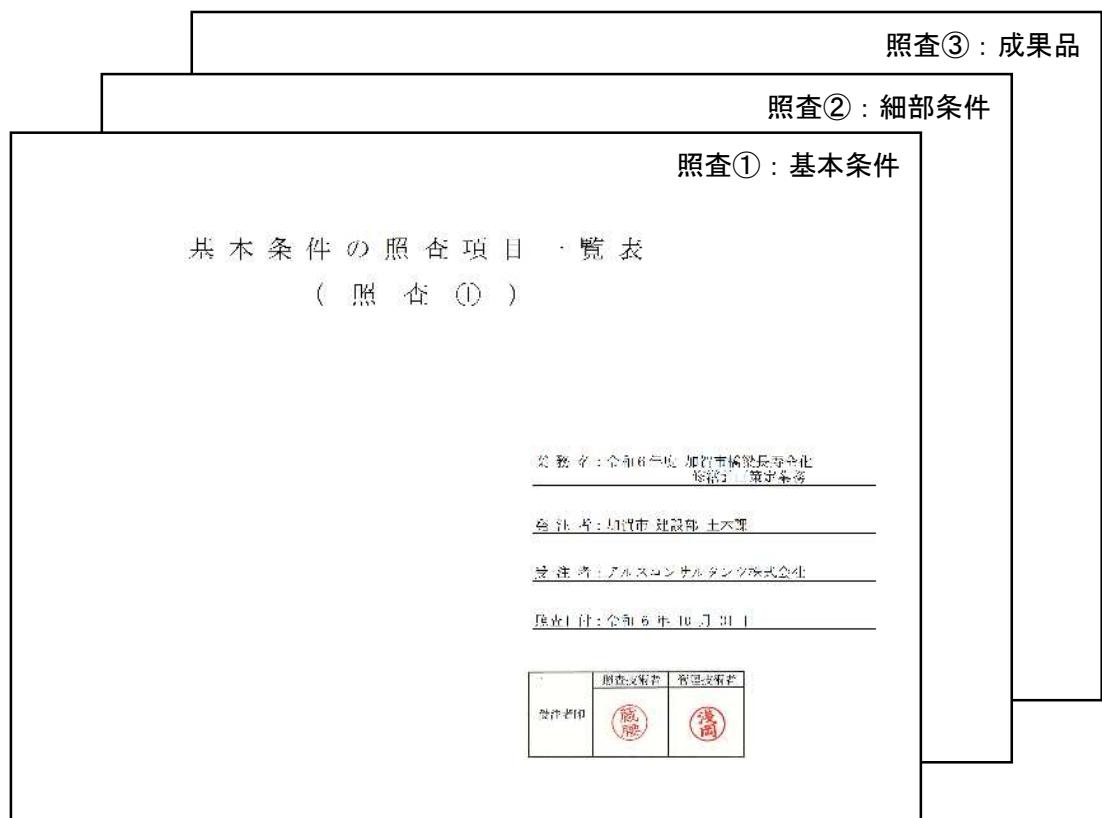


図 1.8.3 照査技術者による段階的照査（照査①②③）

=

表 1.8.2 段階的照查結果

(2) 赤黄チェックの実施

管理技術者は、補修図面数量について「赤黄チェック」を実施した。発注者から「赤黄チェック」を求められた場合は、速やかに提出するものとした。

(3) 謖字脱字チェックの実施

管理技術者は、報告書の本文について「誤字脱字チェック」を実施した。

(4) 成果品概要版（ダイジェスト版）の作成・提出

管理技術者は、当該業務の成果品納品時に成果概要書を作成し、納品時及び検査時における成果品の説明を成果概要書で行った。

1.9 成果品の内容・部数

成果品の作成及び提出は特記仕様書によるものとし、部数は以下のとおり提出した。

報告書	2部
電子媒体（DVD等）	1式

1.10 使用する主な図書及び基準

本業務に使用する主な図書及び基準は表1.10.1に示すとおりである。

表1.10.1 準拠要領および参考資料一覧

番号	名称	年月	発行
1	中長期保全計画支援シミュレータ	H20年11月	(財)道路保全技術センター
2	道路アセットマネジメントハンドブック	H20年8月	(財)道路保全技術センター 道路構造物保全研究会
3	道路橋定期点検要領	H31年2月	国土交通省 道路局
4	道路橋に関する基礎データ収集要領（案）	H19年5月	国土交通省国土技術政策総合研究所
5	金沢市橋梁点検の手引き	H27年8月	金沢市 道路管理課
6	石川県橋梁点検要領	H29年3月	石川県
7	橋梁設計の手引き	H27年4月	石川県土木部
8	設計要領〔道路編〕	R4年4月	北陸地方整備局
9	土木工事数量算出要領（案）	H16年4月	北陸地方整備局
10	道路橋示方書 I・II・III・IV・V	H29年11月	(公社)日本道路協会
11	道路橋補修・補強事例集(2007年版)	H19年7月	(公社)日本道路協会
12	道路橋補修・補強事例集(2009年版)	H21年10月	(公社)日本道路協会
13	道路橋補修・補強事例集(2012年版)	H24年3月	(公社)日本道路協会
14	道路橋伸縮装置便覧	S45年4月	(公社)日本道路協会
15	道路橋支承便覧	H16年4月	(公社)日本道路協会
16	鋼道路橋防食便覧	H26年3月	(公社)日本道路協会
17	道路橋床版防水便覧	H19年3月	(公社)日本道路協会
18	コンクリート標準示方書〔維持管理編〕	H30年10月	(公社)土木学会
19	足場工・防護工の施工計画の手引き	H30年4月	(一社)日本橋梁建設協会
20	コンクリート構造物補修の手引き〔第四版〕	H26年4月	西日本旅客鉄道株式会社
21	設計要領 第二集 橋梁保全編・橋梁建設編	R2年7月	NEXCO 日本高速道路株式会社
22	アルカリ骨材反応による劣化を受けた道路橋の橋脚・橋台躯体に関する補修・補強ガイドライン	H20年3月	ASRに関する対策検討委員会
23	塩害橋梁維持管理マニュアル（案）	H20年4月	橋梁塩害対策検討委員会
24	他自治体の橋梁長寿命化修繕計画	—	—

1.11 テクリス

業務実績情報システム（TECRIS）に基づき、受注・変更・完了時に業務実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、受注時は契約締結後、15日（休日等を除く）以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、15日（休日等を除く）以内に、完了時は業務完了後、15日（休日等を除く）以内に、書面により監督職員の確認を受けたうえで、（財）日本建設情報総合センター（JACIC）に提出した。

第2章 橋梁長寿命化修繕計画策定

2.1 令和元年度 橋梁長寿命化修繕計画策定結果

2.1.1 橋梁長寿命化修繕計画結果

令和元（2019）年度に策定した加賀市橋梁長寿命化修繕計画では、令和3（2021）年度～令和11（2029）年度の9年間に26橋（15m以上の橋梁は13橋）について補修が必要と判断された。

上記計画を踏まえて、表2.1.1に令和2（2021）年度から令和6（2024）年度までの4年間に実施された補修工事の結果内訳として、補修済み橋梁を「青」、補修未着手橋梁を「赤」に示す。なお、補修工事前に点検が実施された橋梁を「黄」で示す。以上から、同4か年で12橋の補修を計画していたが、8橋を実施し4橋は未着手であった。しかし、令和7（2025）年度以降に予定していた4橋を前倒しで実施したため、12橋を補修した結果であった。

表 2.1.1 令和元(2019)年度 加賀市橋梁長寿命化修繕計画結果

No.	橋梁管理番号	橋梁名称	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	グループ	道路橋毎の健全性 (1巡回点検結果)	時期(年)・対策内容・工事費(千円)								道路橋毎の健全性 (2巡回点検結果)		
									2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)		
1	17206110100	旗陽橋	市道A第51号線	68.2	1983	38	B-S	III									断面修復工 9,500	II (2020)	
2	17206110130	橋立橋	市道A第368号線	41.9	1973	48	A-S	II				剥落防止工 3,030	R6実施済					III (2023)	
3	17206110180	新橋	市道A第409号線	33.8	1986	35	B-S	III				R5実施済					総目地取替工 舗装打替工	III (2020)	
4	17206110200	一文橋	市道A第24号線	29.1	1934	87	B-S	III	断面修復工 炭素繊維補強工 57,000	未								III (2020)	
5	17206110210	福田橋	市道A第51号線	28.4	1936	85	B-S	II				支承交換 (アンカーボルト) 23,000	未					III (2020)	
6	17206110350	日の谷橋	市道A第249号線	10.2	1956	65	B	III		R4実施済			断面修復工 8,140					III (2020)	
7	17206110370	直下橋	市道A第246号線	11.07	1983	38	B	III				断面修復工 済					根継ぎ工 11,000	III (2020)	
8	17206110410	馬場先橋	市道A第66号線	10.2	1936	85	B	III		R4実施済			支承交換 横析増厚工 28,000	済				III (2020)	
9	17206110430	曙橋	市道A第78号線	9.7	1964	57	C-S	III									断面修復工 5,000	II (2020)	
10	17206110440	高野橋	市道A第288号線	9.44	1987	34	C-S	III									塗装塗替(Rc-I) 支承交換 31,440	III (2020)	
11	17206110460	大手橋	市道A第54号線	9.06	1968	53	C-S	III									支承交換 16,000	II (2020)	
12	17206110470	太鼓橋	市道A第61号線	9.05	1963	58	C-S	III		R4実施済			沓座モルタル補修工 断面修復工 22,000	済	令和6年度(今回)長寿命化修繕計画策定範囲				II (2020)
13	17206110540	大正橋	市道A第62号線	7.8	1946	75	C-S	III			R6実施済						断面修復工 16,695	III (2020)	
14	17206110550	善助橋	市道A第248号線	7.42	1966	55	C-S	II	断面修復工 炭素繊維補強工 10,900	未							II (2020)		
15	17206110670	大手小橋	市道A第74号線	5.35	1946	75	C-S	III			R5実施済			断面修復工 表面含浸工 5,300	済				III (2020)
16	17206120380	柳橋	市道B第429号線	43.7	2002	19	B-S	III			R5実施済			断面修復工 ひびわれ補修工 27,100	済				III (2020)
17	17206130220	今川橋	市道A第143号線	23.3	1966	55	B-S	III									塗装塗替(Rc-I) 支承交換 40,810	III (2021)	
18	17206130260	泉橋	市道C第133号線	18	1974	47	B-S	III			R6実施済						塗装塗替工 支承補修工 31,636	III (2022)	
19	17206130380	湖月橋	市道C第4号線	6.8	1979	42	A-S	III									塗装塗替(Rc-I) 8,680	III (2021)	
20	17206130390	天神橋	市道C第414号線	6.4	1926	95	C-S	III									断面修復工 炭素繊維補強工 10,100	III (2021)	
21	17206140080	黒谷橋	市道D第9号線	35.1	1935	86	B-S	III									支承交換 29,000	III (2023)	
22	17206140090	二天橋	市道D第177号線	27.8	1931	90	B-S	III			塗装塗替工 済						塗装塗替(Rc-I) 51,200	III (2023)	
23	17206140171	中津原橋	市道D第246号線	19.6	1953	68	B-S	III	塗装塗替(Rc-I) ひびわれ注入工 63,920	済							III (2022)		
24	17206140190	太刀橋	市道D第79号線	18.3	1960	61	B-S	II			柱打ち換え 12,000	未						II (2022)	
25	17206140210	市の谷橋	市道D第272市の谷2号線	17.2	1974	47	B-S	III				根継ぎ工 9,000						III (2020)	
26	17206140330	宮前橋	市道D第238号線	6.8	1968	53	C-S	III				断面修復工 炭素繊維補強工 7,400						III (2021)	

凡例
:補修済み橋梁
:補修未着手橋梁
:補修工事前に点検実施

2.1.2 計画対象外補修橋梁

長寿命化修繕計画以外に補修（更新）が実施された橋梁を表2.1.2に示す。表2.1.1と同様に、補修済み橋梁を「青」、補修工事前に点検が実施された橋梁を「黄」で示す。以上より、計画外で13橋の補修を実施した。

表2.1.2 計画外の補修（更新）実施状況

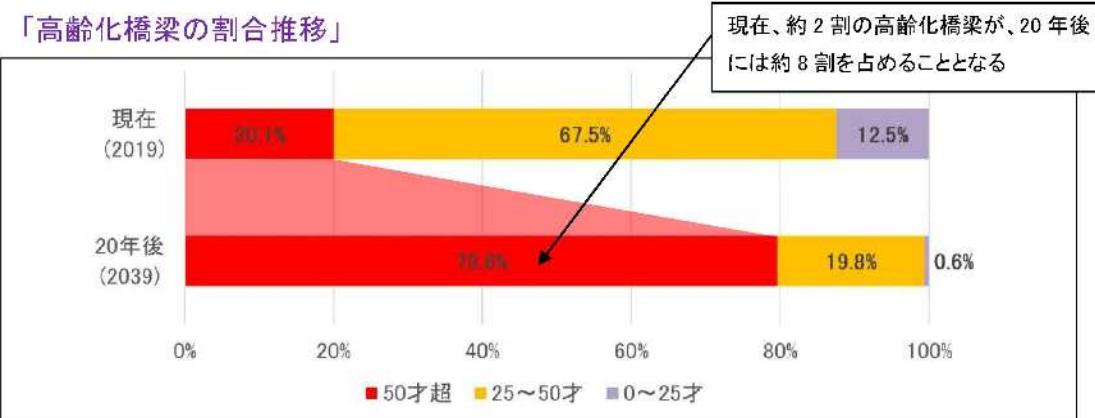
No.	橋梁管理番号	橋梁名称	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	グループ	道路橋毎の健全性 (1巡回点検結果)	時期(年)・対策内容・工事費(千円)										道路橋毎の健全性 (2巡回点検結果)	
									2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	
1	17206110160	松島橋	市道A第60号線	34.8	1956	65	A	III				更新	済							I (2023)
2	17206110890	幸町2号橋	市道A第90号線	3.0	1986	35	C	I				更新	済							I (2022)
3	17206120550	桑原2号橋	市道B第131号線	2.0	1989	32	C	I				更新	済							I (2021)
4	17206120760	黒瀬3号橋	市道B第252号線	3.0	1977	44	C	I				更新	済							I (2021)
5	17206130050	新梶井橋	市道C第463号線	91	1976	45	A-S	II	橋脚耐震補強工事	橋脚耐震補強工事	橋脚耐震補強工事	橋脚耐震補強工事	橋脚耐震補強工事	耐震補強済					II (2022)	
6	17206130100	毛合橋	市道C第92号線	50	1973	48	A	II	更新	済									II (2023)	
7	17206130120	伊切橋	市道C第211号線	43.2	1973	48	A-S	II						剥落防止工	済				III (2023)	
8	17206130180	鴻之森橋	市道C第551号線	31.1	1999	22	A	I				更新	済						I (2023)	
9	17206130230	吉角橋	市道C第172号線	20.6	1979	42	B-S	II				更新	済						I (2023)	
10	17206130240	穂の宮橋	市道C第173号線	19.5	1978	43	B-S	II				更新	済						I (2023)	
11	17206140150	こおろぎ橋	市道D第190号線	21	1990	31	B-S	II	更新	済								I (2023)		
12	17206410010	敷地跨線橋	市道A第375号線	300	1982	39	A-S	II				橋脚RC巻き立て (耐震補強)	橋脚RC巻き立て (耐震補強)	耐震補強済					II (2022)	
13	17206430130	新保橋	市道C第54号線	43.2	1973	48	B-S	II						剥落防止工	済				III (2023)	

令和元（2019）年度に策定した「加賀市の橋梁長寿命化修繕計画ホームページ資料」を図2.1.1～図2.1.2に示す。

加賀市の橋梁長寿命化修繕計画【変更】

【1. 長寿命化修繕計画の背景と目的】

- 加賀市が管理する道路橋は、令和2年3月現在、約329橋あります。このうち建設後50年を経過する高齢化橋梁は、約66橋で全体の約20%を占めています。
- 20年後には、高齢化橋梁が急増し、割合が約80%になり、橋梁の劣化も急速に進行します。
- 平成26(2014)年度より、従前からの事後保全的な修繕から、計画的かつ予防保全的維持管理に転換しており、引き続き今後も橋梁長寿命化によるライフサイクルコストの縮減及び維持・更新費の低減化を図り、道路交通網の安全・安心を確保していきます。
- 橋梁の長寿命化を図ることで、廃材の減少やCO₂削減等、地球温暖化防止にも繋がります。



【2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁】

	橋長15m以上	橋長15m未満	合 計
管理橋梁数	94	235	329

加賀市が管理する橋長2m以上の329橋を長寿命化修繕計画の対象橋梁とし、このうち15m以上の橋梁は94橋と全体の29%と多くを占めています。

【3. 健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針】

○健全性の把握の基本的な方針

健全性については、5年に1回の頻度で定期的に点検を実施し、海に囲まれた石川県特有の劣化（塗装・ASR劣化）などを含め個々の橋梁の損傷状況を把握し、4段階で評価します。

○日常的な維持管理に関する基本的な方針

日常的な道路バトロールや、桁洗浄、清掃等を実施します。

○健全性の把握

点検を実施した結果、健全性や損傷の状況や傾向をとりまとめ、修繕計画を立案するための基礎資料として整備します。

図 2.1.1 加賀市 橋梁長寿命化修繕計画ホームページ公開資料 (1/4)

■ 「橋梁健全性の定義」

健全性		一般的な状況
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態

■ 「橋梁定期点検」



近接目視定期点検の例

(左：橋梁点検車、中：高所作業車、右：ロープアクセス)

■ 「日常的維持管理の基本的方針」

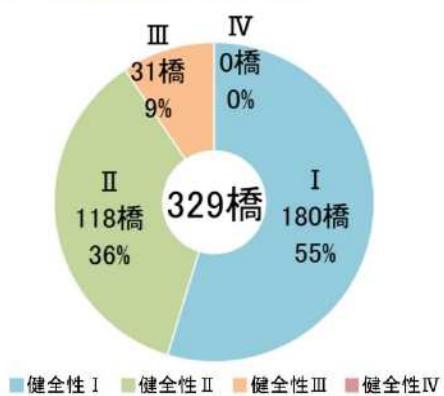


日常的維持管理（橋上面）



日常的維持管理（橋下面）

■ 「健全性の分布状況」



○点検を行った結果、緊急措置に該当する橋梁はありませんでしたが、全体の約 10%である 31 橋が健全性 III (早期措置段階: 機能に支障がある可能性が高く、早期の措置が必要) に該当することが分かりました。劣化が進行しないように、早い段階で修繕を行うこととなります。

図 2.1.1 加賀市 橋梁長寿命化修繕計画ホームページ公開資料 (2/4)

【4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕架替え費用の縮減に関する基本的な方針】

- 引き続き、予防保全型の維持管理を実施することにより、橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の低減を図り、ライフサイクルコストの縮減と維持・更新費の平準化を図ります。
- 329橋の橋梁を対象に、①路線の重要度、②跨道橋・跨線橋、③橋長または径間数より橋梁を6種類(A-S～C)にグルーピングし、その優先度から各々の管理指標を定め、計画的に橋梁の修繕に取り組みます。
- 修繕計画の実行
健全性Ⅲの橋梁(31橋)については、2030年までに修繕を行っていく計画を立案し、予防保全型の維持管理方法を遂行します。

■「橋梁のグルーピング」

グループ	内 容					
	A-S		A		B-S	
A-S	重要な道路ネットワーク上にある橋梁、跨道橋・跨線橋					
A	4径間以上の橋梁					
B-S	15m以上の橋梁					
B	10m以上15m未満の橋梁					
C-S	5m以上10m未満の橋梁					
C	5m未満の橋梁					

■「健全性ごとの管理指標」

健全性	グループ	グループA		グループB		グループC	
		A-S	A	B-S	B	C-S	C
良	I	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検
	II	補修検討 (予防保全)	補修検討 (予防保全)	補修検討 (予防保全)	定期点検	定期点検	定期点検
	III				早期補修 (大規模補修)	早期補修 (大規模補修)	定期点検 監視・措置
悪	IV						更新

■「予防保全型維持管理のイメージ」

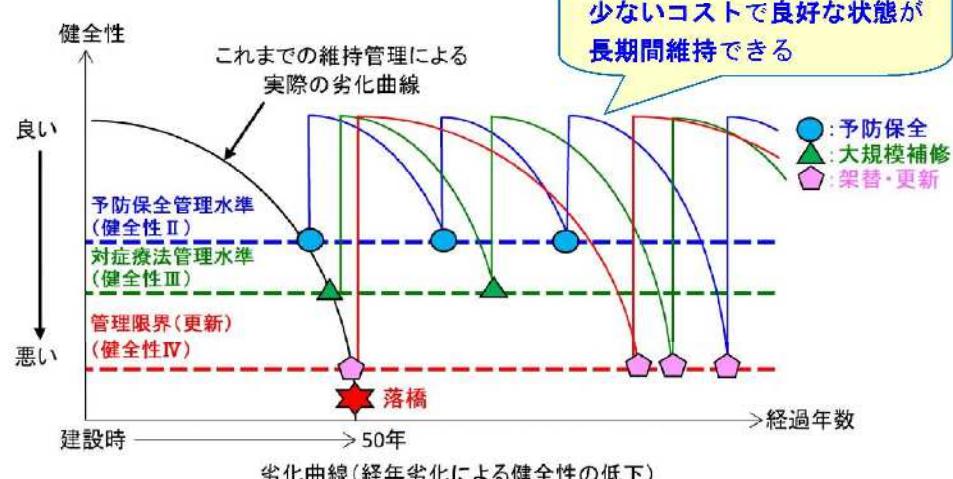
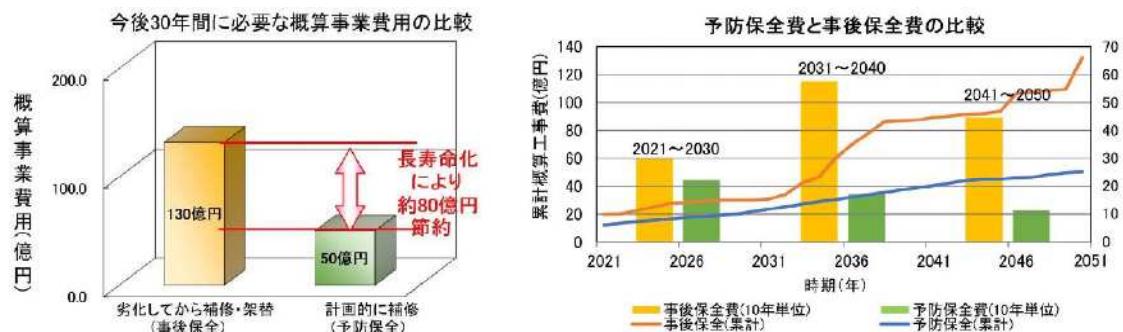


図 2.1.1 加賀市 橋梁長寿命化修繕計画ホームページ公開資料 (3/4)

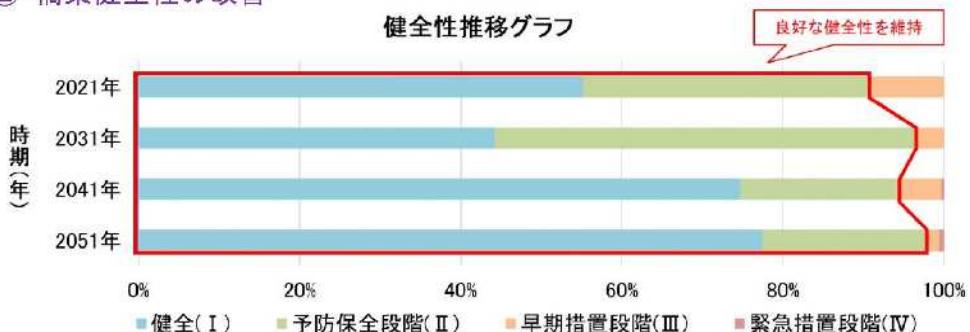
【5. 長寿命化修繕計画による効果】

○橋梁の修繕及び架替えに要する費用については、長寿命化修繕計画に基づき計画的な維持管理を行うことで、今後30年間で、約130億円から約50億円へ、約80億円に相当するライフサイクルコスト縮減の効果が見込まれます。

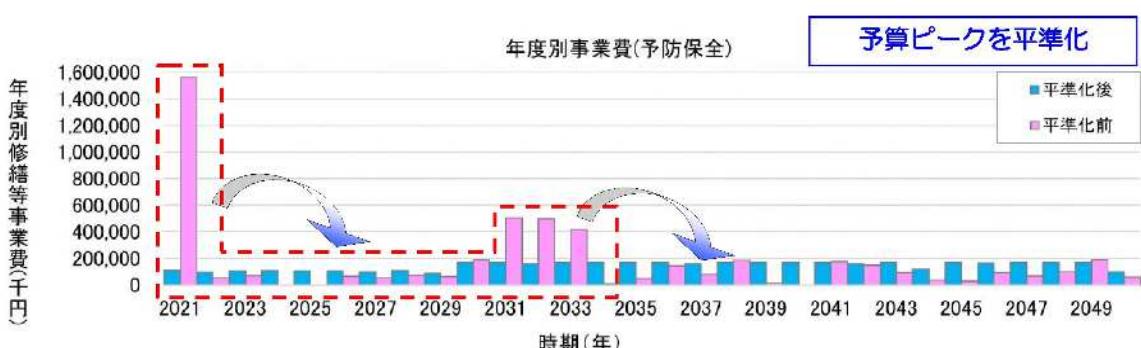
効果① ライフサイクルコストの縮減



効果② 橋梁健全性の改善



効果③ 修繕・更新費用の平準化



【6. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者】

(1) 計画策定担当部署

○加賀市 土木課 TEL(0761)72 7931 FAX(0761)72 7212

(2) この計画策定にあたり、次の先生に意見をいただきました。

○石川工業高等専門学校 環境都市工学科 教授 津田 誠

2.2 橋梁概要

2.2.1 管理橋梁対象データ

橋長内訳および橋種内訳、径間内訳をそれぞれ図2.2.1～図2.2.3に示す。

管理橋梁（324橋）の内、橋長15m以上の橋梁は全体の28%（92橋）を占める。橋種はRC橋（123橋（38%））が多く、次いでPC橋（103橋（32%））、溝橋（59橋（18%））、鋼橋（37橋（11%））となっている。なお、石橋や木橋は“その他”として抽出した。また、径間数は最大で10径間と幅広く分布しており、2径間以上を有する橋梁の割合は全体の約20%（59橋）となっている。

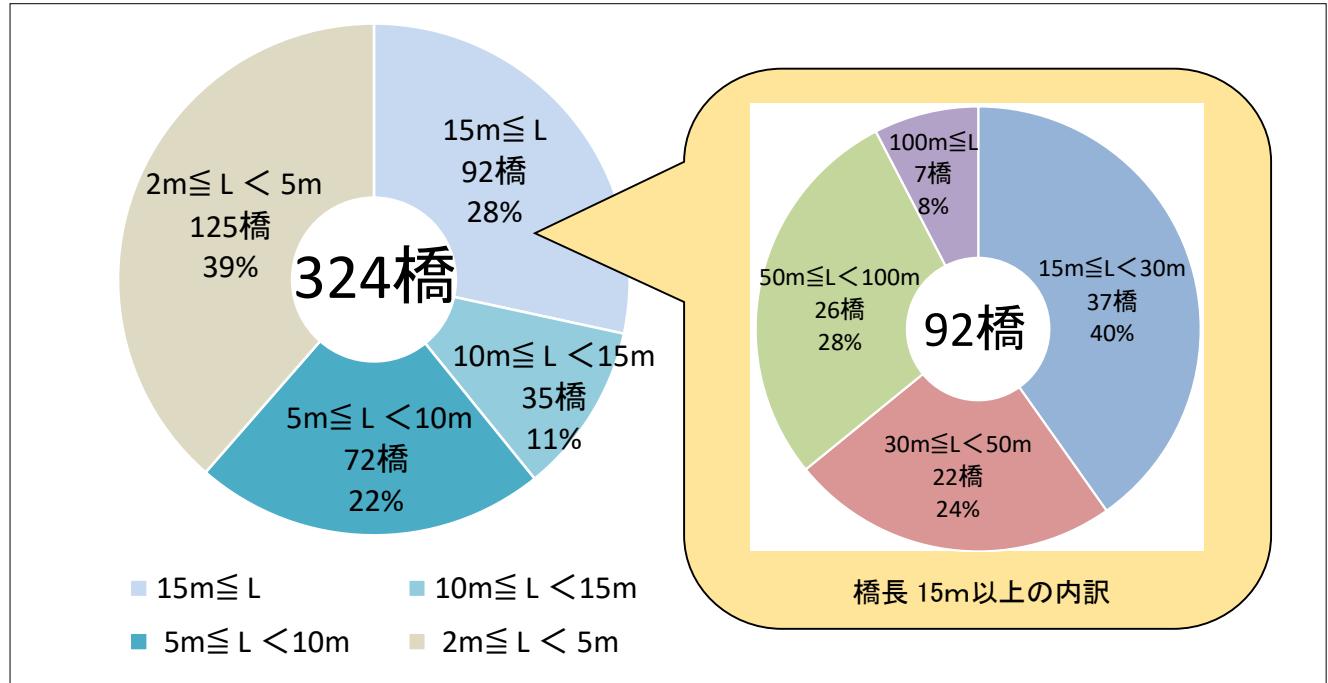


図2.2.1 橋長内訳

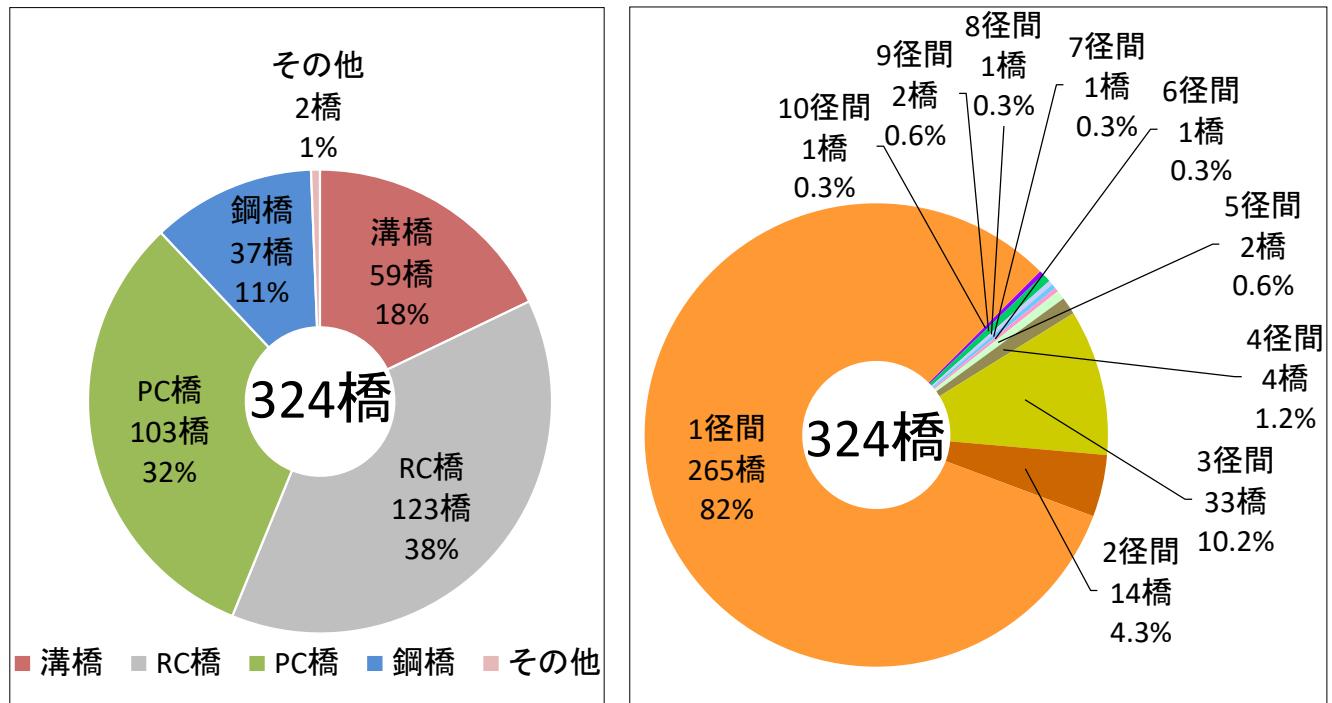


図2.2.2 橋種内訳

図2.2.3 径間内訳

橋長別橋梁数を図 2.2.4 に、橋長別橋面積を図 2.2.5 に示す。これより、5m 未満の橋種は溝橋と RC 橋で、10m 未満からは PC 橋と鋼橋が加わり、25m 以上は PC 橋と鋼橋のみとなる。また、橋長については 8 径間を有する「No.1_敷地跨線橋」の L=300.0m が最も長い。

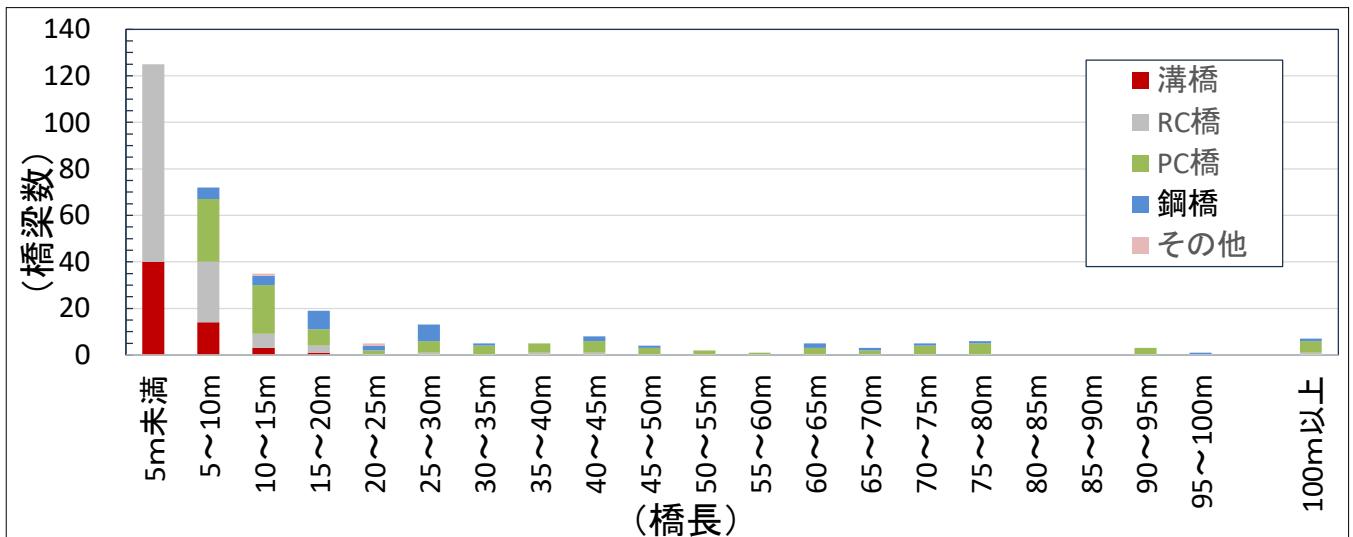


図 2.2.4 橋長別橋梁数

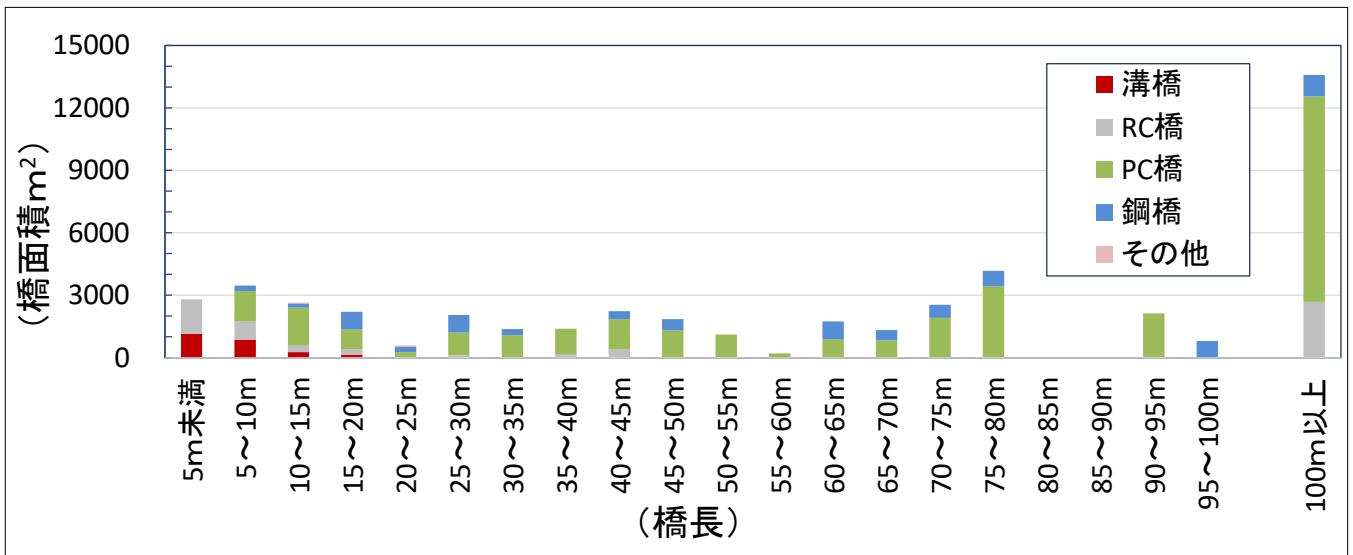


図 2.2.5 橋長別橋面積

2.2.2 架設年度分布

橋梁の架設年度分布を整理した。架設年度分布は、全橋梁と橋長 15m 未満、橋長 15m 以上の橋梁に区別して整理した。また、架橋年度が不明な橋梁については、国土地理院の空中写真等を用いて可能な限り特定した（表 2.2.1 参照）。ただし、空中写真は数年おきの撮影のため、特定結果は撮影年度に依存したものとなっている。例えば、下図において 1974 年に架設が集中しているデータとなっているのは、同年の撮影に起因するものであり、実際の架設年は前回撮影（多くは 1968 年）から 1974 年の間と考えるのが妥当である。

(1) 全橋梁

全橋梁の架設年度分布を図 2.2.6 に示す。架設年度は 1960 年代～1980 年代前半に集中していることがわかる。

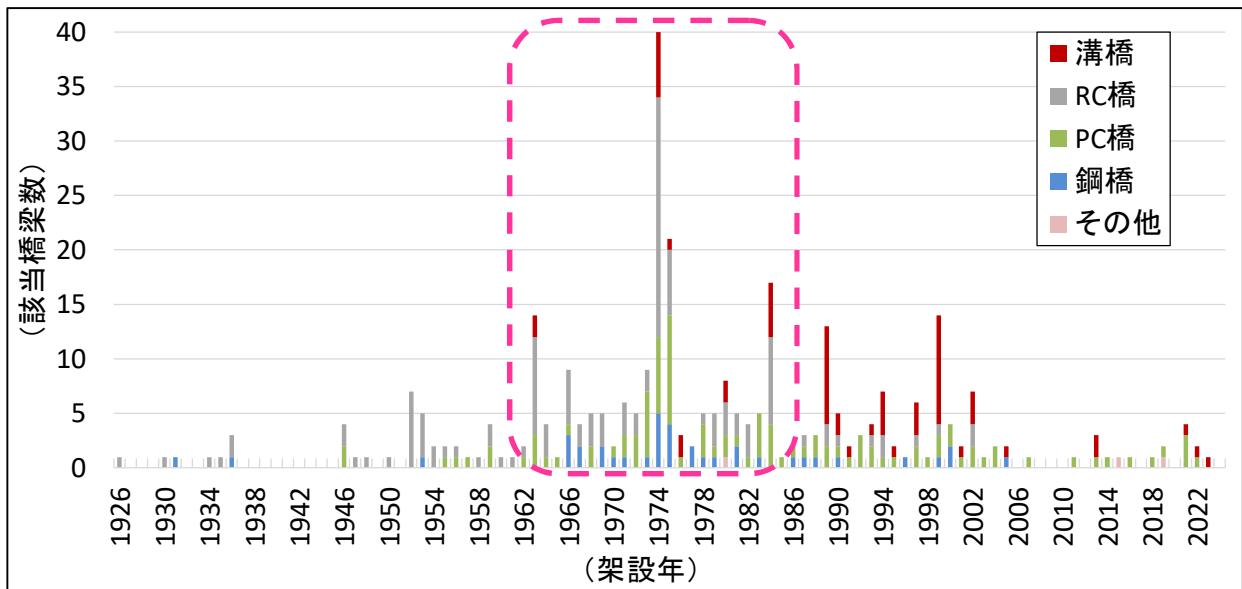


図 2.2.6 全橋梁の架設年分布

(2) 橋長 15m 未満

橋長 15m 未満の架設年度分布を図 2.2.7 に示す。全橋梁のグラフとほぼ同様の傾向を呈している。橋種としては溝橋、RC 橋が主であり、1990 年前後からは溝橋の架設が多数を占めていることがわかる。

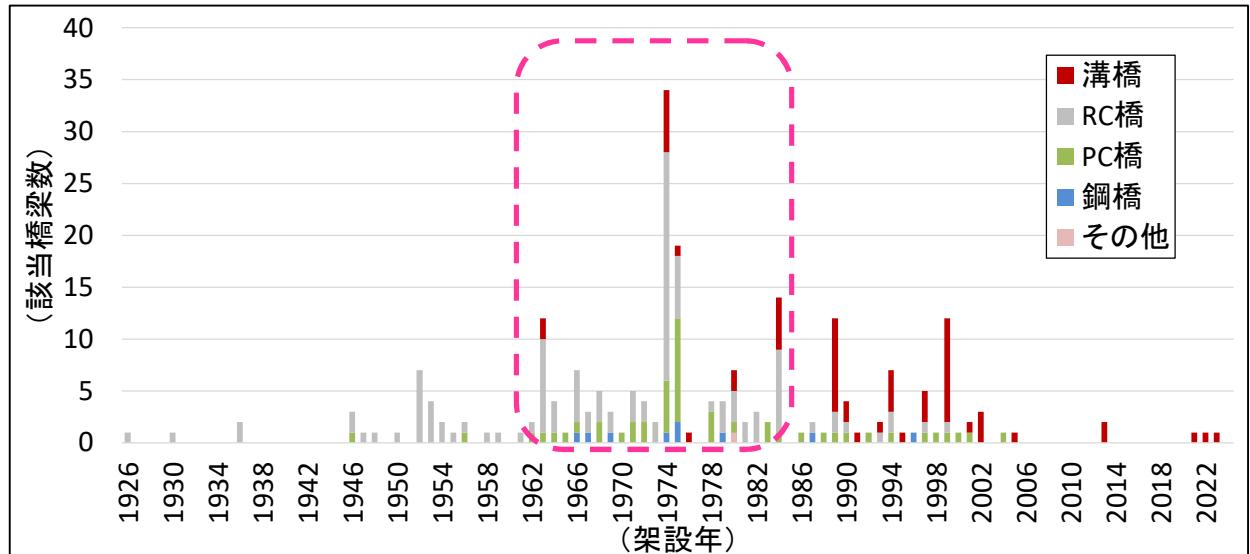


図 2.2.7 橋長 15m 未満の架設年分布

(3) 橋長 15m 以上

橋長 15m 以上橋梁の架設年度分布を図 2.2.8 に示す。橋梁数は 92 橋（中津原橋を上下線で分けて数えると 93 橋）であり、1970 年以降の架設が多い。橋種としては PC 橋、鋼橋が主である。

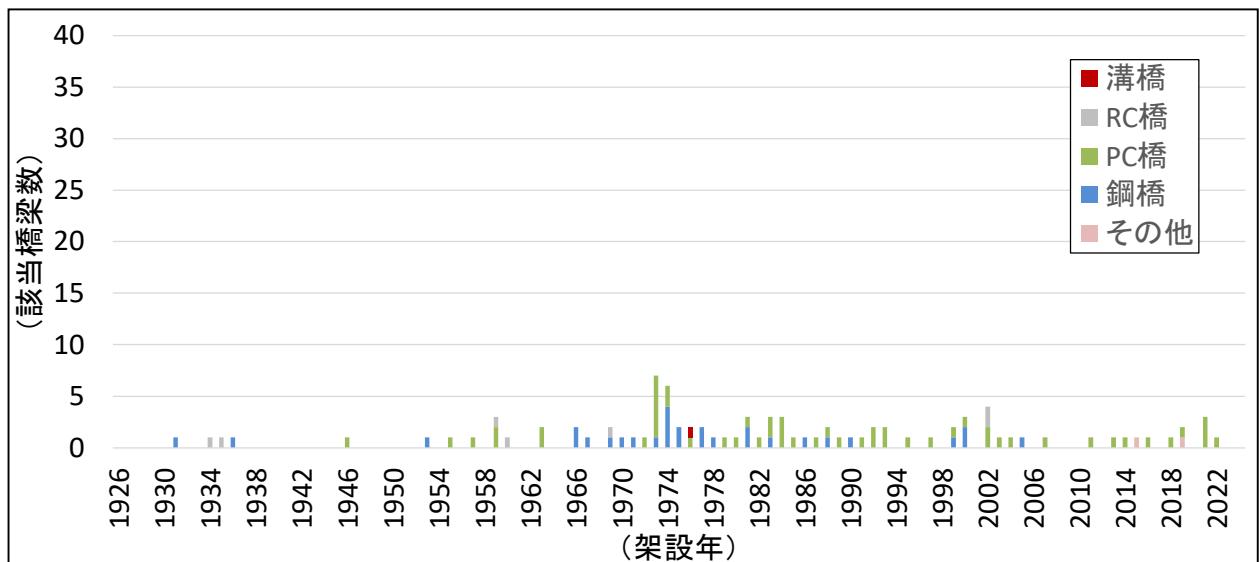


図 2.2.8 橋長 15m 以上の架設年分布

表 2.2.1 橋梁架設年推定表 (1/3)

No.	橋梁管理番号	橋梁名	路線名	橋長	架設年			地理院地図上り (航空等真)		架設年 (算定)	
					橋歴版	台帳	点検報告書	存在せず	存在確認		
01	17206410010	敵地跨線橋	A第375号線	306	1982			1982		1982	
02	17206110020	高尾跨線橋	A第419号線	111	1999			1999		1999	
03	17206110030	瀬路橋	A第215号線	90	1995			1995		1995	
04	17206110040	東永橋	A第337号線	77	1984			1984		1984	
05	17206110050	水練橋	A第230号線	74.8	1981			1981		1981	
06	17206110060	下福田橋	A第409号線	74	1973			1973		1973	
07	17206110080	遊石橋	A第33号線	71.3	1984			1984		1984	
08	17206110090	垣橋	A第42号線	68.4	1979			1979		1979	
09	17206110100	旗原橋	A第51号線	68.2	1983			1983		1983	
10	17206110110	宮前橋	A第46号線	68.06	1975			1975		1975	
11	17206410120	高尾橋	A第124号線	41.8	1973			1973		1973	
12	17206110130	橋立橋	A第368号線	41.9	1973			1973		1973	
13	17206110140	弁天橋	A第11号線	41.5	1988			1988		1988	
14	17206110150	木呂塙橋	A第18号線	25.2	1981			1981		1981	
15	17206110160	松島橋	A第60号線	42.4	2021			2021		2021	既橋より架け替え。2021年9月に供用開始。
16	17206110170	永代橋	A第223号線	34.3	1984			1984		1984	
17	17206110180	新橋	A第409号線	33.8	1986			1986		1986	
18	17206110190	三谷新橋	A第254号線	32.6	1985			1985		1985	
19	17206110200	一文橋	A第245号線	29.1	無	1982		1934	1946(最古)	1934	大聖寺高校の聖流浴々より明治7年に架設と記載
20	17206110210	福田橋	A第51号線	28.4	1936			1936		1936	
21	17206110220	福田歩道橋	A第51号線	28	1974			1974		1974	
22	17206110230	記念橋	A第26号線	24	1959			1959		1959	
23	17206110240	牛追橋	A第381号線	18.5	1969			1969		1969	
24	17206110250	農道橋	A第354号線	17.6	1966			1966		1966	
25	17206110260	曾半川橋	A第354号線	14.5	1967			1967		1967	
26	17206110270	船坂橋	A第45号線	14.5	1956			1956		1956	
27	17206110280	雁田橋	A第226号線	13.6	1988			1988		1988	
28	17206110290	駒坂中の橋	A第355号線	12.8	2004			2004		2004	
29	17206110300	庄司谷橋	A第237号線	12.2	2000			2000		2000	
30	17206110310	熊坂新橋	A第305号線	12.4	1975			1975		1975	
31	17206110320	北原橋	A第328号線	11.4	1972			1972		1972	
32	17206110330	曾谷橋	A第289号線	13.3	1994			1994		1994	
33	17206110340	庄司谷二号橋	A第320号線	12.2	2001			2001		2001	
34	17206110350	日の谷橋	A第249号線	10.2	1956			1956		1956	
35	17206110360	神明橋	A第73号線	10.3	1936			1936		1936	
36	17206110370	庄下橋	A第246号線	11.07	無	1983		1980	1984	1983	1980～1984に架け替え。台帳採用
37	17206110380	上宮橋	A第247号線	10.5	1970			1970		1970	
38	17206110390	小塩社水門橋	A第368号線	10.44	無	1978		1978	1966	1974	1966～1974に架橋
39	17206110400	前田橋	A第245号線	10.24	1980			1980		1980	
40	17206110410	馬塚先端橋	A第65号線	9.2	1936			1936		1936	
41	17206110420	城南橋	A第50号線	10.1	1962			1962		1962	
42	17206110430	疋橋	A第18号線	9.7	1964			1964		1964	
43	17206110440	高野橋	A第208号線	9.44	無	1967		1987	1984	1989	1984～1989に架け替え。台帳採用
44	17206110450	猪生橋	A第60号線	9.1	1954			1954		1954	
45	17206110460	大手橋	A第34号線	9.06	1968			1968		1968	
46	17206110470	太鼓橋	A第61号線	9.05	1963			1963		1963	
47	17206110480	鶴威橋	A第128号線	9.2	1992			1992		1992	
48	17206110490	古邑吊橋	A第305号線	8.5	無	不明	1966	1966	1974	1966～1974に架橋	
49	17206110500	芦／輪橋	A第244号線	8.4	1974			1974		1974	
50	17206110510	馬太郎橋	A第246号線	9.4	1968			1968		1968	
51	17206110520	八幡橋	A第249号線	8.2	1985			1985		1985	
52	17206110530	波岡橋	A第238号線	7.9	1966			1966		1966	
53	17206110540	大正橋	A第228号線	7.8	無	不明	1946(最古)	1946	1946	存在確認できた最古の年。1946年以前に架橋	
54	17206110550	兼助橋	A第248号線	7.2	1966			1966		1966	
55	17206110570	田尻橋	A第368号線	7.25	無	1978		1978	1975	1984	1975～1984に架橋。台帳採用
56	17206110580	湯出橋	A第241号線	7.6	2005			2005		2005	
57	17206110610	日谷二号橋	A第248号線	6.1	無	1973	1973	1963	1975	1973	1963～1975に架橋。台帳採用
58	17206110620	コイト橋	A第252号線	6	無	1971	1971	1980	1984	1984	1980～1984に架け替え
59	17206110630	手サ橋	A第25号線	2	無	不明	1989	1989	1994	1989～1994に架け替え	
60	17206110640	深田橋	A第159号線	5.85	無	不明	1975	1975	1984	1975～1984に架け替え	
61	17206110650	花房橋	A第232号線	5.8	無	1971	1971	1980	1984	1984	1980～1984に架け替え
62	17206110660	武橋	A第409号線	5.5	1966			1966		1966	
63	17206110670	大手小橋	A第74号線	5.35	無	1966	不明	1946(最古)	1946	1946	存在確認できた最古の年。1946年以前に架橋
64	17206110680	威谷橋	A第219号線	6.3	無	1955	1955	1994	1999	1999	1994～1999に架け替え
65	17206110688	鶴橋	A第218号線	5.1	2000			2000		2000	
66	17206110700	一本橋	A第8号線	5	1983			1983		1983	
67	17206110710	三木橋	A第231号線	50.7	1973			1973		1973	
68	17206110720	合序橋	A第254号線	3	無	不明	1980	1984	1984	1980～1984に架橋	
69	17206110730	深谷橋	A第244号線	3	無	不明	1974	1974	1974	1968～1974に架け替え	
70	17206110740	永井大橋	A第303号線	78.9	1993			1993		1993	
71	17206110750	鍾地3号橋	A第109号線	2.5	無	不明	1980	1984	1984	1980～1984に架け替え。また、1994～1999に撤幅。	
72	17206110760	前田橋	A第225号線	6	無	不明	1994	1999	1999	1994～1999に架け替え	
73	17206110770	吉川橋	A第106号線	3.5	無	不明	2001	2002	2002	2001～2002に架け替え	
74	17206110780	瀬路越橋	A第215号線	4.8	無	不明	1994	1995	1995	1994～1995に架橋。瀬越橋に合わせた	
75	17206110790	高木橋	A第222号線	6.3	無	不明	1994	1999	1999	1994～1999に架け替え	
76	17206110800	中橋	A第8号線	2.1	無	不明	1946(最古)	1946	1946	住宅街かつ航空写真が古く判断しづらいが、道路はあることと橋下の状況写真を見て架橋していると判断	
77	17206110810	中和橋	A第68号線	4	1954			1954		1954	
78	17206110820	辻原橋	A第202号線	6.3	無	不明	1994	1999	1999	1994～1999に架け替え	
79	17206110830	一本橋	A第221号線	6.3	無	不明	1994	1999	1999	1994～1999に架け替え	
80	17206110840	上木平成大橋	A第172号線	75.6	2015			2015		2015	
81	17206110850	水町1号橋	A第228号線	4	無	1987		1987	1987	1987	1984～1989に架橋。台帳採用。
82	17206110860	鶴橋	A第59号線	2	無	不明	1963	1975	1975	1963～1975に架橋。	
83	17206110870	十一橋	A第77号線	4	無	不明	1930	1930	1930	1946以前に架橋。台帳採用。	
84	17206110880	幸橋	A第91号線	3	無	不明	1980	1984	1982	1980～1984に架け替え。台帳整備年(1988)採用。	
85	17206110890	幸町2号橋	A第90号線	3	無	不明	1986	2019	2022	新幹線既設敷設時期に架け替えが行われている。ストリートビューより2019～2022に架け替え。	
86	17206110900	敵地1号橋	A第107号線	4	無	不明	1975	1980	1980	1975～1980に架け替え	
87	17206110910	敵地2号橋	A第108号線	3	無	不明	1975	1980	1980	1975～1980に架け替え	
88	17206110920	神禄2号橋	A第164号線	2.8	無	不明	2002	2002	2002	2002/06/03～2002/09/20の4か月に架け替え	
89	17206110930	三木橋	A第256号線	2	無	不明	1974	1975	1975	1974～1975に架け替え。また1994～1999に撤幅。	
90	17206110950	トンタ二号橋	A第225号線	4	無	不明	1948	1948	1963	1948～1963に架け替え。また1984～1989に撤幅。	
91	17206110960	第一花房橋	A第233号線	2	無	不明	1966	1974	1974	1966～1974に架橋。	
92	17206110970	第二花房橋	A第234号線	2	無	不明	1963(最古)	1963	1963	存在確認できた最古の年。1963以前に架橋。	
93	17206110980	第三花房橋	A第234号線	3	無	不明	1968	1974	1974	1968～1974に架け替え。	
94	17206110990	細坪橋	A第240号線	3	無	不明	1953	1963	1963	1953～1963に架橋。	
95	17206111000	中郷橋	A第240号線	2	無	不明	1963	1964	1999	1994～1999に架け替え。台帳の架設年は架け替え前のもの。	
96	17206111020	白谷1号橋	A第248号線	2	無	不明	1963	1966	1966	1963～1966に架橋。	
97	17206111040	上河崎5号橋	A第306号線	3	無	不明	1966	1974	1974	1966～1974に架橋。	
98	17206111050										

表 2.2.1 橋梁架設年推定表 (2/3)

No.	橋梁管理番号	橋梁名	路線名	橋長	架設年			地理院地図より (航空写真)	架橋年 (推定)	備考
					横断版	台帳	点検結果			
116	17206120120	さくら橋	B第403号線	9.3	1997	1997	不明	1997	1997	
117	17206120130	別所橋	B第1号線	8.8	無	1971	1971	1968	1974	1968~1974に架橋。台帳採用
118	17206120140	別所 2 号橋	B第8号線	8.3	無	1971	1971	1968	1974	1968~1974に架橋。台帳採用
119	17206120150	尾保小橋	B第410号線	7.4	無	1975	1975	1974	1975	1974~1975に架橋。台帳採用
120	17206120160	市之瀬 2 号橋	B第10号線	6.6	無	1980	1980	1966	1974	1968~1974に架け替え
121	17206120170	中新橋	B第173号線	6.05	無	1971	1971	1952	1963	1952~1963に架け替え
122	17206120180	井詰橋	B第152号線	6	無	1975	1966	1974	1974	1968~1974に架け替え
123	17206120190	大和町 8 号橋	B第237号線	6	無	1975	1975	1974	1975	1974~1975に架橋。台帳採用
124	17206120200	大和町 7 号橋	B第206号線	5.8	無	1975	1975	1974	1975	1974~1975に架橋。台帳採用
125	17206120210	大和町 6 号橋	B第288号線	5.7	無	1975	1975	1974	1975	1974~1975に架橋。台帳採用
126	17206120220	鹿ヶ墓橋	B第300号線	5.7	無	1988	1988	1969	1990	1990年5月に江沼チエン製作所の大型寺町から上河崎町に全面移転に伴って架橋
127	17206120230	大和町 2 号橋	B第294号線	5.65	無	1975	1974	1975	1975	1974~1975に架橋。台帳採用
128	17206120240	どんどん橋	B第31号線	5.5	無	不明	不明	1966	1974	1968~1975に架橋。
129	17206120250	森橋	B第124号線	5.5	無	不明	不明	1966	1974	1968~1974に架け替え
130	17206120260	大和町 4 号橋	B第289号線	5.5	無	1975	1975	1974	1975	1974~1975に架橋。台帳採用
131	17206120270	大和町 3 号橋	B第290号線	5.5	無	1975	1975	1974	1975	1974~1975に架橋。台帳採用
132	17206120280	大和町 5 号橋	B第343号線	5.5	無	1975	1975	1974	1975	1974~1975に架橋。台帳採用
133	17206120290	御の橋	B第16号線	4.85	無	不明	不明	1952	1963	1952~1963に架け替え
134	17206120300	尾保橋	B第181号線	5.9	無	不明	不明	1974	1975	1974~1975に架橋。台帳採用
135	17206120310	大和町 1 号橋	B第293号線	5	無	1975	1974	1975	1975	1974~1975に架橋。台帳採用
136	17206120320	保實 1 号橋	B第190号線	4	無	不明	不明	1964	1989	1968~1989に架け替え
137	17206120330	河南小橋	B第351号線	4.75	無	1950	1950	1948	1952	1948~1952に架橋。台帳採用
138	17206120340	松山橋	B第415号線	4.6	無	1952	1952	1963	1952	1952~1963に架橋。桁下写真より丸鋼を使用している。台帳採用。
139	17206120350	太鼓山橋	B第170号線	4.7	1980	1980			1980	
140	17206120360	跡水道 2 号橋	B第305号線	2.3	無	不明	不明	1984	1989	1984~1989に架け替え。
141	17206120370	山背橋	B第62号線	2.9	無	不明	不明	1980	1984	1980~1984に架け替えおよび暗渠化開始。また、1984~1989に歩道部の幅幅および暗渠化完了。
142	17206120380	柳橋	B第429号線	43.7	2002	2002			2002	
143	17206120390	市之瀬 5 号橋	B第25号線	4.5	無	不明	不明	1968	1974	1968~1974に架橋。また、1975~1980に拡幅。
144	17206120400	皿屋橋	B第248号線	9.7	1978	1978			1978	
145	17206120410	番堤橋	B第428号線	11.1	1989	1989			1989	
146	17206120420	河南新大橋	B第14号線	49.4	2013	2013			2013	
147	17206120430	山代跨道橋	B第14号線	18	2014	2014			2014	
148	17206120440	1 号函渠	B第14号線	8.4	無	2016	2016	2008	2015	2008~2015に架橋。河南新大橋の架設年と合わせた
149	17206120450	開陽橋	B第89号線	4	1978	1978			1978	
150	17206120460	大堀高橋	B第33号線	4	無	不明	不明	1968	1974	1968~1974に架橋。
151	17206120470	市之瀬 1 号橋	B第105号線	3	無	不明	不明	1980	1984	1974~1984に架け替え。
152	17206120480	桂谷橋	B第109号線	5	無	不明	不明	1948~(最古)	1948	存在確認できた最古の年。1948年以前に架橋。
153	17206120490	向出橋	B第117号線	4	無	不明	不明	1975	1979	1975~1979に架け替え。
154	17206120500	東橋	B第121号線	2	無	不明	不明	1952	1963	1952~1963に架け替え
155	17206120510	二ノ屋 4 号橋	B第122号線	3	無	不明	不明	1966	1975	1966~1975に架橋。
156	17206120520	二ノ屋 3 号橋	B第123号線	3	無	不明	不明	1966	1975	1966~1975に架橋。
157	17206120530	桑原 1 号橋	B第130号線	4	無	不明	不明	1964	1989	1968~1989に架け替え。
158	17206120550	桑原 2 号橋	B第131号線	2	無	不明	不明	2022	2023	ストリートビューより2022~2023にボックスカルバートに架け替え。
159	17206120570	河原 2 号橋	B第142号線	2	無	1980	1974	1975	1974~1975に架橋。	
160	17206120580	平松小橋	B第135号線	3	無	不明	不明	1968	1974	1968~1974に架橋。土合橋が横断版より1971年架橋なので合わせた
161	17206120590	中島橋	B第150号線	3	無	1981	1980	1984	1981	1980~1984に架橋。台帳採用。
162	17206120600	大谷橋	B第153号線	3	無	不明	不明	1968	1974	1968~1974に架橋。また、1980~1984に拡幅。
163	17206120610	矢田野用水橋	B第152号線	4	無	1981	1981	1968	1974	1968~1974に架け替え。また、1980~1984に拡幅。さらに1984~1989に歩道部拡幅。
164	17206120620	前中橋	B第160号線	7	無	不明	不明	1990	1994	1994 (株)シモアの建設に伴って架橋
165	17206120630	小苦橋	B第165号線	4.4	1969	1969			1969	
166	17206120640	鮮の橋	B第173号線	4	無	不明	不明	1968	1974	1968~1974に架橋。また、1975~1980に拡幅。
167	17206120650	須谷中橋	B第175号線	4	無	不明	不明	1952~(最古)	1952	存在確認できた最古の年。1952年以前に架橋。
168	17206120660	中谷橋	B第176号線	2	無	不明	不明	1980	1984	1980~1984に架け替え。台帳整備年 (1982) 採用
169	17206120670	尾保 1 号橋	B第180号線	2	無	不明	不明	1984	1989	1984~1989に架け替え。
170	17206120680	尾保 2 号橋	B第180号線	4	無	不明	不明	1969	1994	1984~1994に架け替え。
171	17206120690	尾保 3 号橋	B第180号線	4	無	不明	不明	1966	1974	1968~1974に架橋。
172	17206120701	黒瀬橋	B第197号線	3.4	無	不明	不明	1953	1963	1953~1963に架橋。また、1975~1980に暗渠化。
173	17206120720	市之瀬 3 号橋	B第218号線	4	無	不明	不明	1984	1989	1984~1989に架け替え。
174	17206120730	風瀬 1 号橋	B第240号線	4	無	不明	不明	1953~(最古)	1953	存在確認できた最古の年。1953年以前に架橋。
175	17206120740	黒瀬 2 号橋	B第240号線	2.5	無	不明	不明	1953	1963	1953~1963に架橋。また、1975~1980に暗渠化。
176	17206120750	須谷 1 号橋	B第252号線	4	無	不明	不明	1952~(最古)	1952	1952年以前に架橋。
177	17206120760	黒瀬 3 号橋	B第252号線	2.3	無	2021	2021	2019	2022	2021 ストリートビューより2019~2022に架け替え。国式様の架設年を採用。
178	17206120770	御水道 3 号橋	B第305号線	3	無	不明	不明	1994	1999	1994~1999に架橋。
179	17206120780	樺北 1 号橋	B第355号線	4	無	不明	不明	1975	1984	1975~1984に架橋。
180	17206120790	二ノ屋 1 号橋	B第355号線	4	無	不明	不明	1974	1975	1974~1975に架橋。
181	17206120800	勤使 1 号橋	B第356号線	3	無	不明	不明	1974	1975	1974~1975に架橋。
182	17206120820	黒瀬 5 号橋	B第372号線	3	無	不明	不明	1989	1994	1989~1994に架橋。台帳整備年採用。
183	17206120830	中橋	B第119号線	3	無	1967	1967	1963	1967	1963~1968に架け替え。台帳採用。
184	17206430010	敷地第二跨線橋	C第60号線	246	1991	1991			1991	
185	17206430020	八日市跨線橋	C第577号線	167	2003	2003			2003	
186	17206130030	中の島大橋	C第461号線	118	1981	1981			1981	
187	17206130040	新桜井橋歩道橋	C第463号線	91	無	1997	1997	1994	1997	1994~1999に架橋。台帳採用
188	17206130050	新桜井橋	C第463号線	91	1976	1976			1976	
189	17206130060	草切橋	C第44号線	75	2007	2007			2007	
190	17206130080	上河崎橋	C第54号線	60.5	1990	1990			1990	
191	17206130090	下河崎橋	C第60号線	50.6	2002	2002			2002	
192	17206130100	毛合橋	C第92号線	60.8	2019	2019			2019	
193	17206130110	樺井 1 号橋	C第103号線	75	2016	2016			2016	
194	17206130120	伊丹切橋	C第211号線	43.2	無	1973	1973	1968	1973	1968~1974に架橋。台帳採用
195	17206430130	新保橋	C第54号線	43.2	1973	1973			1973	
196	17206130140	中島大橋	C第103号線	73.6	2011	2011			2011	
197	17206130150	猫橋	C第400号線	38.6	1955	1955			1955	
198	17206130160	白水橋	C第577号線	35.9	2004	2004			2004	
199	17206130170	湖南橋	C第4号線	33	1987	1987			1987	
200	17206130180	鴻之森橋	C第551号線	38.6	2021	2021			2021	2021年に架け替え。新幹線軌道敷設により河川流路の変更が行われた。
201	17206130189	八日市橋	C第168号線	31.1	1980	1980			1980	
202	17206130200	鴨橋	C第194号線	26	1992	1992			1992	
203	17206130220	今川橋	C第143号線	23.3	無	不明	不明	1963	1966	1963~1966に架け替え。河川改修
204	17206130230	吉角橋	C第172号線	26.5	2021	2021			2021	2021年に架け替え。新幹線軌道敷設により河川流路の変更が行われた。
205	17206130240	徳の宮橋	C第173号線	26.5	2022	2022			2022	2022年に架け替え。新幹線軌道敷設により河川流路の変更が行われた。
206	17206130250	柴山橋	C第461号線	18	無	1981	1981	1965	1974	1965~1974に供用開始
207	17206130260	泉橋	C第133号線	18	1974	1974			1974	
208	17206130270	尾保川橋歩道橋	C第463号線	16.2	無	1992	1968	1974	1974	1968~1974に架橋。
209	17206130280	樺井 2 号橋	C第463号線</td							

表 2.2.1 橋梁架設年推定表 (3/3)

No.	橋梁管理番号	橋梁名	路線名	橋長	架設年		地理院地図より (航空写真)	架橋年 (推定)	架橋年 (既定)
					横断版	台帳	点検簿		
226	I1206130520	西島 1号橋	C第174号線	3	無	不明	不明	1968	1974
227	I1206130530	消防橋	C第463号線	2	無	不明	不明	1968	1974
228	I1206130540	鍋崎橋	C第143号線	3	無	不明	不明	1984	1989
229	I1206130560	勤格 2号橋	C第463号線	2	無	不明	不明	1975	1979
230	I1206130570	堀川 1号橋	C第399号線	4.72	無	不明	不明	1975	1984
231	I1206130580	上河崎 2号橋	C第435号線	3.9	無	不明	不明	1953	1963
232	I1206130590	大曾波 2号橋	C第81号線	2.3	無	不明	不明	1975	1980
233	I1206130600	昭北 1号橋	C第153号線	4.55	無	不明	不明	1990	1994
234	I1206130610	千原橋	C第467号線	5.2	無	不明	不明	1973	1975
235	I1206130620	小塙 1号橋	C第528号線	6.2	無	不明	不明	1994	1999
236	I1206130630	伊切農道BOX	C第257号線	6.9	無	不明	不明	2008	2009
237	I1206130640	木戸浦橋	C第487号線	12.9	1998	1998	1998		
238	I1206130650	南橋	C第173号線	13	1969	1969	1969	橋歴版の橋名違う「尾川川3号橋1969年10月」	
239	I1206130660	中島橋	C第4号線	3	無	不明	不明	1984	1989
240	I1206130670	櫻谷橋	C第33号線	3	無	不明	不明	1999	2002
241	I1206130680	上河崎 1号橋	C第81号線	3	無	無	不明	1968	1974
242	I1206130690	上河崎 3号橋	C第81号線	2	無	不明	不明	1989	1994
243	I1206130700	富塚橋	C第88号線	2	無	不明	不明	1953(最古)	1953
244	I1206130780	那谷道橋	C第123号線	3	無	不明	不明	1989	1990
245	I1206130740	学校橋	C第142号線	3	無	不明	不明	1984	1989
246	I1206130760	神社橋	C第158号線	4	無	不明	不明	1948	1952
247	I1206130780	三面谷橋	C第158号線	4	無	不明	不明	1953(最古)	1953
248	I1206130820	参宮橋	C第187号線	4	無	不明	不明	1968	1974
249	I1206130830	中川橋	C第187号線	3	無	不明	不明	1953(最古)	1953
250	I1206130840	上河崎 4号橋	C第195号線	4	無	不明	不明	1966	1974
251	I1206130850	合川橋	C第241号線	2.4	無	不明	不明	1989	1990
252	I1206130860	野田 1号橋	C第390号線	3.4	無	不明	不明	1975	1984
253	I1206130870	西島 4号橋	C第229号線	4	無	不明	不明	1972	1972
254	I1206130880	獅子ヶ鼻橋	C第43号線	2.9	無	不明	不明	1980	1984
255	I1206130890	加茂 7号橋	C第460号線	3	無	不明	不明	1968	1974
256	I1206130910	勤格 1号橋	C第462号線	4	無	不明	不明	1968	1974
257	I1206130940	潮津西橋	C第79号線	3	無	不明	不明	1952(最古)	1952
258	I1206130950	第二箱橋	C第480号線	3	無	不明	不明	1953	1953
259	I1206130960	堀絶橋	C第491号線	3.4	無	不明	不明	1989	1990
260	I1206130970	庄橋	C第505号線	2.6	無	不明	不明	1968	1974
261	I1206130980	西島 5号橋	C第505号線	4	無	不明	不明	1968	1974
262	I1206130990	西島 6号橋	C第537号線	4	無	不明	不明	1968	1974
263	I1206131000	新橋	C第560号線	3	無	不明	不明	1984	1989
264	I1206131010	雪塚 1号橋	C第560号線	2	無	不明	不明	1975	1979
265	I1206131020	吉江橋	C第560号線	3	無	不明	不明	1990	1999
266	I1206140010	日吉大橋	D第338号線	253	1992	1992	1992		
267	I1206140020	宮の杜大橋	D第277号線	209	2002	2002	2002		
268	I1206140030	高瀬大橋	D第191号線	98	1967	1967	1967		
269	I1206140040	平岩橋	D第214号線	75.9	1975	1975	1975		
270	I1206140050	阿蘇橋	D第337号線	60	1993	1993	1993		
271	I1206140060	阿蘇橋 (歩)	D第337号線	60	1963	1963	1963		
272	I1206140070	もみじ谷橋	D第216号線	45	2000	2000	2000	橋歴版1999年7月、橋名板2000年	
273	I1206140080	黒谷橋	D第9号線	35.1	1935	1935	1935	橋名板昭和10年	
274	I1206140090	二天橋	D第177号線	27.8	無	1931	1948	1931	リベット接合であることと台帳の信憑性がありそうなので台帳の年度を採用
275	I1206140100	落合橋	D第245号線	27	1977	1977	1977		
276	I1206140110	加美谷橋	D第277号線	25	1983	1983	1983		
277	I1206140120	風吹橋	D第245号線	25	1970	1970	1970		
278	I1206140130	鷺ヶ瀬橋	D第259号線	25	2002	2002	2002		
279	I1206140140	尻高橋	D第340号線	22	1999	1999	1999		
280	I1206140150	こおろぎ橋	D第190号線	20.8	2019	2019	2019	柱に「令和元年十月架」とある。令和元年=2019	
281	I1206140160	兵太郎橋	D第246号線	19.95	1957	1957	1957		
282	I1206140170	中津原橋 (上り)	D第246号線	19.6	無	1953, 1983	1953	1947	1947～1952に架橋。台帳採用
283	I1206140172	中津原橋 (下り)	D第246号線	19.6	無	1953, 1983	1983	1983	
284	I1206140180	一の瀬橋	D第268号線	18.6	1959	1959	1959		
285	I1206140190	太刀橋	D第79号線	18.3	1960	1960	1960	橋歴版「昭和廿五年六月架」出=30	
286	I1206140200	くす谷橋	D第134号線	17.6	無	1969	1969	1975	1966～1975に架橋。台帳採用
287	I1206140210	市の谷橋	D第272号線	17.2	無	1993	1993	1974	1966～1974に架け替え。
288	I1206140220	おそげ橋	D第336号線	17	1988	1988	1988		
289	I1206140230	鳥越橋	D第245号線	16.6	無	2005	2005	2002	2002～2004に架け替え。台帳採用
290	I1206140240	飛越橋	D第239号線	14.1	1961	1961	1961		
291	I1206140250	上谷橋	D第269号線	13	1972	1972	1972		
292	I1206140260	真中橋	D第245号線	12.2	1964	1964	1964		
293	I1206140270	高瀬	D第238号線	10.4	無	1968	1968	不明	森で確認不可。台帳採用
294	I1206140280	鶴見橋	D第260号線	10.2	無	1958	1958	不明	森で確認不可。台帳採用
295	I1206140290	新橋	D第247号線	9	1947	1947	1947	橋歴版の文字が読みない、加賀市市街は1947年12月竣工	
296	I1206140300	二天小橋	D第177号線	3.9	無	不明	不明	1975	1980
297	I1206140310	瀧の上橋	D第260号線	7.3	無	1966	1966	1963(最古)	1966
298	I1206140320	風吹渡橋	D第260号線	7.3	無	1962	1962	1963(最古)	1962
299	I1206140330	宮前橋	D第238号線	6.8	無	1968	1968	1948(最古)	1968
300	I1206140340	おしゃぶち橋	D第258号線	6.3	無	1981	1981	1963(最古)	1981
301	I1206140350	白馬谷橋	D第260号線	6	無	1969	1969	1963(最古)	1968
302	I1206140370	岩谷橋	D第245号線	5	無	1959	1959	1948(最古)	1959
303	I1206140380	南谷橋	D第336号線	12	無	1996	1996	1996	1994～1991に架橋。台帳採用
304	I1206140390	阿曾 1号橋	D第336号線	6.4	1997	1997	1997		
305	I1206140400	連岳橋	D第245号線	5.2	無	1997	1997	2015	森で確認不可。台帳採用
306	I1206140410	桔梗橋	D第337号線	5	無	1993	1993	1994	1989～1994に架け替え。台帳採用
307	I1206140430	大平橋	D第340号線	11.5	1999	1999	1999		
308	I1206140440	眼鏡橋	D第340号線	12.3	無	不明	不明	1994	1994～1999に架け替え。大内橋と重複
309	I1206140450	焼津橋	D第260号線	4.8	無	1971	1971	1971	森で確認不可。台帳採用
310	I1206140460	一瀬橋	D第337号線	5.3	無	1993	1993	1989	1989～1994に架け替え。台帳採用
311	I1206140470	坪谷橋	D第266号線	4.4	無	2001	2001	2002	2000～2002に架け替え。台帳採用
312	I1206140480	大内橋	D第340号線	9	無	不明	不明	1994	1994～1999に架け替え。眼鏡と重複
313	I1206140490	ひくぼ橋	D第258号線	4.2	無	1974	1974	1974	森で確認不可。台帳採用
314	I1206140500	三部落橋	D第258号線	4.8	無	1971	1971	1971	森で確認不可。台帳採用
315	I1206140520	なめこ橋	D第260号線	3.6	無	1966	1966	1966	森で確認不可。台帳採用
316	I1206140530	おざき橋	D第260号線	4	無	1974	1974	1974	森で確認不可。台帳採用
317	I1206140550	丸木橋	D第59号線	4	無	不明	不明	1952(最古)	1952
318	I1206140560	下口下橋	D第179号線	4	無	不明	不明	1952(最古)	1952
319	I1206140580	前川橋	D第238号線	4	無	不明	不明	1966(最古)	1966
320	I1206140590	あめい橋	D第258号線	4	無	1964	1964	1964	森で確認不可。台帳採用
321	I1206140600	ごけい橋	D第258号線	4	無	1972	1972	1972	森で確認不可。台帳採用
322	I1206140610	せんまい原橋	D第258号線	4	無	1967	1967	1967	森で確認不可。台帳採用
323	I1206140620	二又橋	D第258号線	4	無	1964	1964	1964	森で確認不可。台帳採用
324	I1206140630	茗荷谷口橋	D第258号線	4	無	1968	1968	1968	森で確認不可。台帳採用
325	I1206110850-1	菱筋橋	A第449号線	23.1	2018	2018	2018		

(4) 年度別 50 年経過橋梁

年度別 50 年経過橋梁の推移を図 2.2.9 に示す。10 年後の 2034 年には管理橋梁の約 7 割となる 222 橋が、20 年後の 2044 年には約 8 割となる 265 橋が架橋後 50 年を超過することとなる。

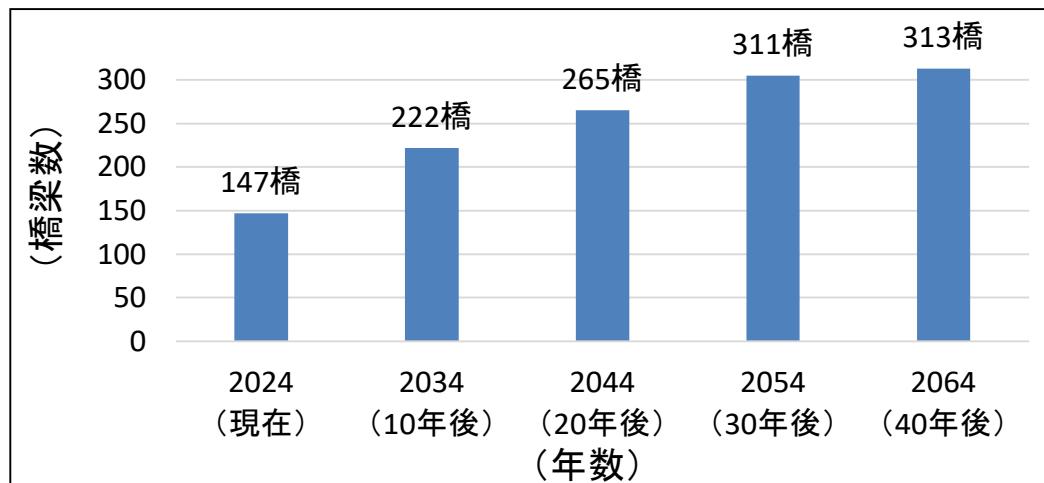
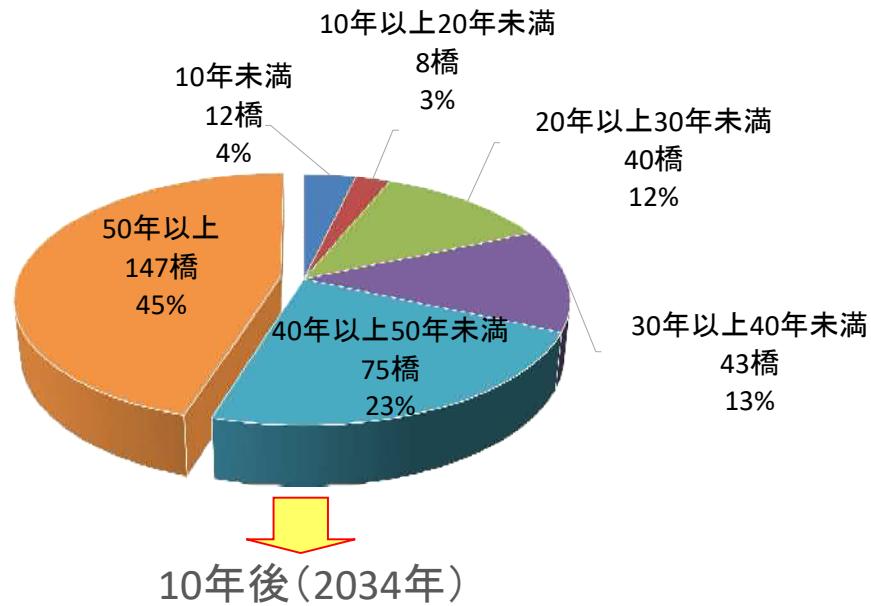
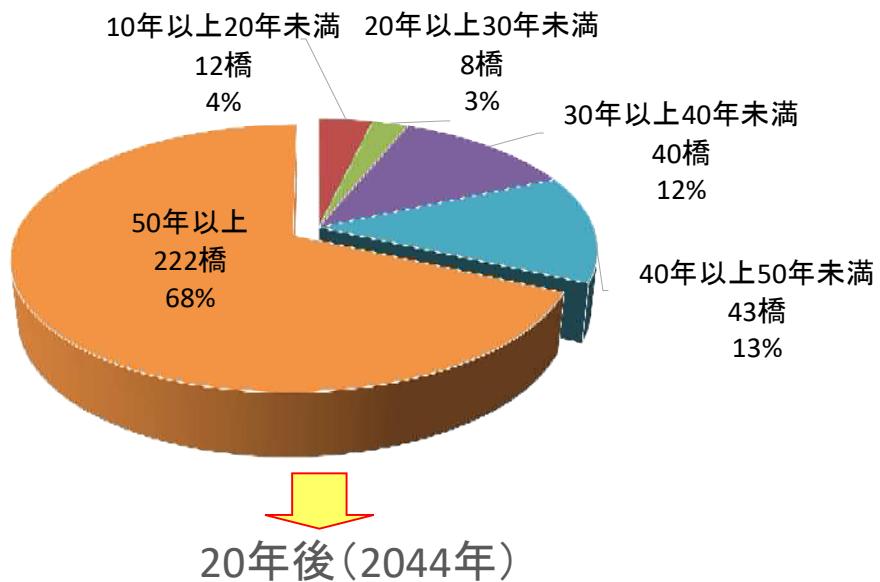


図 2.2.9 年度別 50 年経過橋梁

現在(2024年)



10年後(2034年)



20年後(2044年)

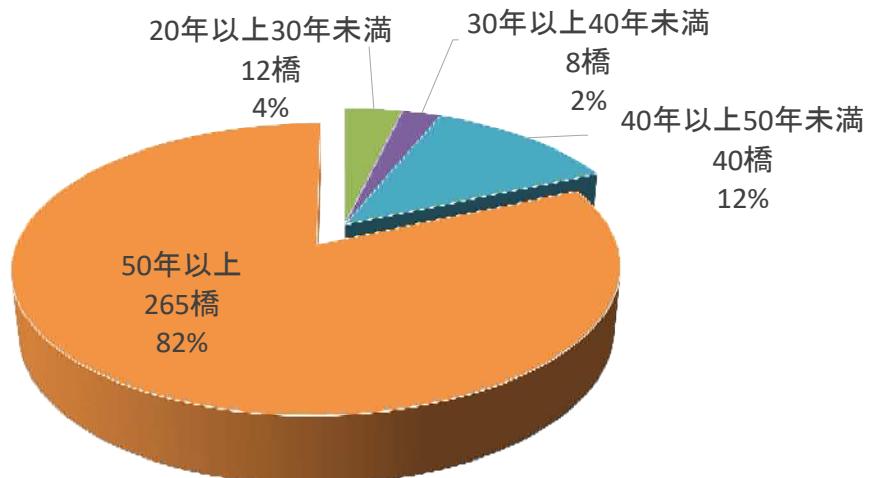


図 2.2.10 50年経過橋梁の推移

次頁に加賀市橋梁位図および拡大図（その1）～（その3）を図2.2.11～図2.2.14に示す。

加賀市橋梁全体位置図

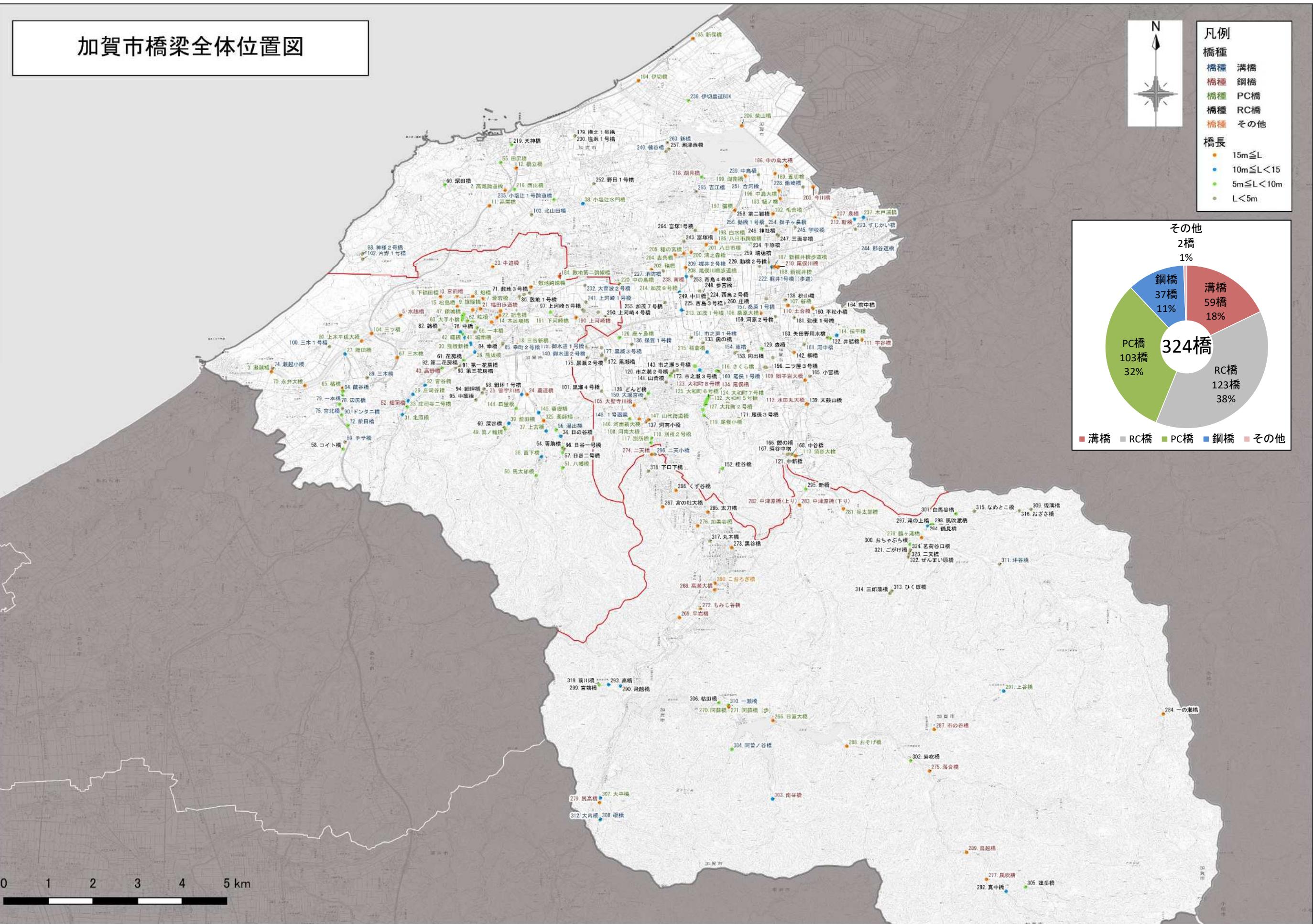


図 2.2.11 加賀市橋梁位置図

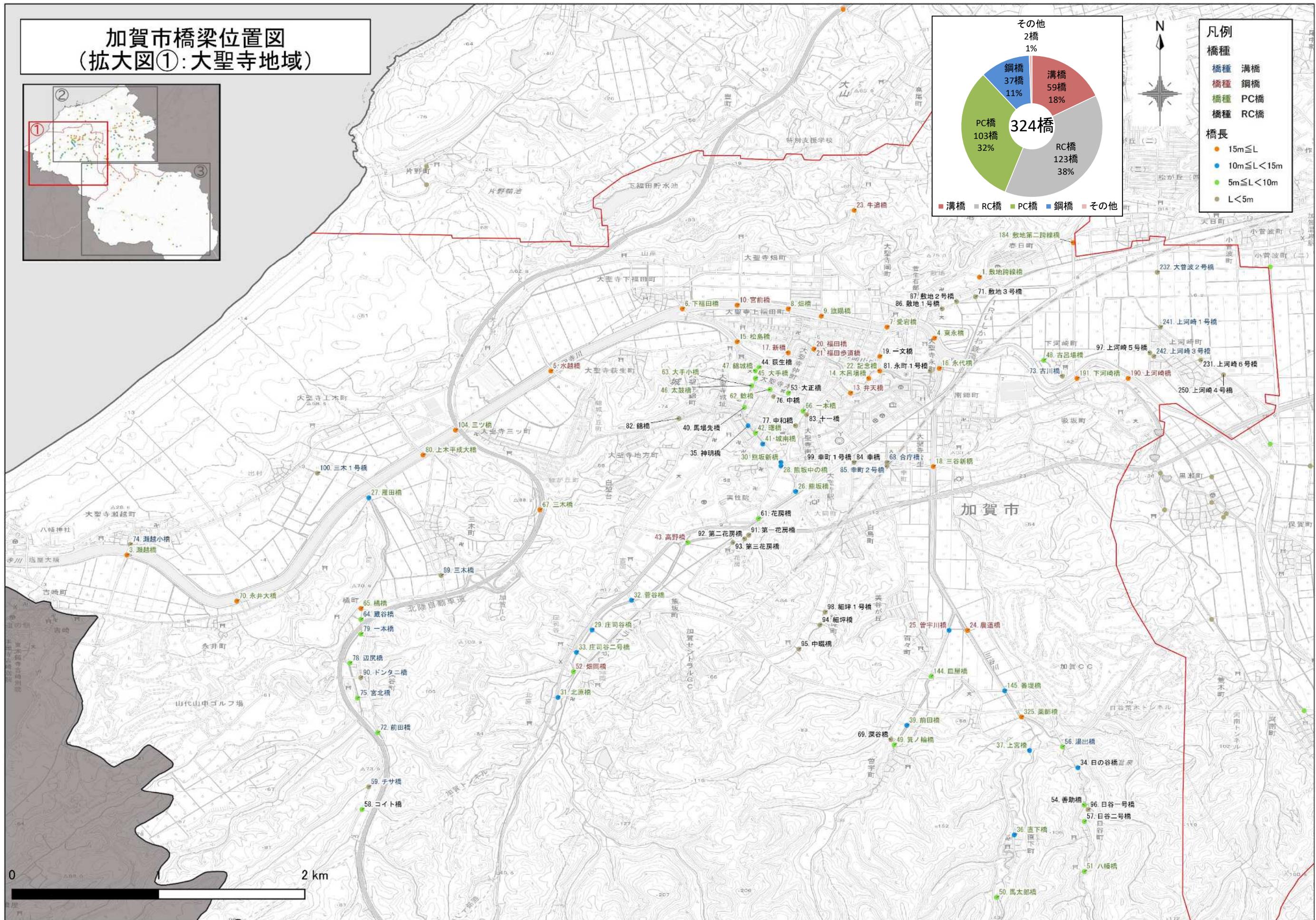


図 2.2.12 橋梁位置図 (拡大その1)

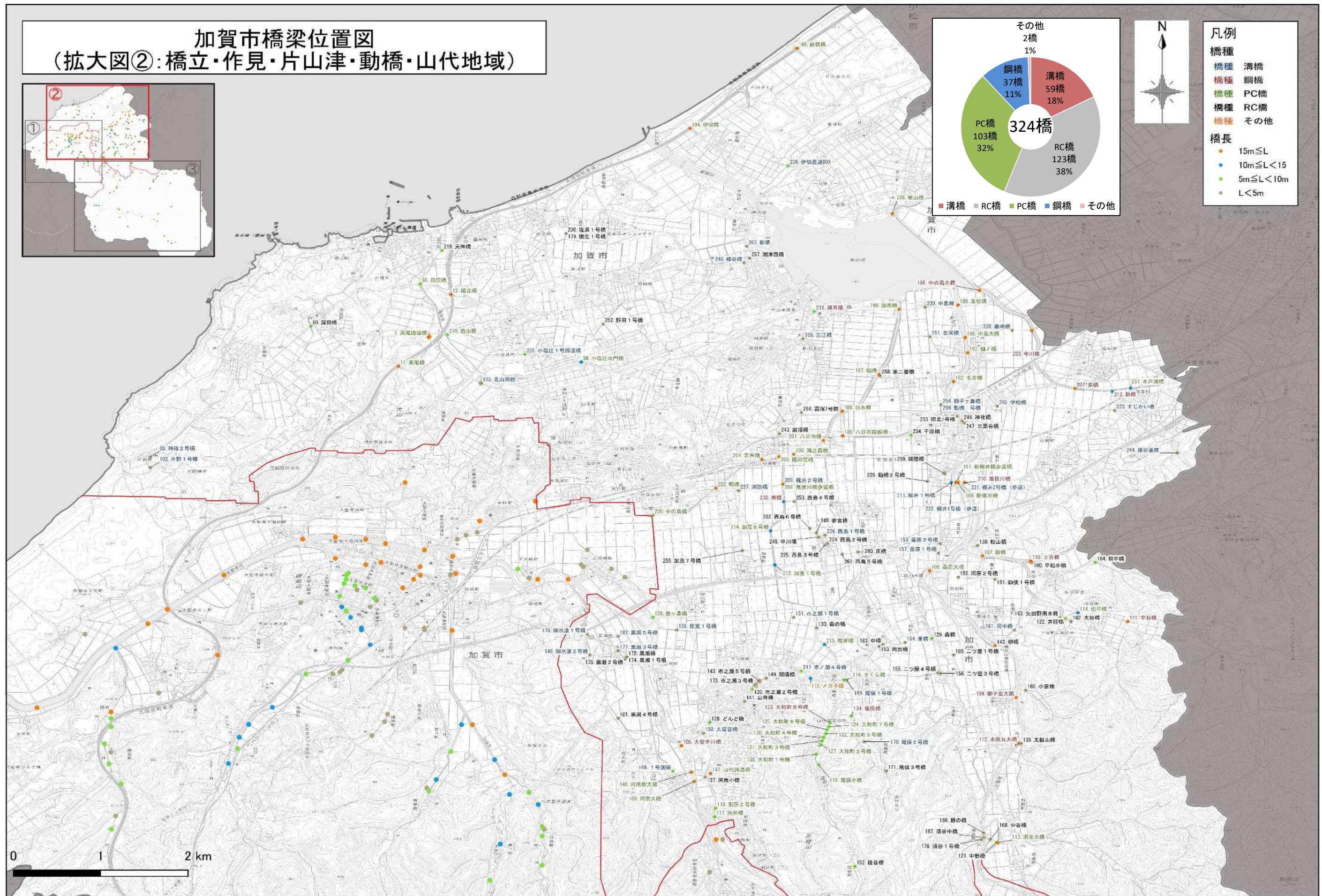


図 2.2.13 橋梁位置図 (拡大その2)

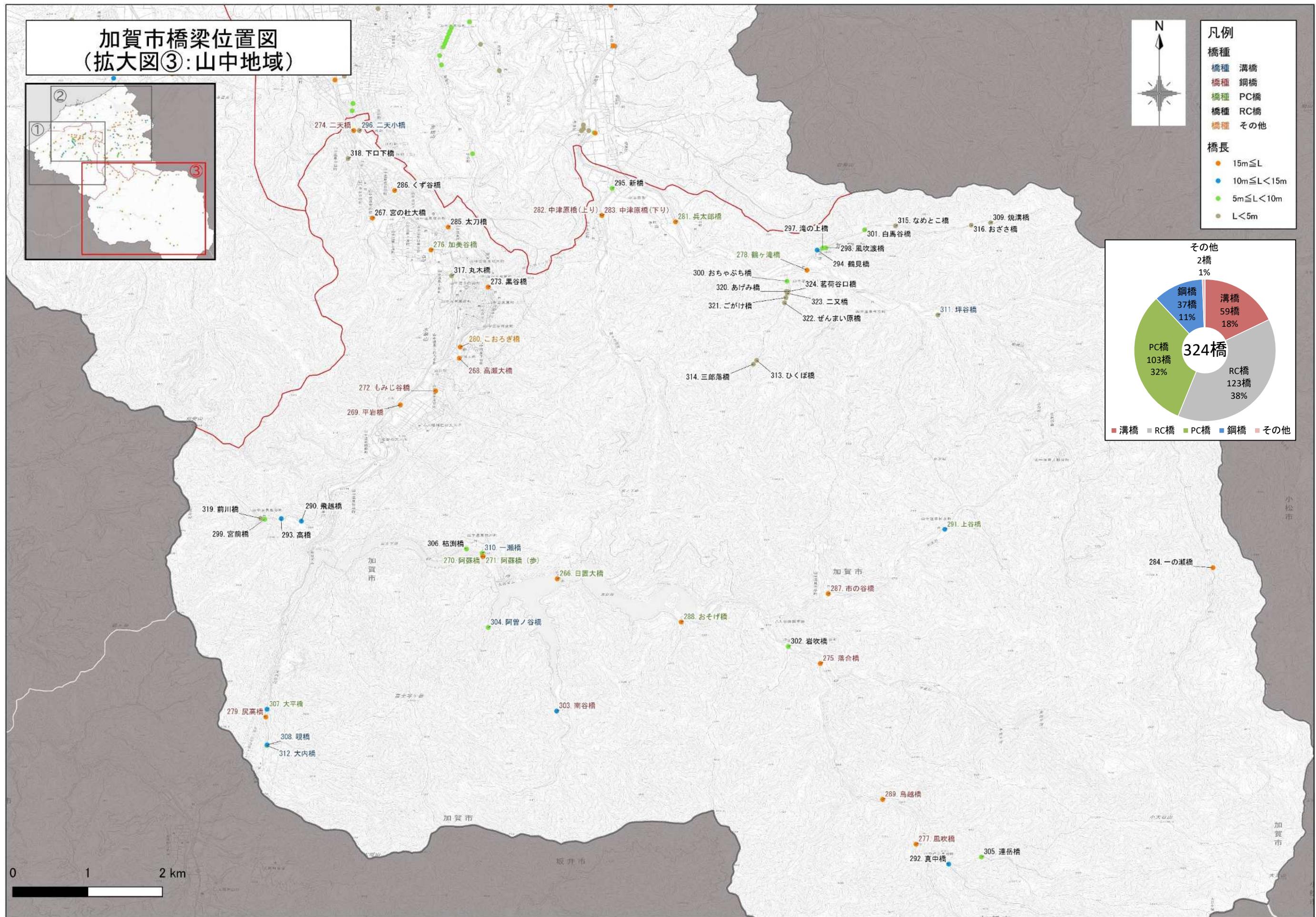


図 2.2.14 橋梁位置図 (拡大その3)

2.3 橋梁点検結果

2.3.1 橋梁点検結果

令和5（2023）年度までに実施した325橋の橋梁点検結果を図2.3.1～図2.3.2に、健全性判定区分を表2.3.1に示す。実際の管理橋梁数より1橋多いのは、中津原橋において上下線で分けて点検が行われているためである。

全325橋の内訳は、健全性Iが178橋（55%）、健全性IIが126橋（39%）、健全性IIIが21橋（6%）であり健全性IVと判定された橋梁はなかった。なお、点検において健全性IIIと判定された橋梁のうち、令和6（2024）年度までに補修工事を実施した橋梁は14橋存在する。これらの橋梁は補修工事施工前に点検を行っているため、補修工事により健全性が回復したものとして、今回長寿命化計画における健全性はIIとした。

次頁に橋長ごとによる健全性、架設年度による健全性、架設年度による健全性分布をそれぞれ図2.3.3～図2.3.5に示す。

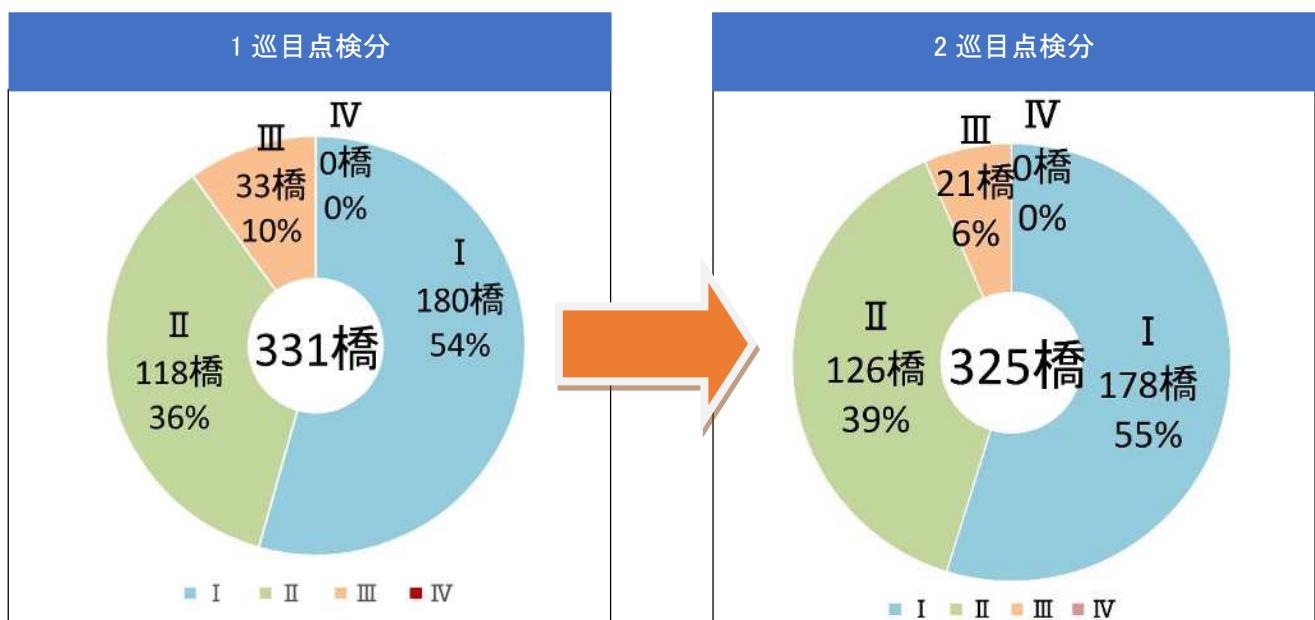
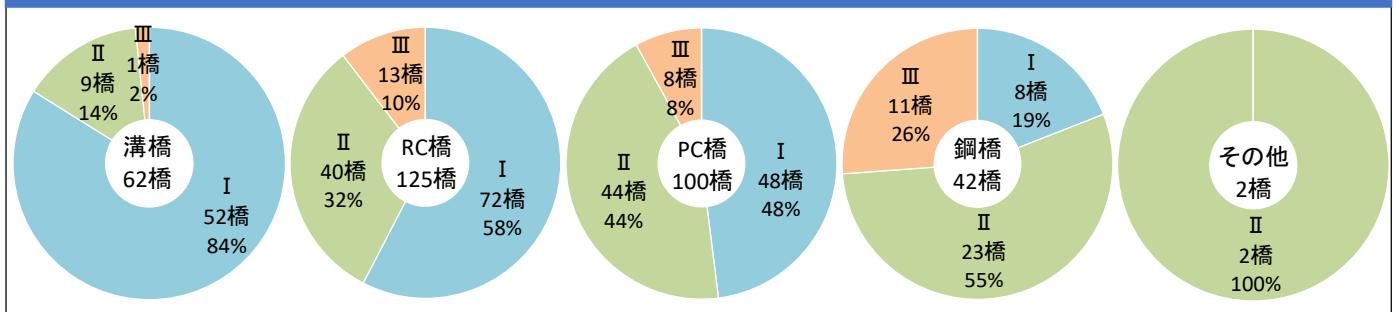


図2.3.1 健全性内訳

表2.3.1 健全性判定区分

区分		状態
I	健全全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

1 巡目点検分



2 巡目点検分

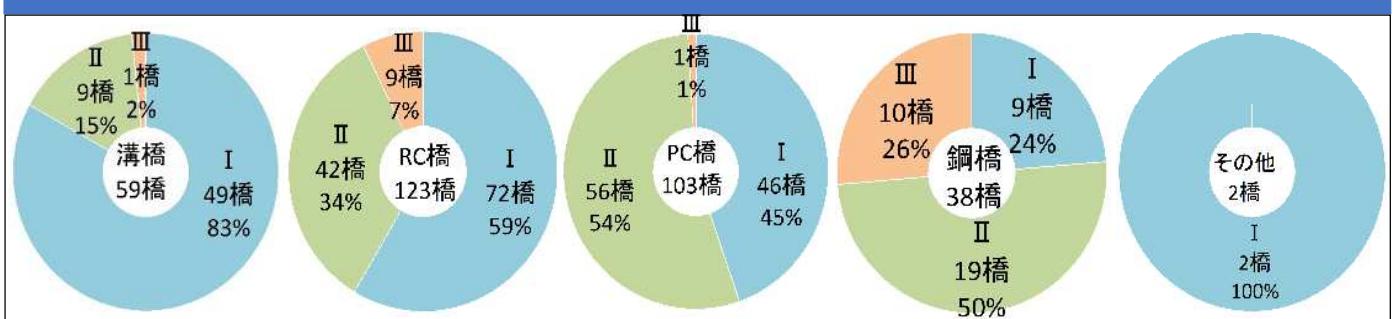
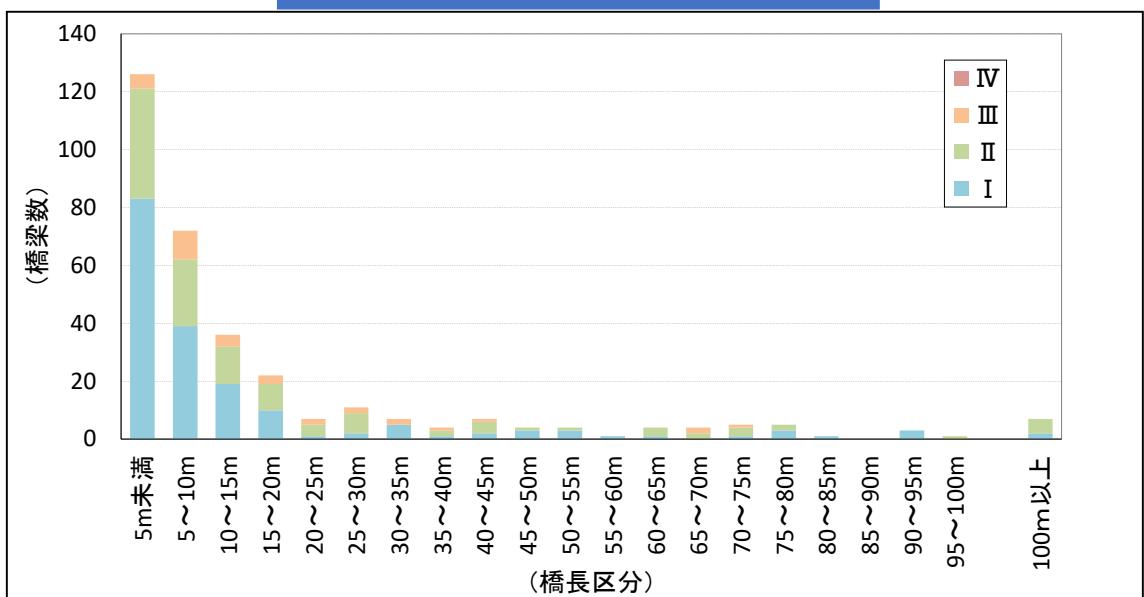


図 2.3.2 健全性（橋種毎）内訳

1 巡目点検分



2 巡目点検分

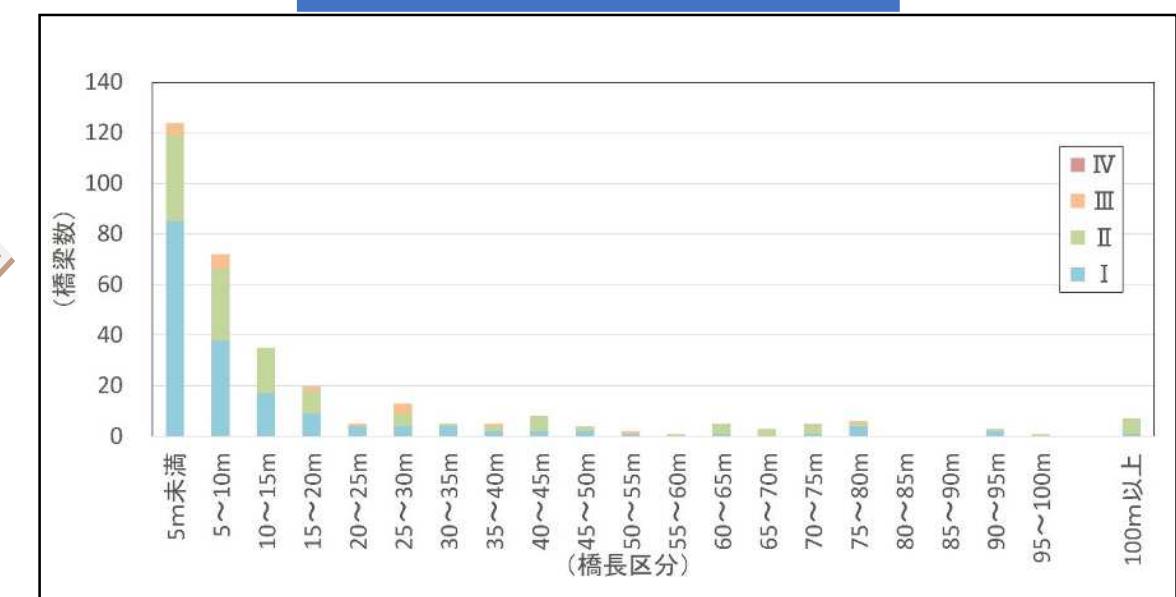


図 2.3.3 橋長毎による全橋梁健全性

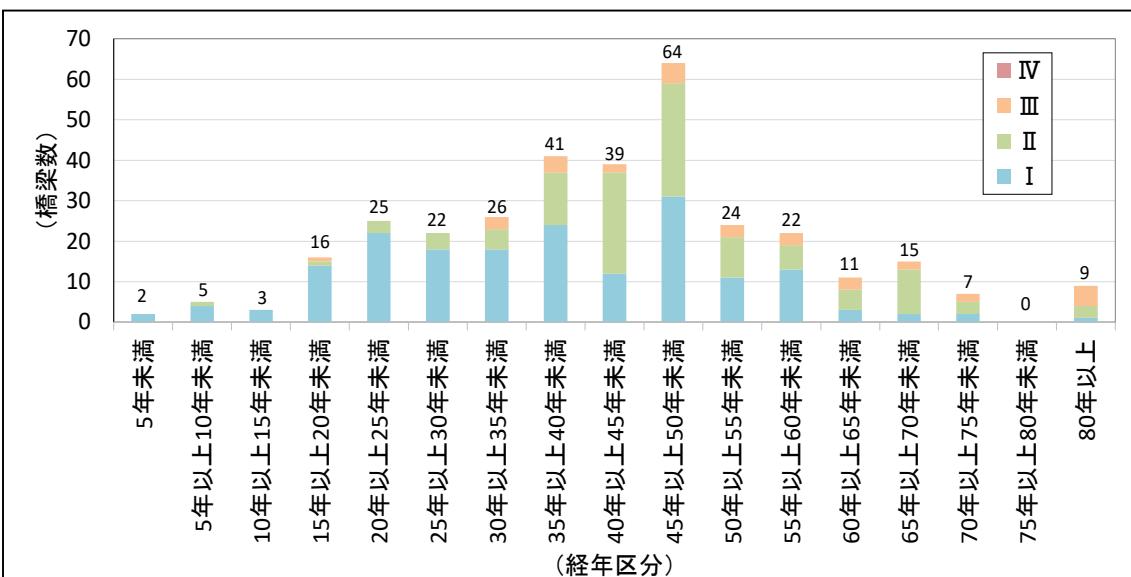


図 2.3.4 架橋年度による全橋梁健全性

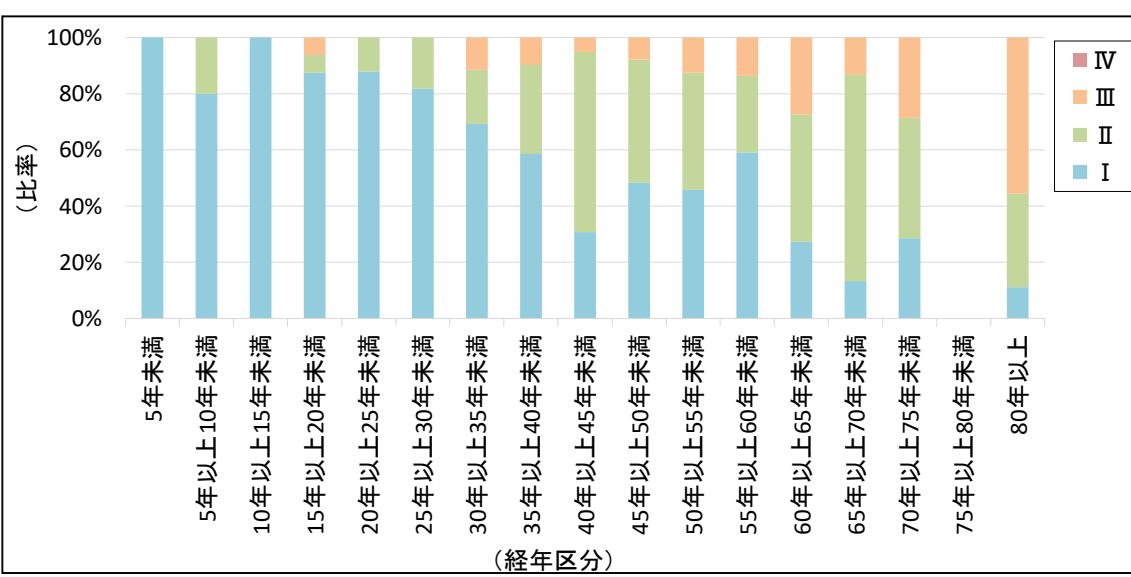
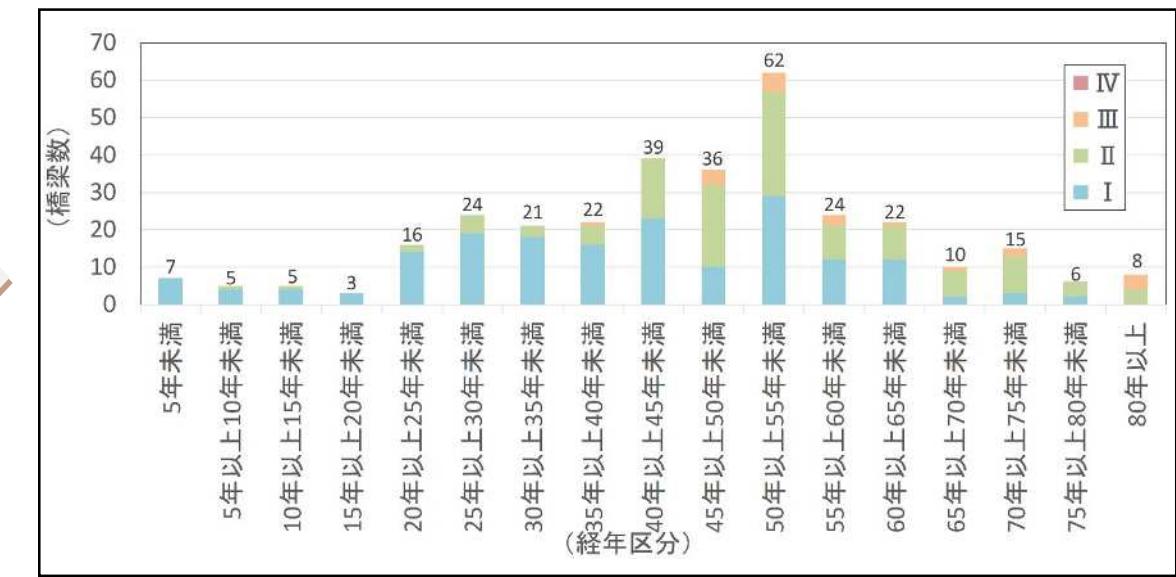
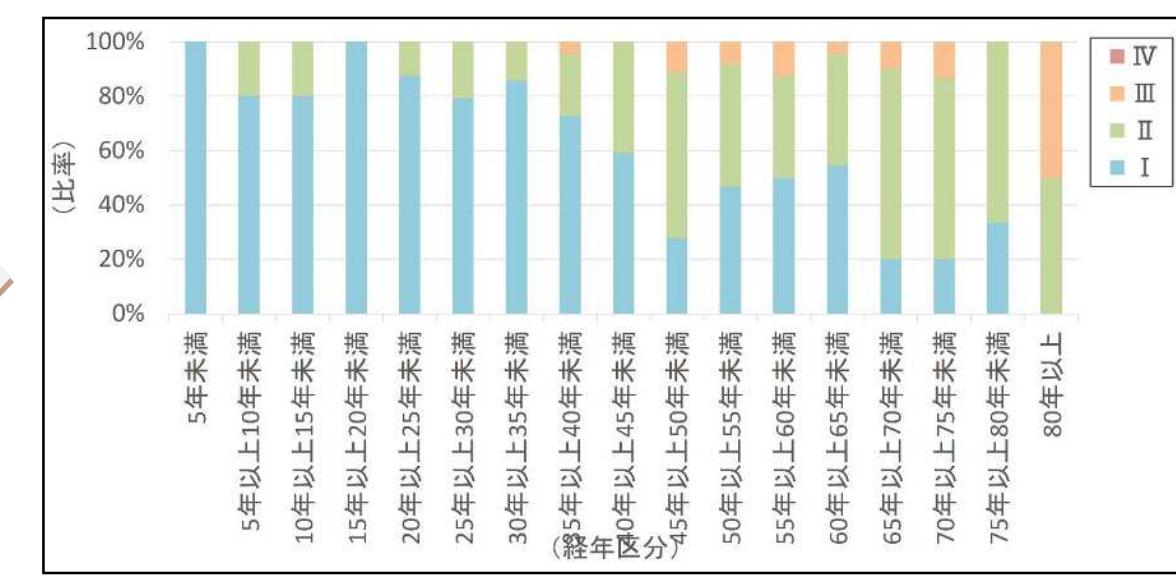


図 2.3.5 架橋年度による健全性分布



2.3.2 変状の傾向

325 橋の橋梁点検結果より、変状の種類および代表的な変状を橋種ごと（溝橋、RC 橋、PC 橋、鋼橋、その他）に図 2.3.6～図 2.3.10、写真 2.3.1～写真 2.3.4 に示す。

溝橋、RC 橋、PC 橋等のコンクリート橋については、ひびわれ・漏水・遊離石灰や鉄筋露出による変状が支配的であった。また、鋼橋は腐食や床版ひびわれ、支承の機能障害が多く認められた。また、図 2.3.6～図 2.3.10 において上段を 1 巡目点検、下段を 2 巡目点検として変状数を比較した結果、変状傾向に大きな違いは見られなかった。

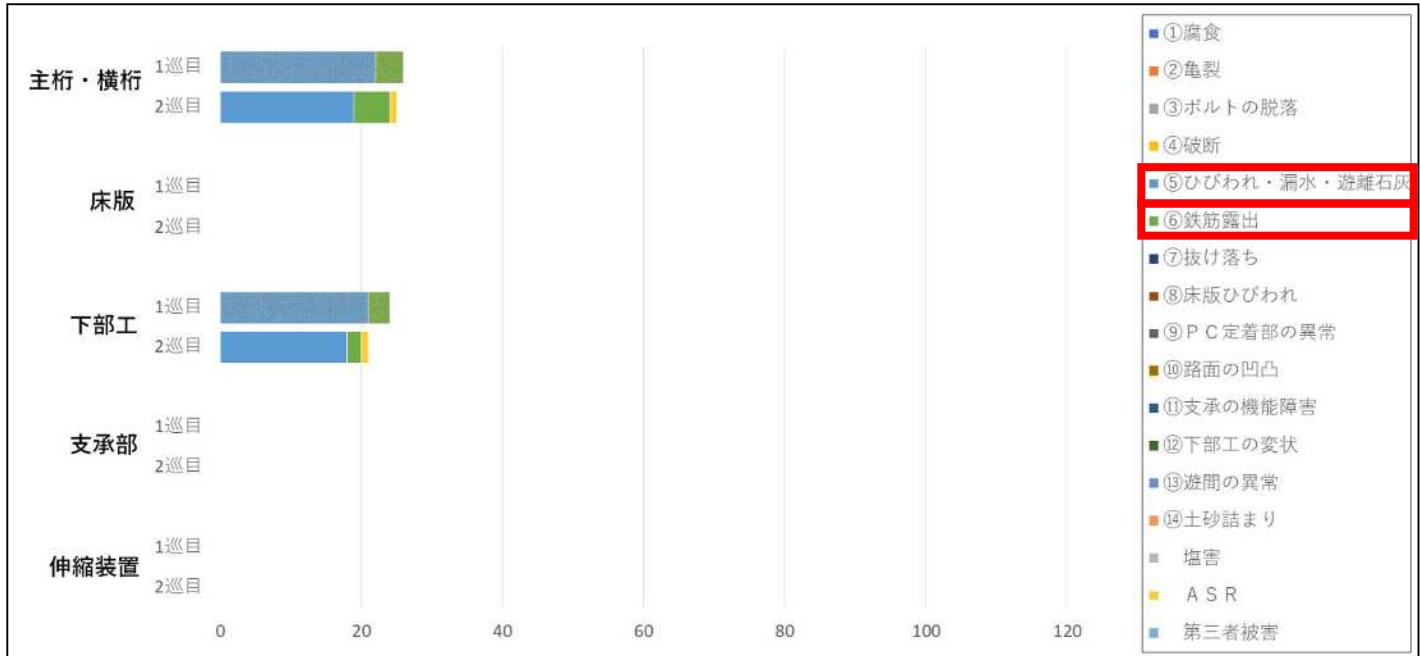


図 2.3.6 溝橋の部位ごとの変状種類と箇所数



「223 すじかい橋」【健全性III(鉄筋露出)】



「226 西島1号橋」【健全性II(鉄筋露出)】



「236 伊切農道 BOX」【健全性II(ひびわれ)】



「72 前田橋」【健全性II(下部ひびわれ)】

写真 2.3.1 溝橋の代表的変状

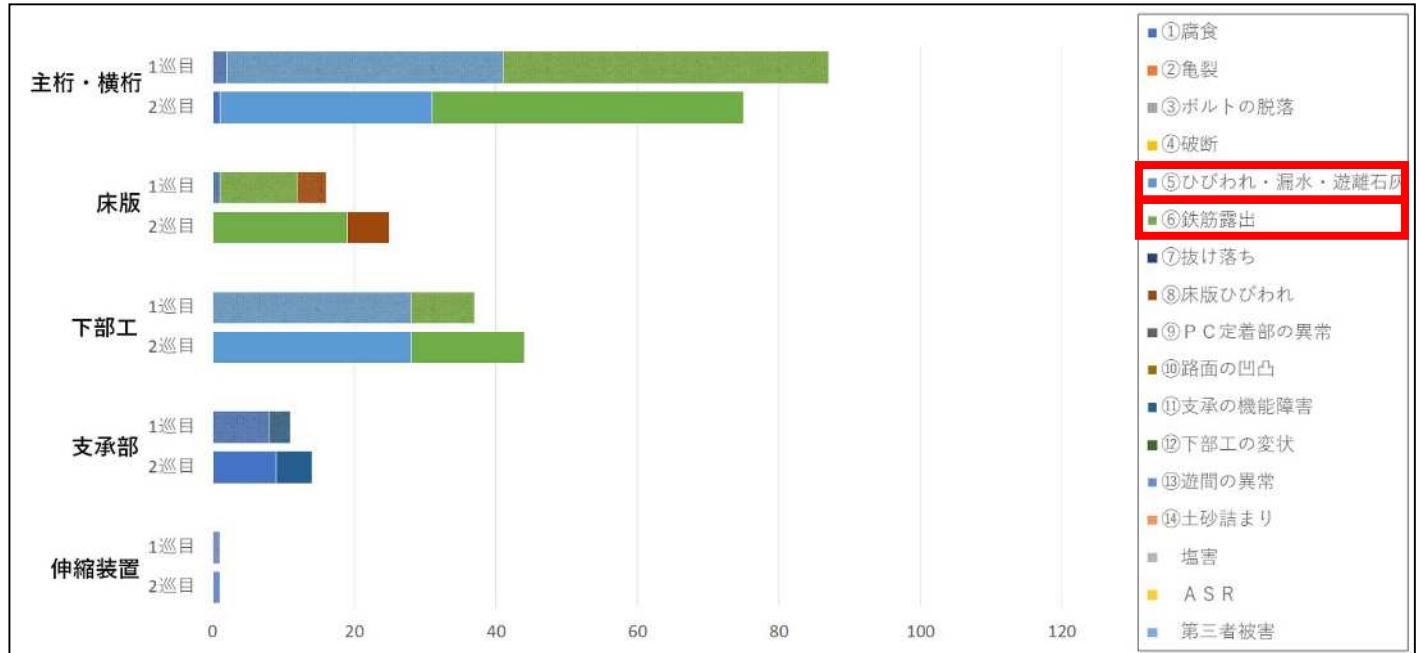


図 2.3.7 RC 橋の部位ごとの変状種類と箇所数



「19 一文橋」【健全性III(鉄筋露出)】



「299 宮前橋」【健全性III(鉄筋露出)】



「35 神明橋」【健全性II (ひびわれ)】



「284 一の瀬橋」【健全性II (支承の機能障害)】

写真 2.3.2 RC 橋の代表的変状

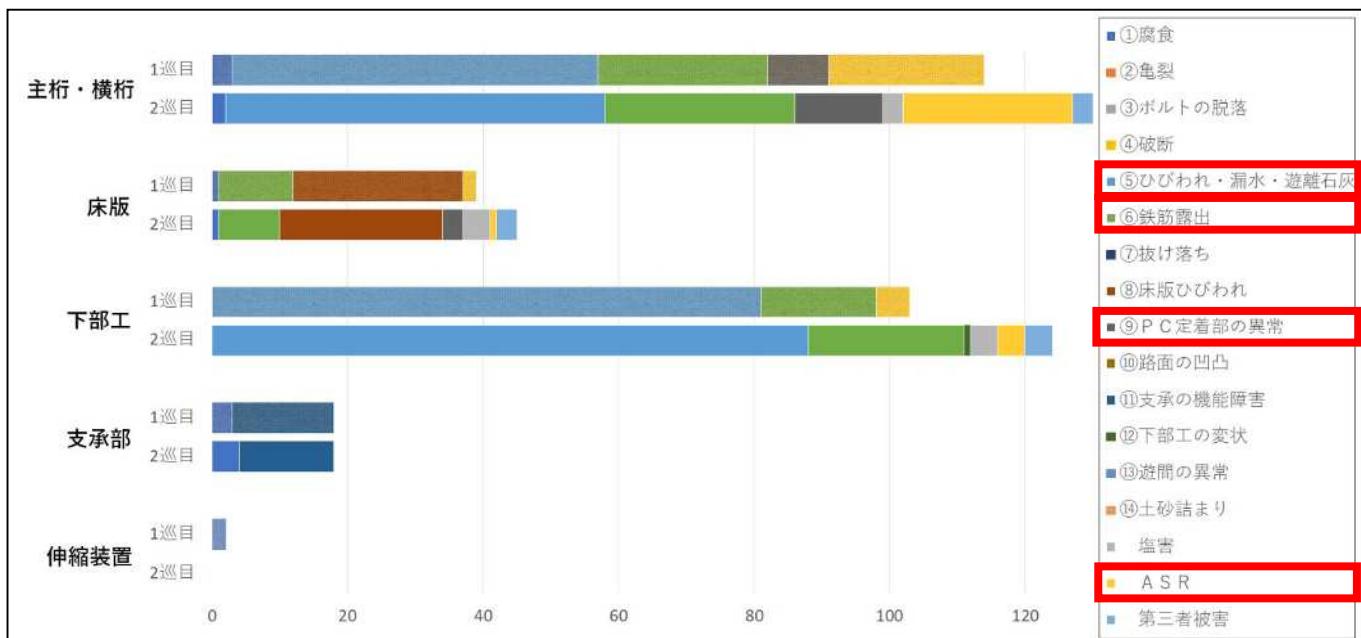


図 2.3.8 PC 橋の部位ごとの変状種類と箇所数



「30 熊坂新橋」【健全性 II (ひびわれ)】
※ASRによるものと推測



「45 大手橋」【健全性 II (PC 定着部の異常)】



「8 番橋」【健全性 II (下部ひびわれ)】



「45 大手橋」【健全性 II (支承の機能障害)】

写真 2.3.3 PC 橋の代表的変状

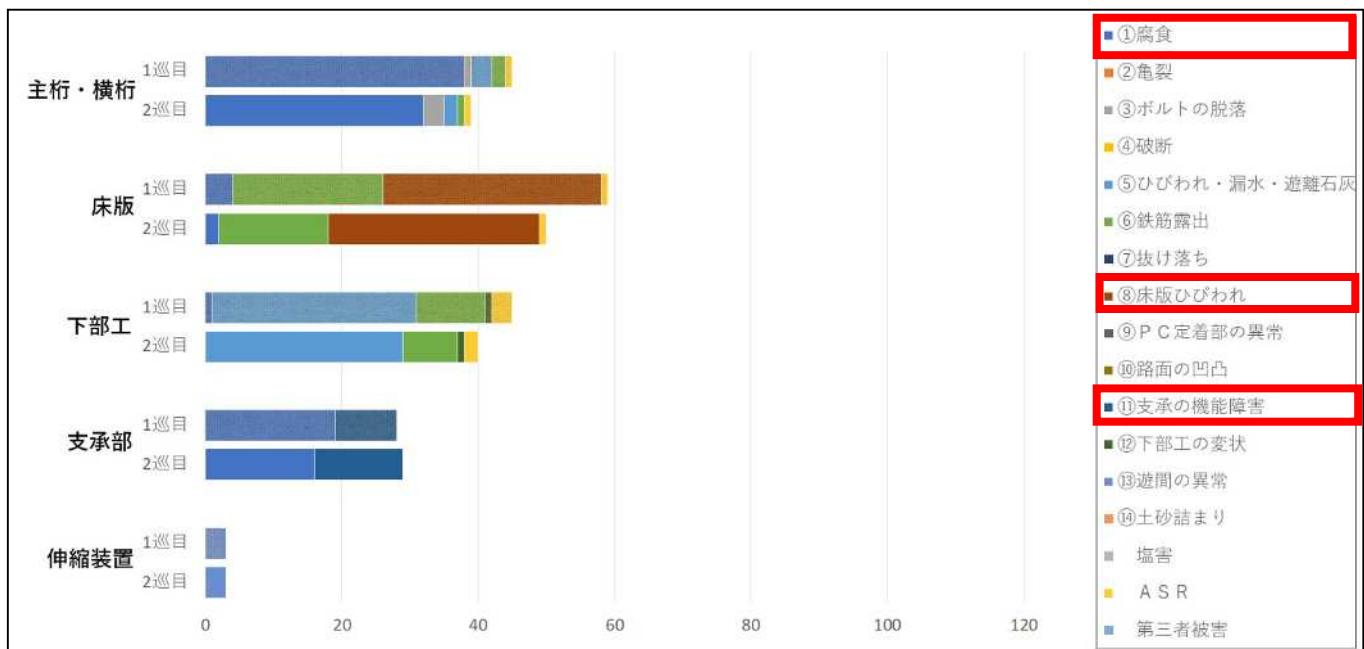


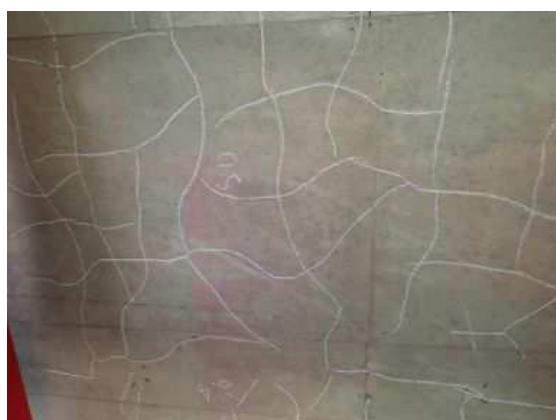
図 2.3.9 鋼橋の部位ごとの変状種類と箇所数



「123 大和町 8 号橋」【健全性III(腐食)】



「218 湖月橋」【健全性III(腐食)】



「10 宮前橋」【健全性II(床版ひびわれ)】



「43 高野橋」【健全性III(支承の機能障害)】

写真 2.3.4 鋼橋の代表的変状

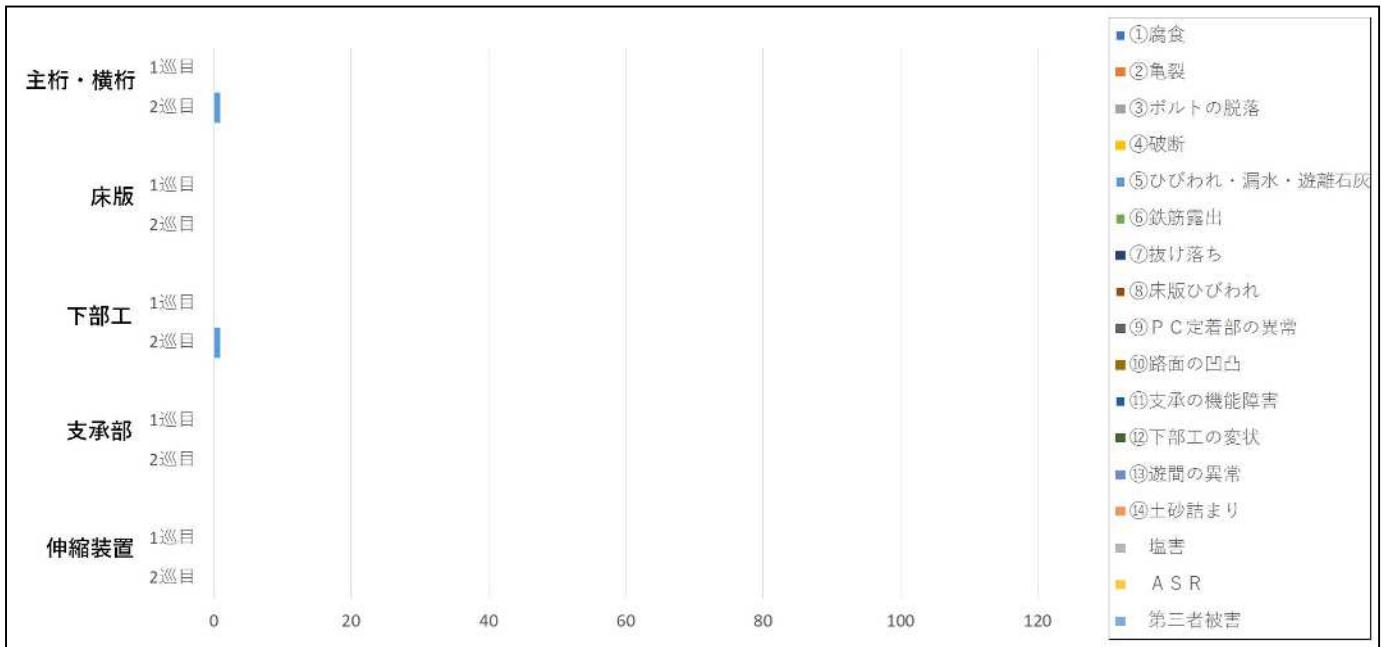


図 2.3.10 その他の橋の部位毎の変状種類と箇所数

また、損傷箇所のうち「ASR」、「塩害」、「第三者被害の影響」に該当する橋梁の集計(図 2.3.11～図 2.3.12 参照)を行ったところ、該当橋梁は 39 橋であった。このうち「ASR」による損傷が 30 橋と最も多く、そのほかは「第三者被害の影響」と複合損傷である「塩害・第三者被害の影響」がそれぞれ 3 橋、「塩害」「ASR・塩害」「ASR・第三者被害の影響」が 1 橋ずつであった。

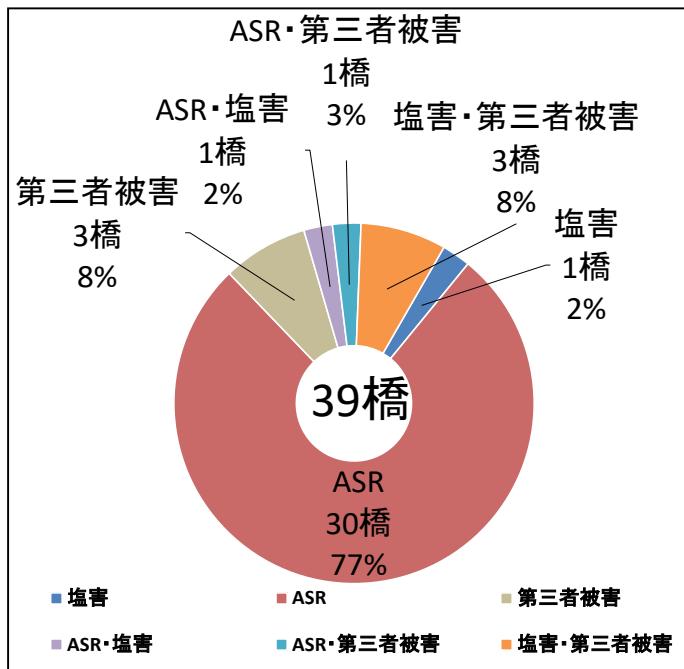


図 2.3.11 損傷被害(ASR, 塩害, 第三者被害の影響)と橋梁数

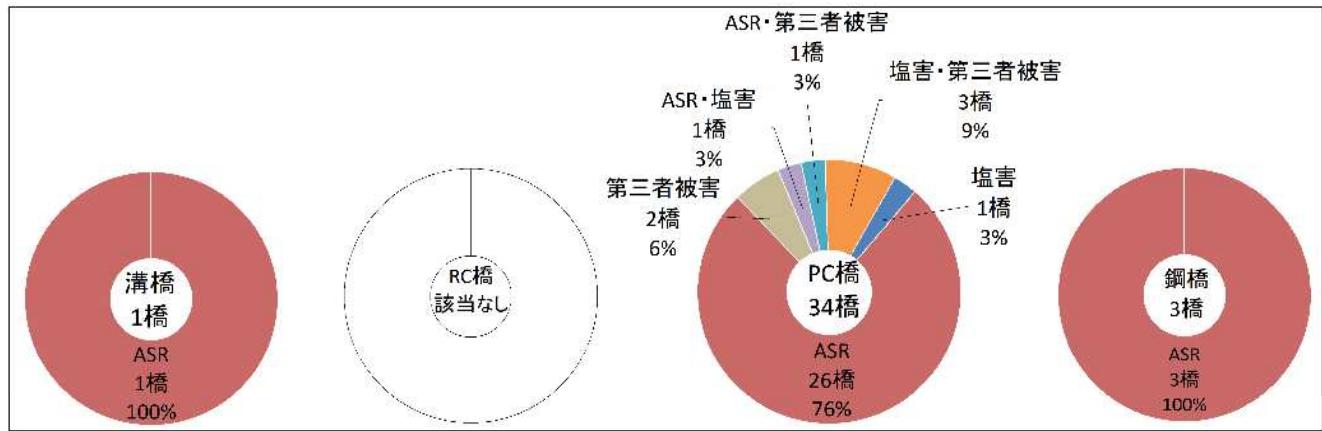


図 2.3.12 橋梁形式別損傷被害(ASR, 塩害, 第三者被害の影響)と橋梁数

令和元（2019）年度の橋梁長寿命化修繕計画に従い、補修・架替工事を実施した25橋の点検結果を表2.3.2、図2.3.13～図2.3.14に示す。なお、架替を行った「松島橋」を除き、補修工事を実施した全橋梁において補修工事前に点検を実施した。

表2.3.2 前回橋梁長寿命化修繕計画前の点検結果と補修後の点検結果一覧

No.	橋梁管理番号	橋梁名称	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	グループ	道路橋毎の健全性 (1巡目点検)	補修内容・工事実施時期						道路橋毎の健全性 (2巡目点検結果)	今回長寿命化計画 での健全性		
									2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)				
1	17206110130	橋立橋	市道A第368号線	41.9	1973	48	A-S	II							剥落防止工	III (2023)	II	
2	17206110160	松島橋	市道A第60号線	34.8	1956	65	A	III								I (2023)	I	
3	17206110180	新橋	市道A第409号線	33.8	1986	35	B-S	III							縦目地取替工 舗装打替工	III (2020)	II	
4	17206110350	日の谷橋	市道A第249号線	10.2	1956	65	B	III							断面修復工	III (2020)	II	
5	17206110370	直下橋	市道A第246号線	11.0	1983	38	B	III							断面修復工	III (2020)	II	
6	17206110410	馬場先橋	市道A第66号線	10.2	1936	85	B	III							支承交換 横横増厚工	III (2020)	II	
7	17206110470	太鼓橋	市道A第61号線	9.05	1963	58	C-S	III							背面モルタル補修工 断面修復工	II (2020)	II	
8	17206110540	大正橋	市道A第62号線	7.8	1946	75	C-S	III							断面修復工	III (2020)	II	
9	17206110670	大手小橋	市道A第74号線	5.35	1946	75	C-S	III							断面修復工 表面含浸工	III (2020)	II	
10	17206110890	幸町2号橋	市道A第90号線	3.0	1986	35	C	I							更新		I	
11	17206120380	柳橋	市道B第429号線	43.7	2002	19	B-S	III							断面修復工 ひびわれ補修工	III (2020)	II	
12	17206120550	桑原2号橋	市道B第131号線	2.0	1989	32	C	I							更新		I	
13	17206120760	黒瀬3号橋	市道B第252号線	3.0	1977	44	C	I							更新		I	
14	17206130050	新堀井橋	市道C第211号線	91.0	1976	45	A-S	II	橋脚補強工事 (耐震工事)	橋脚補強工事 (耐震工事)	橋脚補強工事 (耐震工事)	橋脚補強工事 (耐震工事)	橋脚補強工事 (耐震工事)			II (2022)	II	
15	17206130100	毛合橋	市道C第92号線	50.0	1973	48	A	II	更新								II (2023)	II
16	17206130120	伊切橋	市道C第211号線	43.2	1973	48	A-S	II							剥落防止工	III (2023)	II	
17	17206130180	鴻之森橋	市道C第551号線	31.1	1999	22	B-S	I							更新		I	
18	17206130230	吉角橋	市道C第172号線	20.6	1979	42	B-S	II							更新		I	
19	17206130240	穂の宮橋	市道C第173号線	19.5	1978	43	B-S	II							更新		I	
20	17206130260	泉橋	市道C第133号線	18.0	1974	47	B-S	III							塗装塗替工 支承補修工	III (2022)	II	
21	17206140090	二天橋	市道D第177号線	27.8	1931	90	B-S	III							塗装塗替工	III (2023)	II	
22	17206140150	こおろぎ橋	市道D第190号線	21.0	1990	31	B-S	II	更新							I (2023)	I	
23	17206140171	中津原橋	市道D第246号線	19.6	1953	68	B-S	III							塗装塗替(Rc-I) ひびわれ注入工	III (2022)	II	
24	17206140100	敷地跨線橋	市道A第375号線	300	1982	39	A-S	II							橋脚RC巻き立て (耐震補強)	橋脚RC巻き立て (耐震補強)	II (2022)	
25	17206430130	新保橋	市道C第54号線	43.2	1973	48	B-S	II							剥落防止工	III (2023)	II	

※施工前に点検済のため、補修工事により健全性が回復しているものとした（健全性II）。

凡例	
●	補修済み橋梁
●	前回計画対象外の橋梁

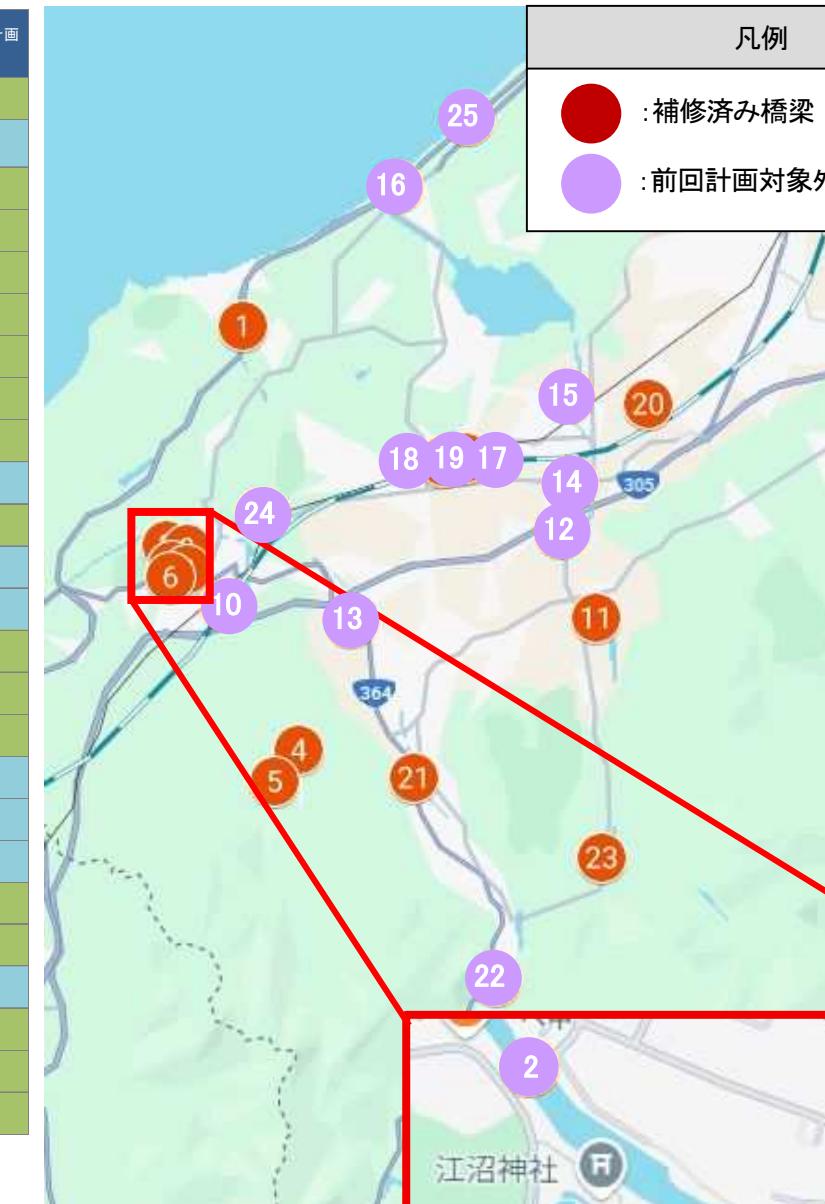


図2.3.13 補修橋梁位置図



図2.3.14 補修橋梁位置図（拡大）

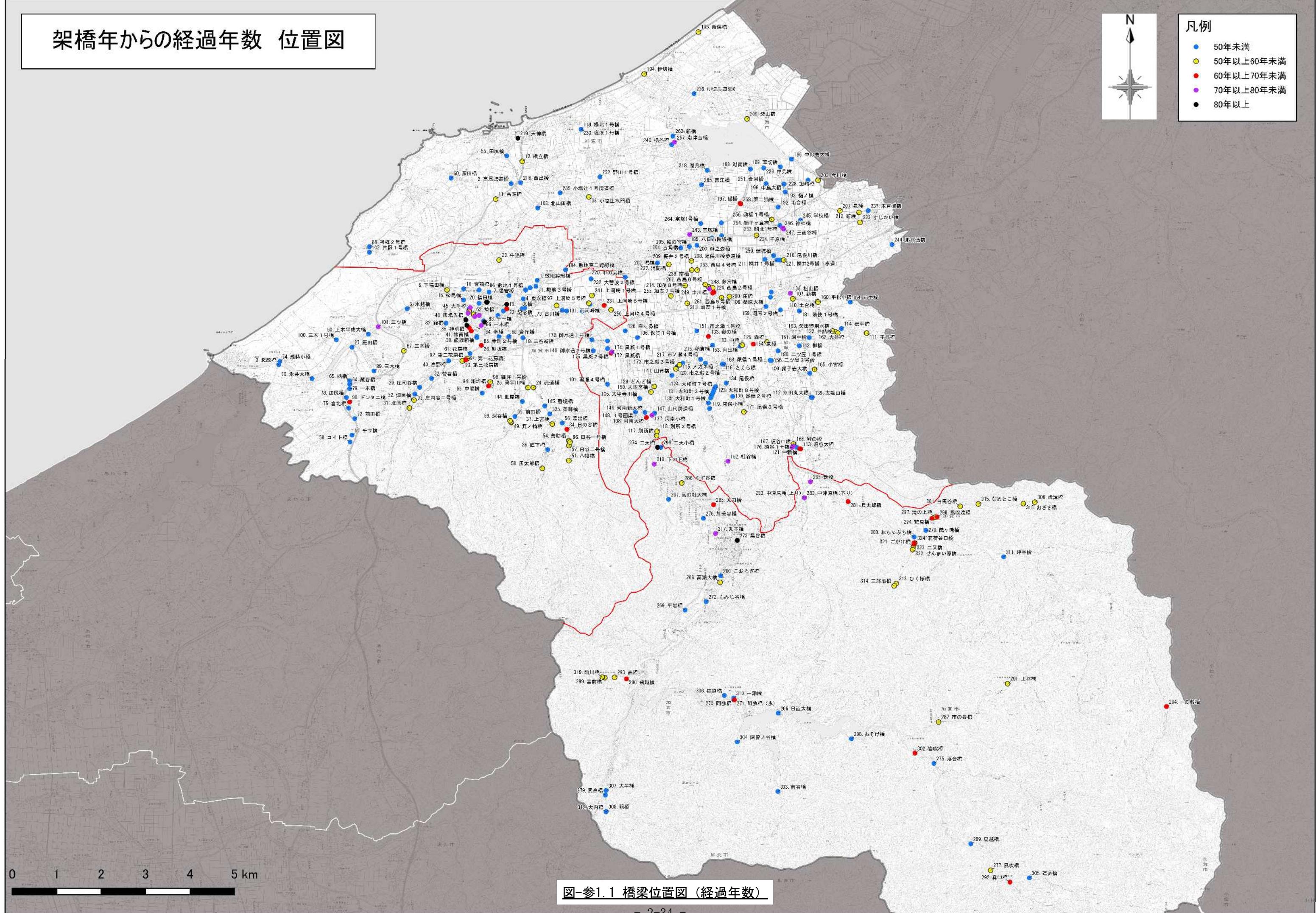
2.3.3 健全性診断結果

経過年数別の橋梁位置図を図-参 1.1 に、橋梁点検による健全性全体位置図を図-参 1.2～図-参 1.5 に、診断結果一覧表を表-参 2.1～表-参 2.6 および点検結果一覧表を表-参 3.1～表-参 3.65 にそれぞれ示す。

架橋年からの経過年数 位置図



- 凡例
- 50年未満
 - 50年以上60年未満
 - 60年以上70年未満
 - 70年以上80年未満
 - 80年以上



健全性全体位置図

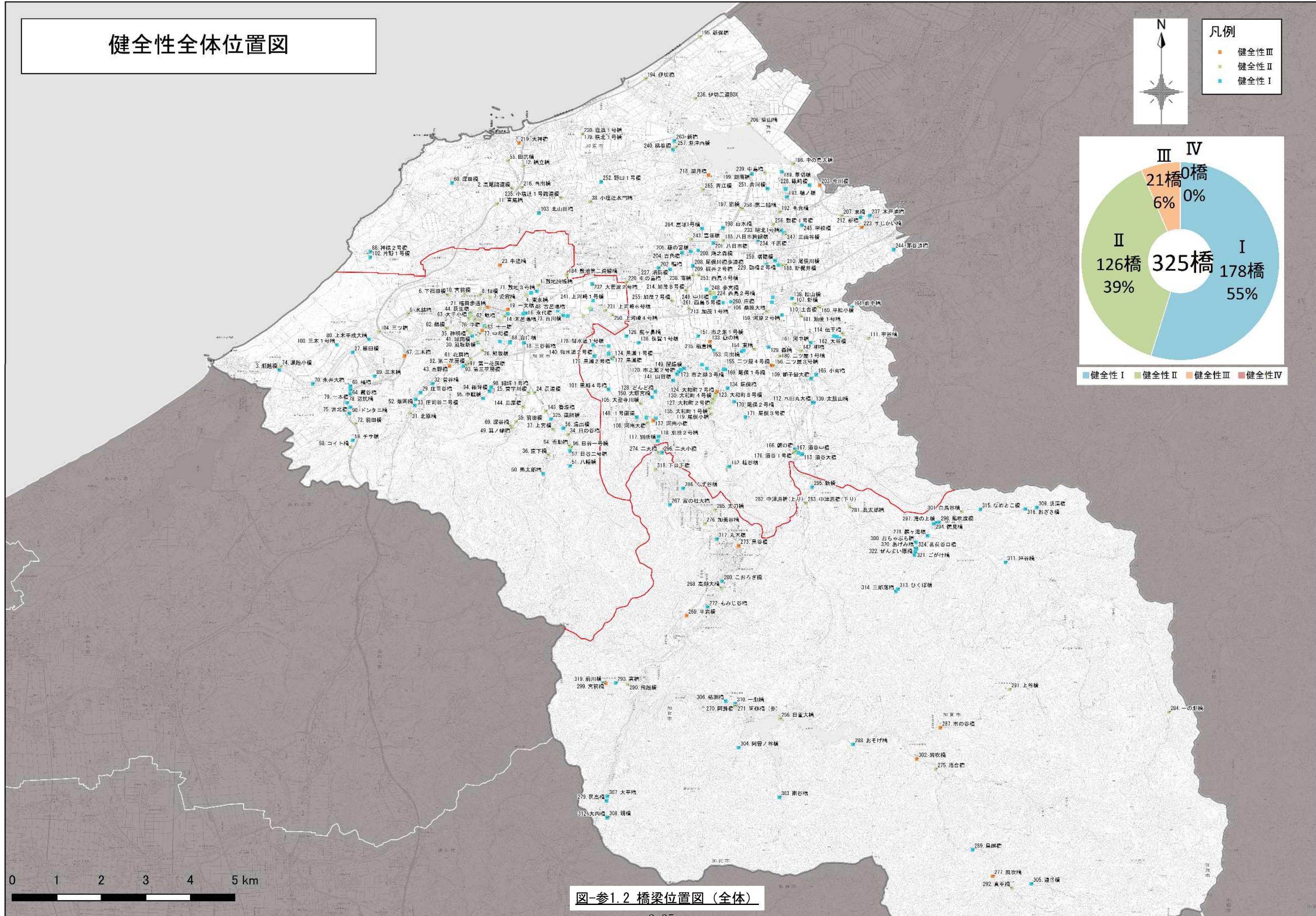
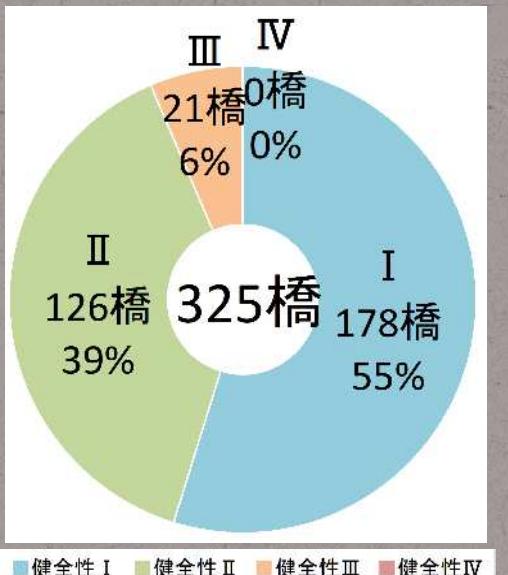
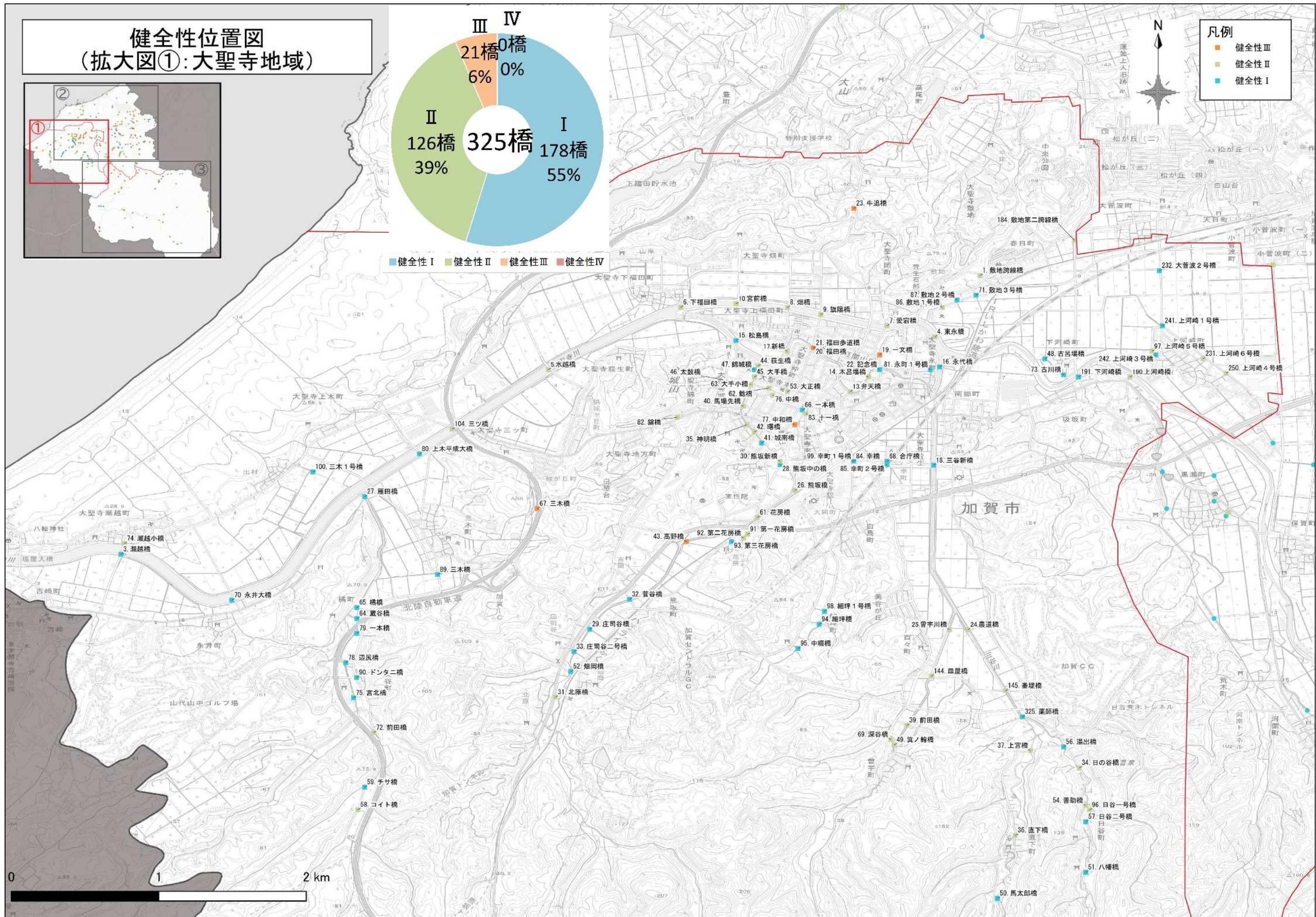


図-参1.2 橋梁位置図（全体）



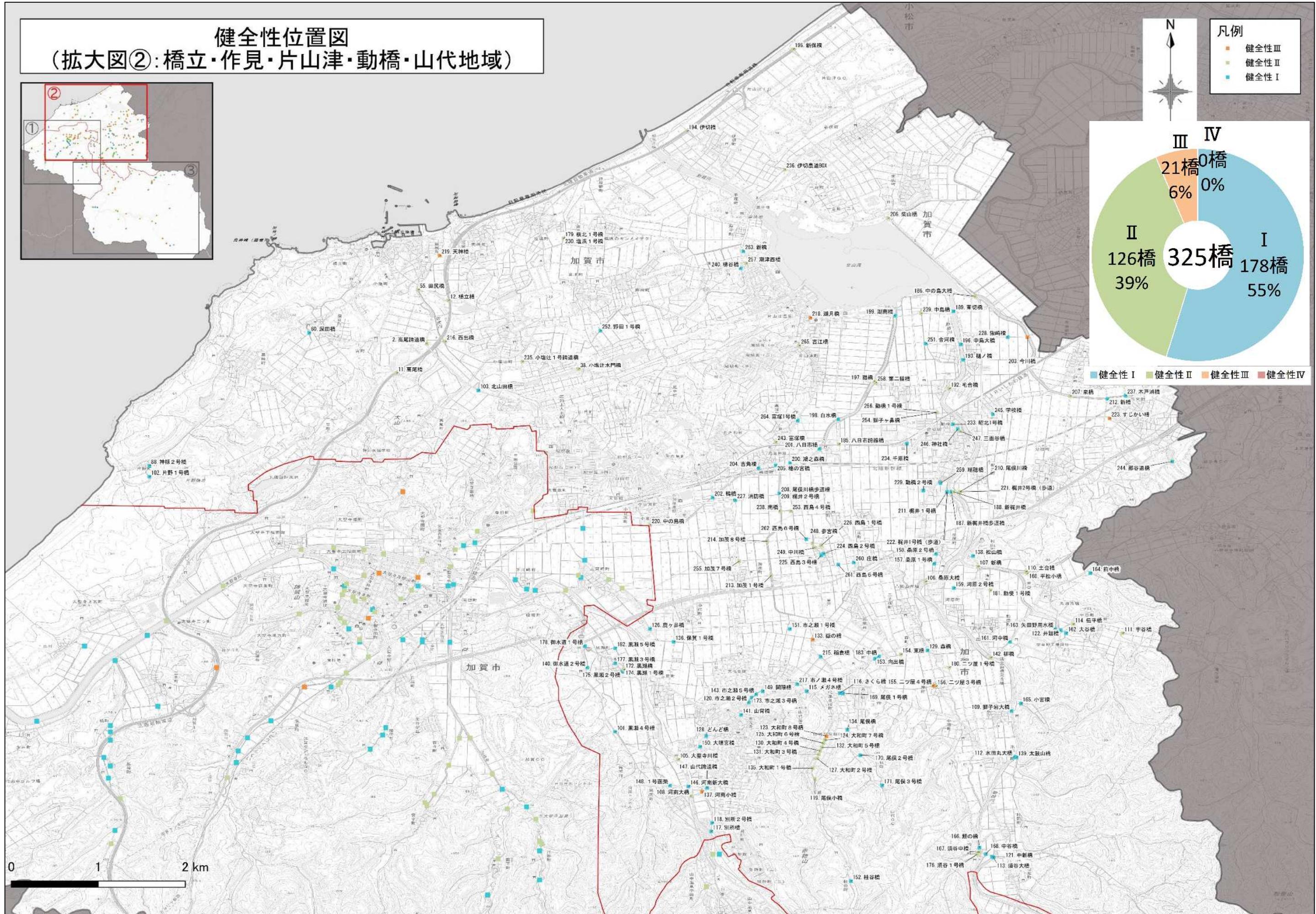


図-参1.4 橋梁位置図 (橋立・作見・片山津・動橋・山代地域)

健全性位置図 (拡大図③: 山中地域)

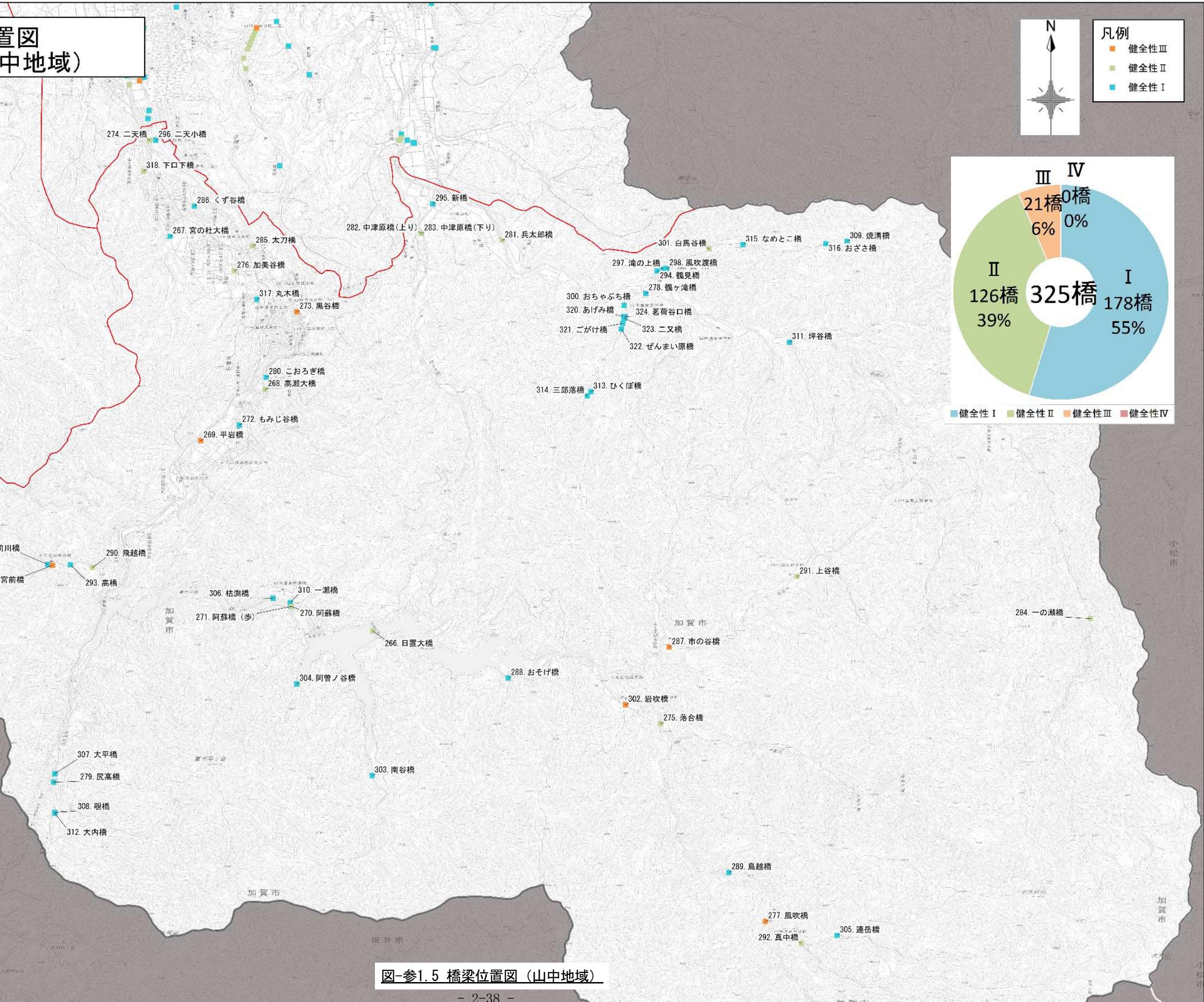
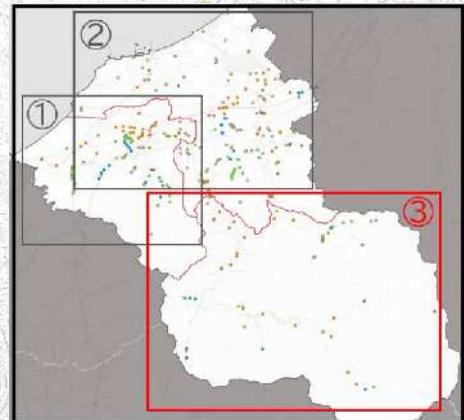


表-参2.1 健全性診断結果一覧表 (1/6)

番号	橋梁諸元											劣化要因	補修の有無	グループ化要素										道路橋毎の健全度の診断		部材単位の健全性の診断														
	橋梁管理番号	橋梁名	路線名	橋種	上部工構造形式			架橋年	経年数	橋長(m)	幅員(m)			橋長	橋長	架橋状況	路線	除雪路線	用途地	点数合計	上部構造			下部構造			支承部		その他											
					経年数 50年 以上	50点 20点	30点 10点							北緯自 動車道 の上	その 他の 緊急輸 送道路 ネット ワーク	連絡路 道	重点 第一 種	第二 種	用途地 域		主桁	横桁	床版	主桁	横桁	床版	支承部	その他	判定区分	健全度	変状種類									
1	17206410010	敷地跨線橋	A第375号線	PC	跨線部: 単純鋼合組成桁橋 一般部: 連続PCボスティンT桁橋+単純PCボスティンT桁橋	1982年	42年	300.0	8.8	ASR	-	A-S		●	●	●	●	●	●	80	II	3		II	3	腐食	II	3	腐食	II	3	ひびわれ	I	5		I	5			
2	17206110020	高尾跨道橋	A第419号線	PC	3径間連続PCボスティンT桁橋+単純PCボスティンT桁橋	1999年	25年	111.0	8.0	ASR	-	A-S		●				●		25	II	3		I	5		I	4		II	3	ひびわれ	I	5		I	5			
3	17206110030	瀬越橋	A第215号線	PC	3径間単純PCボスティンT桁橋	1995年	29年	90.0	10.5	-	-	A						●		15	I	4		I	5		I	4		I	5		I	5		I	5			
4	17206110040	東永橋	A第337号線	PC	3径間単純PCボスティンT桁橋	1984年	40年	77.0	7.2	ASR	-	A						●		20	II	3		II	3	ひびわれ	II	3	ひびわれ	II	3	未塗りひびわれ	I	4		I	5			
5	17206110050	水越橋	A第230号線	M	3径間単純鋼合組成H形橋	1981年	43年	74.8	8.5	-	-	A						●		15	II	3		II	3	腐食	I	4		I	4		II	3	鋼腐食	II	3	腐食		
6	17206110060	下福田橋	A第409号線	PC	3径間単純PCボスティンT桁橋	1973年	51年	74.0	8.7	ASR	●	A-S	●					●		50	II	3		I	4		I	4		II	3	ひびわれ	II	3	ゴム亀裂					
7	17206110080	愛宕橋	A第33号線	PC	3径間単純PCプレテンT桁橋	1984年	40年	71.3	5.7	-	-	A						●		30	II	3		II	3	ひびわれ	II	3	PC支承部の異常	I	4		I	5						
8	17206110090	畠橋	A第42号線	PC	3径間単純PCプレテンT桁橋	1979年	45年	68.4	5.0	ASR	-	A						●		20	II	3		II	3	ひびわれ	I	4		I	4		II	3	未塗りの腐食					
9	17206110100	旗陽橋	A第51号線	PC	3径間単純PCプレテンT桁橋	1983年	41年	68.2	7.2	-	-	A						●		30	II	3		I	5		I	4		II	3	未塗りの腐食	I	5		I	5			
10	17206110110	宮前橋	A第46号線	M	3径間単純鋼板橋	1975年	49年	68.1	7.2	ASR	●	A						●		20	II	3		II	3	ボルトの脱脂	I	5		II	3	未塗りひびわれ	I	4		II	3			
11	17206410120	高尾橋	A第124号線	PC	3径間連続斜材付PCスラブラーメン橋	1973年	51年	41.8	5.5	塗害	-	B-S	●	●	●	●	●	●		95	II	3		I	4		I	5		II	3	うき	I	5		II	3			
12	17206110130	橋立橋	A第368号線	PC	3径間連続斜材付PCスラブラーメン橋	1973年	51年	41.9	8.6	塗害 第三者被害	●	B-S	●	●	●	●	●	●		125	II	3	●	II	3	うき	I	5		II	3	うき	II	3	ひびわれ	I	5		II	3
13	17206110140	弁天橋	A第11号線	M	2径間単純鋼合組成H形橋	1988年	36年	41.5	5.3	-	-	B-S	●					●		70	II	3		II	3	腐食	I	4		I	4		II	3	未塗りの腐食	I	5		II	3
14	17206110150	木呂場橋	A第18号線	PC	単純RCT桁橋+2径間単純PCプレテンT桁橋	1981年	43年	35.2	4.2	-	-	B-S	●	●				●		90	II	3		II	3	ひびわれ	II	3	ひびわれ	II	3	未塗りひびわれ	I	5		II	3			
15	17206111130	松島橋	A第60号線	PC	単純PCボスティンT桁橋	2021年	3年	42.4	7.4	-	-	B-S	●	●				●		100	I	4		I	5		I	5		I	4		I	5		II	3	路面の凹凸		
16	17206110170	永代橋	A第223号線	PC	単純PCボスティンT桁橋	1984年	40年	34.3	5.2	-	-	B-S	●					●		70	I	4		I	5		I	5		I	4		I	5		II	3	路面の凹凸		
17	17206110180	新橋	A第409号線	M	3径間単純鋼合組成H形橋	1986年	38年	33.8	8.6	-	●	B-S	●				●		80	II	3	●	II	3	腐食	II	3	腐食	II	3	未塗りひびわれ	I	4		II	3				
18	17206110190	三谷新橋	A第254号線	PC	単純PCボスティンT桁橋	1985年	39年	32.6	11.0	-	●	B-S	●				●		65	I	4		I	5		I	4		I	5		II	3	路面の凹凸						
19	17206110200	一文橋	A第24号線	RC	3径間単純RCT桁橋	1934年	90年	29.1	4.2	-	-	B-S	●	●	●	●	●	●		80	III	2		III	2	鉄筋露出	III	2	鉄筋露出	II	3	鉄筋露出	III	2	鉄筋露出	I	5		II	3
20	17206110210	福田橋	A第51号線	M	単純鋼トラス橋(曲弦プラットトラス)	1936年	88年	28.4	4.9	-	●	B-S	●	●	●	●	●	●		80	III	2		II	3	腐食	II	3	腐食	II	3	空洞化	II	3	欠損	III	2	腐食		
21	17206110220	福田歩道橋	A第51号線	M	2径間単純鋼合組成H形橋	1974年	50年	28.0	3.1	-	●	B-S	●	●	●	●	●	●		80	III	2		II	3	腐食	I	4		II	3	未塗りの腐食	II	3	未塗りの腐食	II	3	路面の凹凸		
22	17206110230	記念橋	A第26号線	PC	3径間単純PCプレテンT桁橋	1959年	65年	24.0	4.2	-	-	B-S	●	●				●		70	I	4		I	5		I	5		I	4		I	5						

表-参2.2 健全性診断結果一覧表 (2/6)

表-参2.3 健全性診断結果一覧表 (3/6)

番号	橋梁諸元										劣化要因	補修の有無	グループ化要素										道路橋毎の健全度の診断		部材単位の健全性の診断																	
	橋梁管理番号	橋梁名	路線名	橋種	上部工構造形式			架橋年	経過年数	橋長(m)	幅員(m)		構造年数		橋長	架橋状況	路線	除雪路線	用途地	点数合計	上部構造			下部構造			支承部		その他													
													50年以上	50m以上	50m以上	50m以上	50m以上	50m以上	50m以上	第一種	第二種	判定区分	健全度	点検後補修	判定区分	健全度	変状種類	判定区分	健全度	変状種類	判定区分	健全度	変状種類									
113	17206120090	須谷大橋	B第173号線	PC	単純PCボステンT桁橋			1963年	61年	17.2	4.5	-	-	B	●									20	I	4		I	5			I	4		I	5		I	5			
114	17206120100	伝平橋	B第157号線	PC	単純PCプレテン中空床版橋			1984年	40年	14.5	6.0	-	-	B										0	II	3		I	5			I	4		I	5		II	3	排水管の腐食		
115	17206120110	メガネ橋	B第77号線	その他	石橋アーチ橋			1980年	44年	10.2	3.9	-	-	B										●	20	I	5		I	5			I	5		I	5		I	5		
116	17206120120	さくら橋	B第403号線	PC	単純PCプレテン中空床版橋			1997年	27年	9.3	7.3	-	-	C-S										●	20	I	4		I	5			I	5		I	4		II	3	路面の凹凸	
117	17206120130	別所橋	B第1号線	PC	単純PCプレテンI桁橋			1971年	53年	8.8	5.0	-	-	C-S	●									●	40	I	4		I	5			I	4		I	5		I	5		
118	17206120140	別所2号橋	B第8号線	PC	単純PCプレテンI桁橋			1971年	53年	8.3	5.0	-	-	C-S	●									●	40	I	5		I	5			I	5		I	5		I	5		
119	17206120150	尾俣小橋	B第10号線	PC	単純PCプレテンI桁橋			1975年	49年	7.4	12.0	ASR	-	C-S									0	II	3		II	3	ひびわれ		II	3	床版ひびわれ	I	4		I	5		II	3	路面の凹凸
120	17206120160	市之瀬2号橋	B第10号線	RC	単純RCT桁橋			1974年	50年	6.6	6.6	-	-	C-S	●								●	●	50	I	4		I	5			I	5		I	5		I	5		
121	17206120170	中新橋	B第173号線	RC	単純RC床版橋			1963年	61年	6.1	5.8	-	-	C-S	●								20	I	4		I	5			I	4		I	5		I	5				
122	17206120180	井詰橋	B第152号線	RC	単純RC床版橋			1974年	50年	6.0	10.8	-	●	C-S	●								●	30	I	4		I	4			I	4		I	5		I	5			
123	17206120190	大和町8号橋	B第287号線	M	単純鋼非合成H形橋			1975年	49年	6.0	5.4	-	-	C-S									●	20	III	2		III	2	腐食	I	4		II	3	床版ひびわれ	I	5		I	5	
124	17206120200	大和町7号橋	B第286号線	PC	単純PCプレテンI桁橋			1975年	49年	5.8	6.1	ASR	-	C-S									●	20	II	3		II	3	ひびわれ		I	4		I	5		I	5			
125	17206120210	大和町6号橋	B第288号線	PC	単純PCプレテンI桁橋			1975年	49年	5.7	6.1	ASR	-	C-S									●	10	II	3		II	3	ひびわれ		I	5		I	4		I	5			
126	17206120220	鹿ヶ鼻橋	B第380号線	PC	単純PCスラブ桁橋			1990年	34年	5.7	14.1	第三者被害	-	C-S									●	10	I	4		I	4			I	4		I	5		I	5			
127	17206120230	大和町2号橋	B第294号線	PC	単純PCプレテンI桁橋			1975年	49年	5.7	12.0	ASR	-	C-S									●	15	II	3		II	3	ひびわれ		I	5		I	4		I	5			
128	17206120240	どんづ橋	B第31号線	RC	単純RC床版橋			1974年	50年	5.5	4.0	-	-	C-S	●								●	40	I	5		I	5			I	5		I	5		II	3	防護柵の亀裂		
129	17206120250	森橋	B第124号線	RC	単純RC床版橋			1974年	50年	5.5	5.4	-	-	C-S	●								●	30	I	5		I	5			I	5		I	5		I	5			
130	17206120260	大和町4号橋	B第289号線	PC	単純PCプレテンI桁橋			1975年	49年	5.5	6.1	ASR	-	C-S									0	II	3		II	3	ひびわれ		I	5		I	4		I	5				
131	17206120270	大和町3号橋	B第290号線	PC	単純PCプレテンI桁橋			1975年	49年	5.5	6.1	ASR	-	C-S									0	II	3		II	3	ひびわれ		I	5		I	4		I	5				
132	17206120280	大和町5号橋	B第343号線	PC	単純PCプレテンI桁橋			1975年	49年	5.5	6.1	ASR	-	C-S									0	II	3		II	3	ひびわれ		I	5		I	4		I	5				
133	17206120290	嶺の橋	B第116号線	RC	単純RC床版橋			1963年	61年	4.9	3.1	-	-	C	●								20	III	2		III	2	鉄筋露出							I	5		I	5		
134	17206120300	尾俣橋	B第181号線	M	単純鋼H形橋+単純RC床版橋			1975年	49年	5.9	10.0	-	●	C-S									●	10	I	5		I	5			I	5		I	5		I	5			
135	17206120310	大和町1号橋	B第293号線	PC	単純PCプレテンI桁橋			1975年	49年	5.0	6.1	AS																														

表-参2.4 健全性診断結果一覧表 (4/6)

番号	橋梁諸元										劣化要因	補修の有無	グループ化要素										道路橋毎の健全度の診断		部材単位の健全性の診断																		
	橋梁管理番号	橋梁名	路線名	橋種	上部工構造形式			架橋年	経年数	橋長(m)	幅員(m)		橋長		架橋状況		路線		除雪路線		用途地		合計	上部構造			下部構造			支承部		その他											
					50m以上	50m~30m	30m~20m						北緯45度以上	北緯45度未満	鉄道の上	その他の	緊急輸送道路	連絡路	ネットワーク	重点	第一種	第二種	用途地	判定区分	健全度	点検後補修	判定区分	健全度	変状種類	判定区分	健全度	変状種類	判定区分	健全度	変状種類	判定区分	健全度	変状種類					
169	17206120670	尾俣1号橋	B第180号線	BOX	ボックスカルバート(Pre)	1989年	35年	2.0	13.5	-	-	C	●								●	●	50	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5						
170	17206120680	尾俣2号橋	B第180号線	BOX	ボックスカルバート(Pre)	1994年	30年	4.0	8.7	-	-	C	●								●		30	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5						
171	17206120690	尾俣3号橋	B第180号線	RC	単純RC床版橋	1974年	50年	4.0	8.5	-	-	C	●								●		30	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5						
172	17206120710	黒瀬橋	B第197号線	RC	単純RC床版橋	1963年	61年	3.4	3.8	-	-	C	●										20	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5						
173	17206120720	市之瀬3号橋	B第218号線	RC	単純RC床版橋	1989年	35年	4.0	7.4	-	-	C	●								●	40	I	5		II	3	避離石灰	I	5		I	5		I	5							
174	17206120730	黒瀬1号橋	B第240号線	RC	単純RC床版橋	1953年	71年	4.0	3.0	-	-	C	●									20	II	3		II	3	鉄筋露出	I	5		I	5		I	5							
175	17206120740	黒瀬2号橋	B第240号線	RC	単純RC床版橋	1963年	61年	2.5	3.0	-	-	C	●									20	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5							
176	17206120750	須谷1号橋	B第283号線	RC	単純RC床版橋	1952年	72年	4.0	3.5	-	-	C	●									20	II	3		II	3	鉄筋露出	I	5		II	3	避離石灰	I	5		I	5		I	5	
177	17206120760	黒瀬3号橋	B第252号線	BOX	ボックスカルバート(Pre)	2021年	3年	2.3	3.0	-	-	C									0	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5								
178	17206120770	御水道1号橋	B第305号線	BOX	ボックスカルバート(Pre)	1999年	25年	3.0	4.0	-	-	C	●								●	50	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5							
179	17206120780	横北1号橋	B第355号線	RC	単純RC床版橋	1984年	40年	4.0	7.6	-	-	C									0	II	3		II	3	鉄筋露出	I	5		I	5		I	5								
180	17206120790	二ツ屋1号橋	B第355号線	RC	単純RC床版橋	1975年	49年	4.0	7.7	-	-	C									0	II	3		II	3	避離石灰	I	5		I	5		I	5								
181	17206120800	勅使1号橋	B第356号線	RC	単純RC床版橋	1975年	49年	3.0	7.6	-	-	C									0	II	3		II	3	剥離	I	5		I	5		I	5								
182	17206120820	黒瀬5号橋	B第372号線	BOX	RCボックスカルバート(Pre)	1991年	33年	3.0	5.1	-	-	C	●								20	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5								
183	17206120830	中橋	B第119号線	RC	単純RC床版橋	1967年	57年	3.0	4.6	-	-	C	●								20	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5								
184	17206430010	敷地第二跨線橋	C第80号線	PC	一般部:単純PCプレテンT桁橋 跨線部:単純プレリーム合成析橋	1991年	33年	246.0	13.0	-	-	A-S			●	●	●	●	●	●	55	II	3		II	3	鉄筋露出	I	5		II	3	ひびわれ	II	3	未版ひびわれ	II	3	ひびわれ	II	3	明の腐食	
185	17206430020	八日市跨線橋	C第577号線	PC	跨線部:単純PCプレテン中空床版橋 一般部:連続PCプレテンT桁橋	2003年	21年	167.0	11.1	-	-	A-S			●	●	●	●	●	●	55	II	3		I	4		II	3	未版ひびわれ	II	3	ひびわれ	I	5		I	5					
186	17206130030	中の島大橋	C第461号線	M	単純PCプレテンホロー桁+単純鋼ワーレントラス桁橋	1981年	43年	118.0	8.8	ASR	●	A-S			●	●	●	●	●	●	45	II	3		II	3	腐食	II	3	未版ひびわれ	II	3	腐食	I	4		I	5	その他				
187	17206130040	新井井橋歩道橋	C第463号線	PC	4径間単純PCプレテンT桁橋	1997年	27年	91.0	4.3	-	-	A-S			●	●	●	●	●	●	50	I	4		I	4		I	5		I	5		I	5								
188	17206130050	新尾井橋	C第463号線	PC	4径間単純PCプレテンT桁橋	1976年	48年	91.0	8.8	ASR	●	A-S			●	●	●	●	●	●	50	II	3		II	3	ひびわれ	I	4		I	4		I	5								
189	17206130060	葦切橋	C第4号線	PC	3径間単純PCプレテンT桁橋	2007年	17年	75.0	13.0	-	-	A-S			●	●	●	●	●	●	45	I	4		I	5		I	5		I	5		I	5	路面の凹凸							
190	17206130080	上河崎橋	C第434号線	M	2径間連続鋼非合成板桁橋(耐候性鋼材)	1990年	34年	60.5	10.8	-	-	A			●	●	●	●	●	●	15	II	3		I	4		II	3	未版ひびわれ	II	3	うき	I	5								
191	17206130090	下河崎橋	C第80号線	PC	2径間単純PCプレテン中空床版橋	2002年	22年	50.6	16.8	-	-	A-S			●	●	●	●	●	●	45	I	4</td																				

表-参2.5 健全性診断結果一覧表 (5/6)

番号	橋梁諸元										劣化要因	補修の有無	グループ化要素										道路橋毎の健全度の診断		部材単位の健全性の診断																	
	橋梁管理番号	橋梁名	路線名	橋種	上部工構造形式			架橋年	経過年数	橋長(m)	幅員(m)			橋長		架橋状況		路線		除雪路線		用途地		点数合計	上部構造			下部構造			支承部		その他									
														経過年数 50年以上	50m以上 L≥30m	50m以上 L≥20m	鉄道の上	北緯自動車道の上	その他	緊急輸送道路	連絡網ネットワーク	重点	第一種	第二種	用途地	主桁	横桁	床版	支承部	その他	判定区分	健全度	変状種類	判定区分	健全度	変状種類	判定区分	健全度	変状種類	判定区分	健全度	変状種類
225	17206130490	西島3号橋	C第174号線	RC	単純RC床版橋			1963年	61年	4.0	5.3	-	-	C	●				●		●		●		●		65	I	5		I	5		I	5		I	5				
226	17206130520	西島1号橋	C第174号線	BOX	RCボックスカルバート			1974年	50年	3.0	7.2	-	-	C	●				●		●		●		●		65	II	3		II	3	鉄筋露出	I	5		I	5				
227	17206130530	消防橋	C第463号線	BOX	RCボックスカルバート(Pre)			1974年	50年	2.0	15.1	-	-	C	●				●	●	●		●	90	I	5		I	5		I	5		I	5							
228	17206130540	鍬崎橋	C第143号線	BOX	ボックスカルバート(Pre)			1989年	35年	3.0	6.1	-	-	C	●									20	I	5		I	5		I	5		I	5							
229	17206130560	動橋2号橋	C第463号線	RC	単純RC床版橋			1979年	45年	2.0	13.7	-	-	C	●				●	●	●			70	I	5		I	5		I	5		I	5							
230	17206130570	塩浜1号橋	C第399号線	RC	単純RC床版橋			1984年	40年	4.7	5.6	-	-	C	●									20	I	4		I	4		I	5		I	5							
231	17206130580	上河崎6号橋	C第435号線	RC	単純RC床版橋			1963年	61年	3.9	6.7	-	-	C	●									20	II	3		II	3	鉄筋露出	I	5		I	5		I	5		I	5	
232	17206130590	大菅波2号橋	C第81号線	BOX	PCボックスカルバート(Pre)			1980年	44年	2.3	6.0	-	-	C	●				●		30	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5							
233	17206130600	昭北1号橋	C第153号線	RC	単純RC床版橋			1994年	30年	4.6	6.0	-	-	C	●				●	●	50	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5							
234	17206130610	千原橋	C第467号線	RC	単純RC床版橋			1973年	51年	5.2	4.7	-	-	C-S	●						●	40	I	4		I	5		I	4		I	5		I	5						
235	17206130620	小塩辻1号跨道橋	C第528号線	BOX	RCボックスカルバート			1999年	25年	6.2	16.5	-	-	C-S					●		●		25	II	3		II	3	ひびわれ	I	4		I	5		I	5		I	5		
236	17206130630	伊切農道BOX	C第257号線	BOX	RCボックスカルバート			2013年	11年	6.9	10.5	-	-	C-S					●		●		20	II	3		II	3	ひびわれ	I	4		I	5		I	5		I	5	路面の凹凸	
237	17206130640	木戸浦橋	C第487号線	PC	単純PCプレテン床版橋			1998年	26年	12.9	7.7	-	-	B							0	I	4		I	5		I	4		I	5		I	5							
238	17206130650	南橋	C第173号線	M	単純鋼H形橋			1969年	55年	13.0	2.4	-	-	B	●						20	II	3		II	3	腐食	II	3	腐食	II	3	腐食	I	5		I	5		I	5	
239	17206130660	中島橋	C第4号線	BOX	ボックスカルバート(Pre)			1989年	35年	3.0	9.8	-	-	C					●	●	45	II	3		II	3	ひびわれ				II	3	ひびわれ	I	5		I	5		I	5	
240	17206130670	梯谷橋	C第33号線	BOX	ボックスカルバート(Pre)			2002年	22年	3.0	5.4	-	-	C	●						●	40	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5						
241	17206130680	上河崎1号橋	C第81号線	BOX	RCボックスカルバート			1974年	50年	3.0	11.2	-	-	C	●						●	30	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5						
242	17206130690	上河崎3号橋	C第81号線	BOX	ボックスカルバート(Pre)			1994年	30年	2.0	5.2	-	-	C	●						20	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5							
243	17206130700	富塚橋	C第88号線	RC	単純RC床版橋			1953年	71年	2.0	4.0	-	-	C	●						●	40	II	3		II	3	ひびわれ			II	3	ひびわれ	I	5		I	5		I	5	
244	17206130730	那谷道橋	C第123号線	BOX	RCボックスカルバート			1990年	34年	3.0	5.6	-	-	C	●						●	40	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5						
245	17206130740	学校橋	C第142号線	BOX	単純RC床版橋+ボックスカルバート(Pre)			1989年	35年	3.0	6.5	-	-	C	●				●		35	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5							
246	17206130760	神社橋	C第153号線	RC	単純RC床版橋			1952年	72年	4.0	2.9	-	-	C	●						●	40	I	5		I	5		I	5		I	5		I	5						
247	17206130780	三面谷橋	C第158号線	RC	単純RC床版橋			1953年	71年	4.0	3.1	-	-	C	●						●	40	II	3		II	3	欠損			II	3	ひびわれ	I	5		I	5		I	5	
248	17206130820	参宮橋	C第187号線	RC	単純RC床版橋			1974年</td																																		

表-參2.6 健全性診斷結果一覽表 (6/6)

表-参3.1 定期点検結果一覧表 (1/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	床版	健全性: II (3)	下部工	健全性: II (3)		
1	橋梁名	敷地跨線橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点: 左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	床版	健全性: II (3)	下部工	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206410010			損傷の種類	①腐食		①腐食		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	跨線部: 単純鋼合成箱桁橋 一般部: 連続PCボス滕中空床版橋										
	橋長	300.00m										
	幅員	8.80m										
	架橋年次	1982年										
	(R4)	経過年数										
2	橋梁名	高尾跨道橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点: 左側)	損傷部位	下部工	健全性: II (3)					道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206110020			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	上部工形式	3径間連続PCボス滕T桁橋 + 単純PCボス滕T桁橋										
	橋長	111.00m										
	幅員	8.00m										
	架橋年次	1999年										
	(R5)	経過年数										
3	橋梁名	瀬越橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点: 左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性【判定区分: I】
	橋梁管理番号	17206110030			損傷の種類							確認できる損傷はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。
	上部工形式	3径間単純PCボス滕T桁橋										
	橋長	90.00m										
	幅員	10.50m										
	架橋年次	1995年										
	(R3)	経過年数										
4	橋梁名	東永橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点: 左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	床版	健全性: II (3)	高欄・防護柵	健全性: III (2)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206110040			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑧床版ひびわれ		その他(天板ずれ)		道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	3径間単純PCボス滕T桁橋										
	橋長	77.00m										
	幅員	7.20m										
	架橋年次	1984年										
	(R2)	経過年数										
5	橋梁名	水越橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点: 左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	横桁・対傾構	健全性: II (3)	支承	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】
	橋梁管理番号	17206110050			損傷の種類	①腐食		①腐食		⑪支承の機能障害		鋼部材に板厚減少を伴う腐食が局部的にみられる。予防保全の観点から、補修検討を行うことが望ましい。
	上部工形式	3径間単純鋼合成H形橋										
	橋長	74.80m										
	幅員	8.50m										
	架橋年次	1981年										
	(R2)	経過年数										

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ⑮その他
 ■付属物 ■①～⑯以外の損傷

表-参3.2 定期点検結果一覧表 (2/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見							
		橋面	側面	損傷部位	下部工	健全性: II (3)	支承	健全性: II (3)	その他								
6	橋梁名	下福田橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点: 左側)	損傷部位	下部工	健全性: II (3)	支承	健全性: II (3)		道路橋毎の健全性【判定区分: II】						
	橋梁管理番号	17206110060			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	⑪支承の機能障害										
	上部工形式	3径間単純PCボスティンT桁橋									道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。支承にゴム亀裂が生じている。						
	橋長	74.00m															
	幅員	8.70m															
	架橋年次	1973年															
	(R2)	経過年数															
7	橋梁名	愛宕橋									道路橋毎の健全性【判定区分: II】						
	橋梁管理番号	17206110080			損傷部位	主桁	健全性: II (3)	主桁	健全性: II (3)	横桁・対傾構	健全性: II (3)						
	上部工形式	3径間単純PCプレテンT桁橋			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	⑨PC定着部の異常		⑨PC定着部の異常								
	橋長	71.30m									道路橋の機能に支障が生じない状態であるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。						
	幅員	5.70m															
	架橋年次	1984年															
	(R2)	経過年数															
8	橋梁名	畠橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点: 左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	下部工	健全性: II (3)	下部工	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】					
	橋梁管理番号	17206110090			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰			主桁及び下部工にASRによるものと推測されるひびわれが見られる。経過観察を注意深く行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。					
	上部工形式	3径間単純PCプレテンT桁橋															
	橋長	68.40m															
	幅員	5.00m															
	架橋年次	1979年															
	(R2)	経過年数															
9	橋梁名	旗陽橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点: 右側)	損傷部位	支承	健全性: II (3)					道路橋毎の健全性【判定区分: II】					
	橋梁管理番号	17206110100			損傷の種類	⑪支承の機能障害						早期に道路橋の機能に支障が生ずる恐れはないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。支承に沓座モルタルの欠損およびゴム亀裂が生じている。					
	上部工形式	3径間単純PCプレテンT桁橋															
	橋長	68.20m															
	幅員	7.20m															
	架橋年次	1983年															
	(R2)	経過年数															
10	橋梁名	宮前橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点: 左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	床版	健全性: II (3)	支承	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】					
	橋梁管理番号	17206110110			損傷の種類	③ボルトの脱落		⑧床版ひびわれ		⑬遊間の異常		道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。					
	上部工形式	3径間単純鋼鉄桁橋															
	橋長	68.10m															
	幅員	7.20m															
	架橋年次	1975年															
	(R2)	経過年数															

■鋼部材の損傷 ■コンクリート部材の損傷 ■その他 ■付属物 ■①～⑭以外の損傷
 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり その他

表-参3.3 定期点検結果一覧表 (3/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見							
		橋面	側面	損傷部位	下部工	健全性: II (3)	路面	健全性: II (3)	高欄・防護柵	健全性: II (3)							
11	橋梁名	高尾橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点: 左側)	損傷部位	下部工	健全性: II (3)	路面	健全性: II (3)	高欄・防護柵	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】					
	橋梁管理番号	17206410120			損傷の種類	その他 (うき)		その他 (舗装ひびわれ)		③ボルトの脱落		橋脚にうきがみられる。補修が必要と判断出来る損傷である。					
	上部工形式	3径間連続斜材付PCアラブラン橋															
	橋長	41.80m															
	幅員	5.50m															
	架橋年次	1973年															
	(R5)	経過年数															
12	橋梁名	橋立橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点: 左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	床版	健全性: II (3)	下部工	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】					
	橋梁管理番号	17206110130			損傷の種類	その他 (うき)		その他 (うき)		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		コンクリート部材の断面修復と剥落対策および防護柵取替を早期に行い、第三者被害対策が必要である。 ※R6補修(剥落防止工)施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す					
	上部工形式	3径間連続斜材付PCアラブラン橋															
	橋長	41.90m															
	幅員	8.60m															
	架橋年次	1973年															
	(R5)	経過年数															
13	橋梁名	弁天橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点: 左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	支承	健全性: II (3)	路面	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】					
	橋梁管理番号	17206110140			損傷の種類	①腐食		⑪支承の機能障害		その他 (舗装ひびわれ)		早期に道路橋の機能に支障が生ずる恐れは小さいが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。					
	上部工形式	2径間単純鋼合成H形橋															
	橋長	41.50m															
	幅員	5.30m															
	架橋年次	1988年															
	(R2)	経過年数															
14	橋梁名	木呂場橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点: 左側)	損傷部位	主桁	健全性: II (3)	横桁・対傾構	健全性: II (3)	横桁・対傾構	健全性: II (3)	道路橋毎の健全性【判定区分: II】					
	橋梁管理番号	17206110150			損傷の種類	その他 (補修・補強材の損傷)		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑪支承の機能障害		主桁に遊離石灰を伴うひびわれ、床版に補修・補強材の損傷が確認される。経過観察を行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。					
	上部工形式	単純RCT桁橋 +2径間単純PCプレテンション桁橋															
	橋長	35.20m															
	幅員	4.20m															
	架橋年次	1981年															
	(R2)	経過年数															
15	橋梁名	松島橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点: 左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性【判定区分: I】						
	橋梁管理番号	17206111130			損傷の種類							軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。 ※R3に旧橋より更新					
	上部工形式	単純PCボスティンT桁橋															
	橋長	42.40m															
	幅員	7.40m															
	架橋年次	2021年															
	(R5)	経過年数															

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

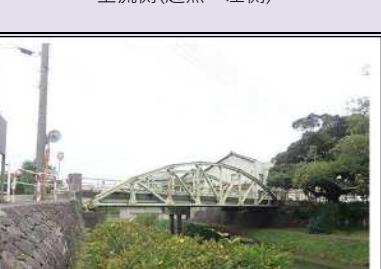
■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
⑮その他

表-参3.4 定期点検結果一覧表 (4/65)

番号	橋梁諸元	全景写真		主な損傷状況						所見		
		橋面	側面	損傷部位	路面	健全性：II(3)	損傷の種類	⑩路面の凹凸				
16	橋梁名	永代橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	路面	健全性：II(3)				道路橋毎の健全性【判定区分：I】	
	橋梁管理番号	17206110170			損傷の種類	⑩路面の凹凸					主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。路面に凹凸が見られる。補修検討が望ましい。	
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋										
	橋長	34.30m										
	幅員	5.20m										
	架橋年次	1984年										
	(R3)	経過年数										
17	橋梁名	新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	床版	健全性：II(3)	支承	健全性：II(3)	道路橋毎の健全性【判定区分：II】
	橋梁管理番号	17206110180			損傷の種類	①腐食			⑧床版ひびわれ	⑪支承の機能障害		道路橋の機能に支障が生ずる可能性があり、早期に措置を講ずることが望ましい状態である。
	上部工形式	3径間単純鋼合成H形橋										
	橋長	33.80m										
	幅員	8.60m										
	架橋年次	1986年										
	(R2)	経過年数										
18	橋梁名	三谷新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	路面	健全性：II(3)					道路橋毎の健全性【判定区分：I】
	橋梁管理番号	17206110190			損傷の種類	⑩路面の凹凸						主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。路面に凹凸が見られる。補修検討が望ましい。
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋										
	橋長	32.60m										
	幅員	11.00m										
	架橋年次	1985年										
	(R3)	経過年数										
19	橋梁名	一文橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：III(2)	横桁・対傾構	健全性：III(2)	下部工	健全性：III(2)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】
	橋梁管理番号	17206110200			損傷の種類	⑥鉄筋露出			⑥鉄筋露出	⑥鉄筋露出		著しい損傷が確認できるため、架け替えも含めた対策を検討する必要がある。
	上部工形式	3径間単純RCT桁橋										
	橋長	29.10m										
	幅員	4.20m										
	架橋年次	1934年										
	(R2)	経過年数										
20	橋梁名	福田橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：II(3)	支承	健全性：III(2)	横構	健全性：III(2)	道路橋毎の健全性【判定区分：III】
	橋梁管理番号	17206110210			損傷の種類	①腐食			⑪支承の機能障害	①腐食		支承のアンカーに欠損と、横構に腐食による欠損が見られる。橋梁の機能に支障が生じる可能性がある為、早期に処置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純鋼トラス橋 (曲弦プラットトラス)										
	橋長	28.40m										
	幅員	4.90m										
	架橋年次	1936年										
	(R5)	経過年数										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常■その他
⑩路面の凹凸

⑪支承の機能障害

⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり■①～⑭以外の損傷
その他